

# 第1回 小田原市高齢者福祉・介護保険事業推進委員会 次第

日時：令和3年（2021年）6月24日（木）午前9時から

場所：小田原市役所3階 議会全員協議会室

## I 副市長あいさつ

## II 議題

### 1 委員会の運営について

- (1) 委員長及び副委員長の選出について【協議（採決）】…………… 資料1
- (2) 会議の公開について…………… 資料2
- (3) 審議事項とスケジュールについて…………… 資料3

### 2 おだわら高齢者福祉介護計画について

- (1) 令和2年度の実績及び令和3年度の取組について…………… 資料4

### 3 地域包括支援センターの運営について

- (1) 令和2年度（2020年度）地域包括支援センター運営状況について……………資料5、別冊5
- (2) 地域包括支援センター運営事業令和2年度（2020年度）運営評価、及び令和3年度（2021年度）活動計画について…………… 資料6、別冊6-1～6-2

### 4 事業所等指定について

- (1) 介護保険事業所の新規指定等について……………資料7

## III その他

- 1 2030 ロードマップ（第6次小田原市総合計画）について……………別添

### 【資料一覧】

- 資料1 小田原市高齢者福祉・介護保険事業推進委員会規則
- 資料2 小田原市高齢者福祉・介護保険事業推進委員会の会議の公開に関する要領
- 資料3 審議事項及びスケジュールについて
- 資料4 おだわら高齢者福祉介護計画 令和2年度の実績及び令和3年度の取組
- 資料5 地域包括支援センター運営状況の概要（令和2年度）
- 別冊5 地域包括支援センターの運営状況（令和2年度）
- 資料6 地域包括支援センター運営事業 令和2年度運営評価と令和3年度活動計画の概要
- 別冊6-1 地域包括支援センター運営評価（令和2年度）
- 別冊6-2 地域包括支援センター活動計画（令和3年度）
- 資料7 介護保険事業所の新規指定等について
- 別添 2030 ロードマップ 世界が憧れるまち“小田原”を目指して

## 小田原市高齢者福祉・介護保険事業推進委員会規則

(趣旨)

**第 1 条** この規則は、小田原市附属機関設置条例（昭和 5 4 年小田原市条例第 1 号）第 2 条の規定に基づき設置された小田原市高齢者福祉・介護保険事業推進委員会（以下「委員会」という。）の組織、運営等に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事務)

**第 2 条** 委員会は、おだわら高齢者福祉介護計画並びに高齢者福祉施策及び介護保険事業の総合的かつ計画的な推進に関する事項につき、市長の諮問に応じて調査審議し、その結果を報告し、及び必要と認める事項について意見を具申するものとする。

(委員)

**第 3 条** 委員会の委員（以下「委員」という。）は、次に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 医師
- (2) 歯科医師
- (3) 薬剤師
- (4) 理学療法士
- (5) 介護支援専門員
- (6) 介護老人福祉施設の管理者
- (7) 介護老人保健施設の管理者
- (8) 地域密着型サービス事業所の管理者
- (9) 社会福祉士
- (10) 民生委員
- (11) 社会福祉法人小田原市社会福祉協議会の役員
- (12) 住民組織の役員
- (13) 介護保険法（平成 9 年法律第 1 2 3 号）第 9 条第 1 号に規定する第 1 号被保険者
- (14) 介護保険法第 9 条第 2 号に規定する第 2 号被保険者
- (15) 公募市民
- (16) 学識経験者
- (17) 前各号に掲げる者のほか、市長が必要と認める者

2 委員の任期は、委嘱の日の属する年度の翌々年度の末日までとする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

**第4条** 委員会に委員長及び副委員長1人を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

4 委員長及び副委員長の任期は、委員の任期による。

(会議)

**第5条** 委員会の会議は、委員長が招集し、その議長となる。

2 委員会は、委員の2分の1以上が出席しなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(関係者の出席)

**第6条** 委員会において必要があると認めるときは、その会議に、議事に関係のある者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(秘密の保持)

**第7条** 委員は、職務上知り得た秘密を漏らし、又は自己の利益のために使用してはならない。その職を退いた後も、また同様とする。

(庶務)

**第8条** 委員会の事務は、福祉健康部高齢介護課において処理する。

(委任)

**第9条** この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

## 附 則

1 この規則は、平成31年4月1日から施行する。

2 この規則の施行後最初に委嘱される委員の任期は、第3条第2項本文の規定にかかわらず、委嘱の日の属する年度の翌年度の末日までとする。

## 小田原市高齢者福祉・介護保険事業推進委員会の会議の公開に関する要領

(趣旨)

**第 1 条** この要領は、小田原高齢者福祉・介護保険事業推進委員会（以下「委員会」という。）の会議の公開に関し必要な事項を定めるものとする。

(会議の公開)

**第 2 条** 委員会は、公開とする。

(傍聴の手続)

**第 3 条** 委員会の会議を傍聴しようとする者は、自己の住所、氏名等を傍聴受付簿に記入し、係員の指示に従って傍聴席に入らなければならない。

(傍聴の禁止)

**第 4 条** 次の各号のいずれかに該当する者は、傍聴することができない。

- (1) 凶器その他危険の恐れのある物品を携帯している者
- (2) 酒気を帯びていると認められる者
- (3) その他会議の進行を妨げる恐れがあると委員長が認める者

(禁止行為)

**第 5 条** 傍聴する者は、次に掲げる行為をしてはならない。

- (1) 傍聴席以外の場所に立ち入ること。
- (2) 私語、談笑その他騒がしい行為をすること。
- (3) 会議の言論に対して拍手その他の方法により賛否を表明すること。
- (4) 飲酒又は喫煙をすること。
- (5) 写真、ビデオ等の撮影又は録音をすること。
- (6) その他会議の妨害となるような行為をすること。

(退場)

**第 6 条** 委員長は、傍聴する者がこの要領に違反する時は、これを制止し、その命令に従わないときは、これを退場させることができる。

(委任)

**第 7 条** この要領に定めるもののほか、会議の傍聴に関し、必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

## 附 則

- 1 この要領は、令和元年 6 月 27 日から施行する。



## 審議事項とスケジュールについて

## 1 審議事項

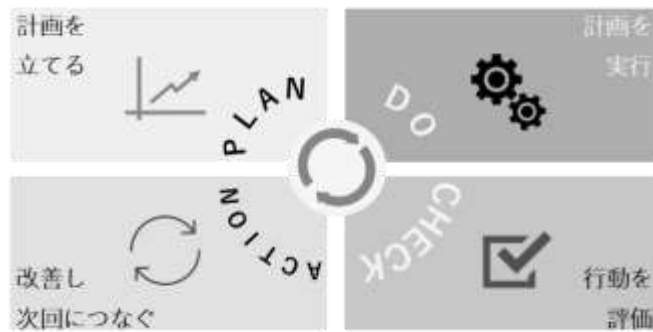
- (1) おだわら高齢者福祉介護計画の策定、推進等に関する事
- (2) 地域包括支援センターの設置、運営等に関する事
- (3) 指定地域密着型（介護予防）サービスの指定等に関する事
- (4) その他市長が必要と認める事項

## 2 スケジュール

時期		審議内容		計画に係る国県市の動き
令和3年度	6月	第1回	委嘱 ○計画（前年度結果と当年度取組） ●包括（前年度活動実績と運営評価、当年度活動計画） ◎事業所指定	県： ・計画進捗、介護サービス見込量等のヒアリング
	11月	第2回	●包括（取組状況） ◎事業所指定	
	2月	第3回	●包括（取組状況、来年度事業計画） ◎事業所指定	
令和4年度	6月	第4回	○計画（前年度結果と当年度取組） ●包括（前年度活動実績と運営評価、当年度活動計画） ◎事業所指定	国： ・第9期計画策定に向けた調査ツールの提示 県： ・計画進捗、介護サービス見込量等のヒアリング 市： ・高齢者実態調査の実施
	11月	第5回	●包括（取組状況） ◎事業所指定	
	2月	第6回	●包括（取組状況、来年度事業計画） ◎事業所指定	
令和5年度	6月	第7回	○計画（前年度結果と当年度取組、第9期計画策定検討） ●包括（前年度活動実績と運営評価、当年度活動計画） ◎事業所指定	国： ・第9期計画の基本方針の提示 県： ・計画進捗、介護サービス見込量等のヒアリング 市： ・第8期の取組の振り返り・第9期の方針の検討 ・介護サービス見込量算定 ・議会報告 ・介護保険料設定 ・介護保険法条例一部改正
	7月	第8回	○計画（第9期計画策定検討）	
	8月	第9回	○計画（第9期計画策定検討）	
	11月	第10回	○計画（第9期計画策定検討） ●包括（取組状況） ◎事業所指定	
	2月	第11回	○計画（第9期計画策定検討※最終） ●包括（取組状況、来年度事業計画） ◎事業所指定	
	3月	※「第9期計画書（案）」を答申		市： ・第9期計画策定

令和 2 年度の実績及び令和 3 年度の取組について

第 8 期計画では、重点指針「自分らしい高齢期の実現」を踏まえ、P D C A サイクルにより事業を着実に実施し、継続的に評価・検証し、改善を図るものとしています。

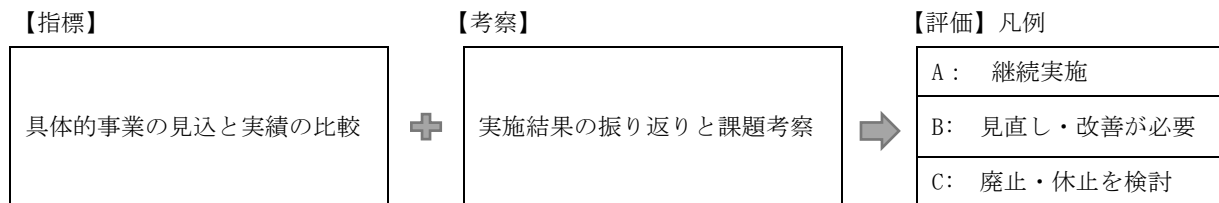


P D C A サイクル

1 各種事業（P 1～P 6）

令和 2 年度の見込（目標）と実績の差の確認、振り返りを行い、自己評価を踏まえて、令和 3 年度の取組を検討しました。

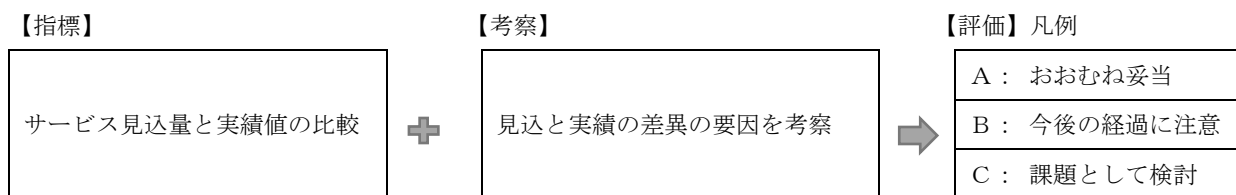
- 基本方針 1(1) (2)・・・生きがいくりに関する事業等
- 基本方針 2(1) (2) (4)・・・介護予防や保健に関する事業等
- 基本方針 3(2) (3)・・・介護事業所支援に関する事業等
- 基本方針 4(1)～(7)・・・地域における相談支援体制に関する事業等



2 介護（介護予防）サービス量等（P 7～P 9）

令和 2 年度の見込値と実績値の差異の把握とその要因の考察を行いました。

- 基本方針 2(3)・・・介護予防・日常生活支援サービス事業
- 基本方針 3(1)・・・介護（介護）サービス給付、施設整備等



## 基本方針1 高齢者がいきいきと活動できる環境づくりの促進

	第8期計画上の事業名	項目 (単位)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	令和2年度の振り返り	評価	令和3年度の取組
			見込	見込	見込			
			実績	実績	実績			
施策1	1 アクティブシニア応援ポイント事業	事業登録者数(人)	280	310	175	感染予防のため、新規登録者セミナー等を中止。緊急事態宣言中はボランティア活動も中止とした(特に高齢者施設等は年間を通じて受け入れ困難な事態)ため、参加実績は前年度から大幅に減少。商品交換や登録手続きを郵便対応可とし、更新登録者数を維持。	B:見直し・改善	コロナ禍において可能な活動方法を検討。感染症の状況に応じて新規募集を行い、登録者数・参加者数の増加を目指す。自立後の居場所として活用促進。
			243	282	181			
		参加延べ人数(人)	4,000	4,400	1,300			
			3,892	3,837	426			
	2 セカンドライフ応援セミナー事業	セミナー参加者数(人)	240	240	240	新型コロナウイルス感染症を考慮し、講義を撮影したDVDを配布する形式でセミナーを開催することで、参加者の確保につなげた。	A:継続	オンラインセミナーを開催するなど、感染予防に配慮した開催に努め参加者数の増加を図っていく。
			275	337	238			
	3 シニアバンク事業	シニア登録件数(件)	90	100	440	定年前の人や無関心層の高年齢者を対象にDVDを配布する形式で普及啓発セミナーを開催するほか、高齢者雇用に関する意向調査や意識啓発などを行う企業訪問を電話で行うなど、新型コロナウイルス感染症に配慮しながら取り組み、シニアバンク登録の増加につなげた。	A:継続	オンラインセミナーにより普及啓発を図るほか、電話にて企業訪問を行うなど、感染予防に努めながら、シニアバンク登録につなげていく。
			174	340	474			
		活動登録件数(件)	35	40	170			
			90	130	124			
4 シルバー人材センター運営補助事業	-	-	-	-	補助金を適切に執行し、活動・会員募集等に適宜協力。会員数は、増加傾向。	A:継続	補助金を適切に執行。感染予防に配慮した活動・会員募集等に協力継続	
5 シルバー人材センターの活用	市委託金額(千円)	40,000	40,000	45,000	定例的な業務に加え、感染症の影響により消毒液配布・特別定額給付金対応の単発業務発生。	A:継続	請負業務・派遣業務の受注状況を、随時確認。	
		44,140	44,961	決算集計中				
6 老人クラブ活動補助事業	-	-	-	-	補助金を適切に執行し、活動・会員募集等に適宜協力。ただし、感染予防のため、事業はほぼ中止。	A:継続	補助金を適切に執行。感染予防に配慮した活動・会員募集等に協力継続。	
7 老人クラブ加入促進活動への支援	-	-	-	-	市老連に随時協力。高齢化に伴う役員のなり手不足や感染予防のための活動減等により単位クラブ数・会員数減少。	A:継続	市老連の会員募集に協力継続。クラブ解散後の居場所について地域活動や介護予防活動とのつながりを検討。	
施策2	1 高齢者外出関連情報の提供	-	-	-	-	情報冊子を作成・配架。自立支援の啓発文を掲載周知	A:継続	情報冊子を作成・配架。感染症予防対策を掲載周知
	2 福寿カード交付事業	-	-	-	-	優待利用延べ人数減少。緊急事態宣言による市施設の休館や外出自粛など感染症による影響と推測される。	B:見直し・改善	年齢要件やサービスのあり方について、行革の方針(受益と負担の関係)や減免規定の整備等の検討を進める。
	3 高齢者はり・きゆう・マッサージ等施術費助成事業	利用延べ人数(人)	5,400	5,600	3,400	利用延べ人数減少。感染症の影響による外出自粛があるものと推測。対象年齢の段階的な引き上げ(1歳ずつ上げていき令和5年度までに75歳以上とする)について周知継続。	A:継続	施術費の助成を適切に執行。引き続き、対象年齢の引き上げを実施。各年度の対象年齢について誤った認識である事業所に対し、再度周知。
			3,964	3,625	3,097			
	4 敬老行事・長寿祝事業	-	-	-	-	感染予防のため全地区で敬老集会は中止。訪問等により祝品等を贈呈。外出自粛下における見守りの一環となる。	A:継続	前年同様、感染予防のため敬老集会は中止し、訪問等による祝品贈呈で実施
	5 生きがいふれあいフェスティバル開催事業	-	-	-	-	感染症の影響により開催中止	A:継続	感染症の影響を見ながら、開催の可否を検討
6 高齢者施設管理運営事業	-	-	-	-	感染症の影響により一時休館。老朽化に伴い施設・設備の故障等が多く、都度、維持修繕を行った。	A:継続	利用者が快適に利用できるよう維持管理を継続。	

基本方針2 高齢者の介護予防と健康づくりの推進

	第8期計画上の事業名	項目 (単位)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	令和2年度の振り返り	評価	令和3年度の取組
			見込	見込	見込			
			実績	実績	実績			
施策1	1 介護予防把握事業	-	-	-	-	対象者4,275人に調査票を送付し、回答数2,551人(回収率59.7%)であった。調査結果報告書の作成、回答者にアンケート結果に応じた介護予防へのアドバイス票を送付。	A:継続	今年度中に70歳となる2,666人、及び令和2年度未回答者で71歳から74歳になる1,498人の計4,164人に対し、4月下旬に調査票を送付した。
	2 高齢者筋力向上トレーニング事業(基幹型・地域型)	参加延べ人数(人)	36,200	36,400	17,535	感染症の影響により事業中止期間が生じた。人数・回数を見直して実施したことで、参加者が前年度から大幅に減少。フレイル予防のため、中止期間中は、自宅でのトレーニング継続をフォローアップ。	B:見直し・改善	参加人数見直し等、コロナ禍における事業手法を検討し、実施。地域の通いの場の活用や自主グループ化を引き続き検討。地域型は活動状況の把握に努める。
			40,395	35,385	12,190			
	3 高齢者栄養改善事業	参加延べ人数(人)	300	325	26	感染予防のため調理実習・講義共に中止。	B:見直し・改善	調理・会食を控える時期であるため、事業手法を検討し、実施。コロナ禍で増加した「肉食・中食」に着目し指導。
			234	250	0			
	4 認知症予防事業	参加延べ人数(人)	1,411	1,526	828	感染症の影響により事業中止期間が生じた。人数・回数を見直して実施したことで、参加者が前年度から大幅に減少。フレイル予防のため、中止期間中は、電話指導でフォローアップ。	B:見直し・改善	参加人数見直し等、コロナ禍における事業手法を検討し、実施
			1,130	915	1,025			
	5 介護予防普及啓発事業	参加延べ人数(人)	5,900	6,200	2,166	感染症の影響により事業中止期間が生じ、人数・回数を見直して実施したことで、参加者が前年度から大幅に減少。フレイル予防のためパンフレット・運動の動画を作成し、高齢者及び関係者に配付・周知し活用促進	B:見直し・改善	参加人数見直し等、コロナ禍における事業手法を検討し、実施
			5,925	4,330	915			
	6 生きがいふれあいフェスティバル開催事業(介護予防事業)	参加延べ人数(人)	100	100	0	感染症の影響により開催中止。	B:見直し・改善	感染症の影響を見ながら、単発実施などの実施方法を検討
			179	130	0			
	7 高齢者体操教室開催事業	参加延べ人数(人)	4,900	5,000	4,000	感染症の影響により事業中止期間が生じ、人数・回数を見直して実施したことで、参加者が前年度から大幅に減少。	B:見直し・改善	参加人数見直し等、コロナ禍における事業手法を検討し、実施。地域の通いの場の活用や自主グループ化を引き続き検討
4,989			5,287	2,890				
8 いきいき健康事業	参加延べ人数(人)	2,600	2,700	600	感染症の影響により事業中止期間が生じた。人数・回数を見直して実施したことで、参加者が前年度から大幅に減少。	B:見直し・改善	参加人数見直し等、コロナ禍における事業手法を検討し、実施	
		2,486	2,339	379				
9 地域介護予防活動支援事業	参加延べ人数(人)	600	600	120	年3回講義のうち、感染症対策のため3師会からの講師派遣(2回)ができず、市職員による防災関連の講義を1回のみ実施	B:見直し・改善	3師会からの講師派遣は困難と思われるため、参加人数見直し等、事業手法を検討し、実施	
		813	445	60				
10 ふれあい担い手発掘事業	助成対象数(件)	3	3	2	申請がなかったため未実施	A:継続	通いの場立ち上げに活用できる事業として、周知を図るとともに、新たな自主活動のニーズについて把握に努める。	
		2	2	0				
11 地域リハビリテーション活動支援事業	-	-	-	-	感染症の影響によりリハビリ訪問は中止したが、市ホームページで「リハビリ講座」をの配信回数を増やし実施。	B:見直し・改善	感染症の拡大防止に伴う高齢者の生活状況の変化を踏まえ、市ホームページで掲載している内容を冊子化し、広く市民への普及啓発として情報発信していく。	
12 介護予防事業評価事業	-	-	-	-	(令和4年度実施)			
施策2	1 特定健診(特定健康診査)	受診率(%)	-	-	34	感染症の影響により、受診期間を1か月短縮して実施。(例年6月から実施のところ、7月より実施)受診期間が短縮された影響か、前年度同時期と比較すると、受診率は減少傾向がみられる。特定健診集団検診は2回開催予定のところ、1回となった。未受診者勧奨通知は3回実施した。	A:継続	6月1日より健診受診を開始とした。コロナ禍であっても受診控えがないよう、普及啓発や、未受診者勧奨通知を実施する予定。特定健診集団健診も2回実施する予定で計画している。
			26.7	28.1	9月集計			
		うち65歳以上の受診率(%)	-	-	77			
	2 長寿健診(長寿高齢者健康診査)	受診率(%)	-	-	29	感染症の影響により、受診期間を1か月短縮して実施。(例年6月から実施のところ、7月より実施)受診期間が短縮された影響か、前年度同時期と比較すると受診率は減少傾向がみられる。	A:継続	受診控えがない様、受診勧奨のための普及啓発をしていく。
			29.2	28.3	9月集計			
	3 特定保健指導	終了率(%)	-	-	26	感染症の影響により、特定健診の開始時期が1か月延期になったため、それに伴い特定保健指導の開始も例年より概ね1か月程度遅れた。一方で、初回面談でオンラインを選択した利用者数は、例年より増加している。	A:継続	特定保健指導の全体的な流れは例年通りの方法とする。引き続き、初回面談については、感染対策を行いながら対面面談も継続して実施する。オンライン面談の活用についても参加者へ利用を促していく。
16.8			14.0	9.3				
うち65歳以上の受診率(%)		-	-	8				
			14.1	13.2	9月集計			

	第8期計画上の事業名	項目 (単位)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	令和2年度の振り返り	評価	令和3年度の取組
			見込	見込	見込			
			実績	実績	実績			
施策2	4 健康教育	実施回数(回)	-	-	150	通常の健康教育は縮小したが、新型コロナウイルス感染症に伴う、健康2次被害の予防教育について、地区に出向いて行い、地区活動を再開する一助を担った。	A:継続	令和3年度も昨年度同様に、健康2次被害の予防教育を実施していくほか、脳血管疾患予防に関する運動や食事の健康教育についても実施していく。
		65歳以上の参加者数(人)	294	239	54			
	5 健康相談	実施回数(回)	-	-	655	感染症の影響により、いくつかの事業で中止期間が生じた。地域に出向く相談や未病コーナーでの相談は、年度途中より実施方法や内容を見直して再開。	B:見直し・改善	令和2年度中に見直し・改善した事業は継続して実施。その他、実施方法や内容の見直し等、コロナ禍における事業手法を検討し実施。
		65歳以上の参加者数(人)	-	-	1,387			
	6 成人・老人訪問指導	訪問実績(人)	-	-	20	平成30年度は特定健診未受診者の受診勧奨を訪問で実施した地区があったため、実績数も多かった。年間実績は少ないが、多様な問題を抱えるかたへの対応が多くなったきていた。	A:継続	今年度も、各関係機関と連携をしながら、多様な問題を抱える方が、狭間でもれないよう対応していく。
		うち65歳以上の人数(人)	132	13	8			
	7 脳血管疾患予防プロジェクト事業	脳血管疾患死亡率(人口10万対%)	-	-	102	新型コロナウイルス感染症予防のため、講演会等が中止となった。	A:継続	令和3年度も講演会等の実施は難しいが、地区組織活動を通して、運動と食事に関して予防活動を行っていく。
H30年分(R2度公表)		89	102	令和3年度集計				
8 健康おだわら普及員事業	地区活動実績(回)	-	-	0	感染症の影響により活動中止。(ただし、大窪地区のみウォーキングを1回実施したので、それを計上する。)	A:継続	感染症予防を行いながら、各地区において実施できる範囲で、脳血管疾患予防に関する、運動や食事についての普及啓発活動を展開していく予定。また、普及員だよりを作成し、回覧で地区住民に正しい知識の普及を図る。	
	65歳以上の参加者数(人)	196	180	1				
9 食育実践活動事業	地域での活動実績(回)	-	-	12	感染症の影響により、調理実習や対面による食育教室や栄養教室は中止し、保育園への食育だよりの配布のみ行った。	B:見直し・改善	調理自習については当面実施を見合わせ、今年度は写真付きのレシピ集を作成し、対象施設に配布する。	
	65歳以上の参加者数(人)	30	40	14				
施策4	1 生活支援協議体の設置	協議体会議開催数(回)	-	-	-	社協に第2層コーディネーターを委託したことで実績が大きく伸びていたが、令和2年度は感染症の影響により減少した。	A:継続	感染症の影響を見ながら、地域関係者と会議開催を検討。
			13	13	20			
	2 生活支援コーディネーターの配置	コーディネーター配置数(人)	245	243	105	11名体制と1名増員となった。	B:見直し・改善	第2層コーディネーターと連携を図るよう努める。
			13	13	12			
3 生活支援事業主体の育成・支援	-	-	-	-	担い手の育成に向けた従事者研修を実施した。	A:継続	担い手の育成及びその後の活動支援を充実させる体制づくりに努める。	
4 地域の介護予防・生活支援サービスの情報提供	-	-	-	-	市及び関係機関(市社協・地域包括支援センター、ケアマネジャーなど)により高齢者の医療と介護に関する情報や生活支援に関する情報を収集しているが、情報の一元化ができておらず、共有が不十分であることを踏まえ、データの一元管理による効率的な情報収集・共有を行うことで、住民サービスの向上につなげることができるよう検討した。また、関係者の報告の簡略化と成果の可視化をするためのツールの構築について検討した。	B:見直し・改善	高齢介護課以外の第2層コーディネーターにも意見聴取する。	

	第8期計画上の事業名	項目 (単位)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	令和2年度の見込量と実績値の差異の要因等	評価
			見込	見込	見込		
			実績	実績	実績		
施策 3	1 訪問型サービス事業	国基準訪問型サービス利用 人数(人/月)	467	440	471	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
			427	451	437		
		基準緩和訪問型サービス利 用人数(人/月)	25	56	10	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
			9	10	12		
	住民主体訪問型サービス利 用人数(人/月)	15	35	2	見込量と実績値は、同程度で推移している。	A:妥当	
		0	1	2			
	短期集中訪問型サービス利 用人数(人/年)	7	7	2	昨年度より1件増加した。また対象とはならなかったが、相談も1件あった。感染症の影響より訪問ができないときは、電話指導を行った。少しずつ本事業を活用するケースが増えてきたのは、自立支援ケア会議で対象の見込みを検討することで、ケースの対象イメージがつかうようになったためと考えられる。今後は、結果を包括等に報告することで実績を増加させていきたいと考えている。また、中止にならずに継続できるよう電話指導等継続できる方法を検討していく必要がある。	A:妥当	
		0	1	2			
	2 食の自立支援事業(介護予防・日常生活支 援サービス事業)	配食実人数(人)	24	26	1	食の自立支援事業の利用者はすべて、任意事業の利用であったため、実績がない状況である。サービスを必要とする高齢者を適切にサービスにつなげられるように、今後も地域包括支援センター等と連携を図りながら進めていく。	B:経過注意
			0	0	0		
		配食数(食)	4,550	4,914	91		B:経過注意
	0		0	0			
	3 通所型サービス事業	国基準通所型サービス利用 人数(人/月)	873	840	1,091	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
			1,002	1,055	948		
		基準緩和通所型サービス利 用人数(人/月)	48	88	75	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
			54	73	69		
住民主体通所型サービス利 用人数(人/月)		42	80	20	新型コロナウイルス感染症拡大のため、サービス提供事業者(団体)が活動を休止したり、利用が控えられたことから、実績が見込値を下回った。	B:経過注意	
		8	20	5			
短期集中通所型サービス利 用人数(人/年)		160	160	50	感染症の影響により1回の定員を20名から10名へ制限した。また、緊急事態宣言の発令により、公共施設の使用ができなかったため、事業を中止せざるを得ない状況となり減少した。教室が中止になることで高齢者のフレイルが懸念されたため、通信教育形式(訪問、電話、テキスト送付)で実施した。今後も感染症の状況をみて事業が継続できる検討をする必要がある。課題としては、包括が担当する時期が毎年決まっているため、時期によっては対象者を決めにくいという意見があった。また、本事業を必要とする対象者が適切なタイミングで利用できないという課題もあるため、今後検討が必要である。	C:課題検討	
		139	128	33			
4 介護予防ケアマネジメントの実施	利用件数(件/月)	969	1,015	973	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当	
		995	948	846			

## 基本方針3 保険給付事業の円滑な運営

	第8期計画上の事業名	項目 (単位)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	令和2年度の見込量と実績値の差異の要因等	評価
			見込	見込	見込		
			実績	実績	実績		
施策 1	1 要支援・要介護認定事業	要介護認定審査判定件数 (件)	8,400 8,073	8,500 7,750	5,200 5,574	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	2 訪問介護	利用回数(回/年)	226,561 211,712	236,023 224,397	238,649 242,252	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	3 訪問入浴介護	利用回数(回/年)	9,133 8,801	9,202 8,574	8,321 8,457	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	4 介護予防訪問入浴介護	利用回数(回/年)	56 34	56 4	15 2	サービスの性質上、需要も供給も少ないが、過去の実績から一定程度の利用を見込んだものの、実績値は見込量を下回った。	B:経過注意
	5 訪問看護	利用回数(回/年)	55,633 53,532	61,504 59,263	62,738 65,246	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	6 介護予防訪問看護	利用回数(回/年)	4,953 3,386	5,363 4,351	5,294 5,389	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	7 訪問リハビリテーション	利用回数(回/年)	3,830 3,868	3,899 5,350	5,566 6,202	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	8 介護予防訪問リハビリテーション	利用回数(回/年)	811 583	811 728	778 743	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	9 居宅療養管理指導	利用回数(回/年)	20,912 27,390	21,915 32,909	36,874 38,082	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	10 介護予防居宅療養管理指導	利用回数(回/年)	882 1,450	929 1,819	1,891 1,951	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	11 通所介護	利用回数(回/年)	181,608 164,069	188,389 179,330	179,165 185,405	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	12 通所リハビリテーション	利用回数(回/年)	42,839 39,437	41,980 44,058	38,170 38,305	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	13 介護予防通所リハビリテーション	利用人数(人/月)	117 118	117 122	112 118	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	14 短期入所生活介護	利用日数(日/年)	57,936 59,270	60,096 55,717	49,529 51,308	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	15 介護予防短期入所生活介護	利用日数(日/年)	1,138 1,002	1,208 1,327	934 653	過去の実績から一定程度の利用者数を見込んだものの、利用実績が多い利用者が特定施設入居者生活介護等の別のサービスに移行したことから、実績値は見込量を下回った。	B:経過注意
	16 短期入所療養介護	利用日数(日/年)	3,793 3,576	3,793 3,439	3,229 2,979	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	17 介護予防短期入所療養介護	利用日数(日/年)	48 3	48 67	48 0	サービスの性質上、医療的ケアの必要な要支援認定者はもともと少ないが、過去の実績から一定程度の利用を見込んだものの、利用実績のある利用者の認定区分が要支援から要介護へ移行したこと、新規の利用者がいなかったことから、利用実績がなかった。	B:経過注意
	18 特定施設入居者生活介護	利用人数(人/月)	633 641	655 666	690 715	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	19 介護予防特定施設入居者生活介護	利用人数(人/月)	103 101	113 98	102 85	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	20 福祉用具貸与	利用人数(人/月)	2,585 2,671	2,688 2,819	2,883 2,957	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	21 介護予防福祉用具貸与	利用人数(人/月)	573 681	602 772	815 812	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	22 特定福祉用具販売	支給人数(人/年)	576 459	612 607	622 612	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当

	第8期計画上の事業名	項目 (単位)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	令和2年度の見込量と実績値の差異の要因等	評価	
			見込	見込	見込			
			実績	実績	実績			
施策 1	23	特定介護予防福祉用具販売	支給人数(人/年)	228 176	240 219	230 220	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	24	住宅改修	支給件数(件/年)	492 423	516 463	484 460	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	25	介護予防住宅改修	支給件数(件/年)	264 252	264 278	289 237	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	26	居宅介護支援	利用人数(人/月)	4,086 3,970	4,255 4,100	4,154 4,296	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	27	介護予防支援	利用人数(人/月)	713 810	747 914	1,034 988	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	28	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	利用人数(人/月)	56 41	59 41	42 41	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	29	夜間対応型訪問介護	利用人数(人/月)	40 42	40 44	46 50	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	30	認知症対応型通所介護	利用回数(回/年)	4,586 5,441	4,860 5,039	4,526 3,713	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	31	介護予防認知症対応型通所介護	利用回数(回/年)	102 37	102 26	10 0	サービスの性質上、要支援認定者の中に対象者がもともと少ないが、過去の実績から一定程度の利用を見込んだものの、利用実績のある利用者の認定区分が要支援から要介護へ移行したこと、新規の利用者がいなかったことから、利用実績がなかった。	B:経過注意
	32	認知症対応型共同生活介護	利用人数(人/月)	294 279	304 284	291 294	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	33	介護予防認知症対応型共同生活介護	利用人数(人/月)	1 1	1 0	1 2	サービスの性質上、要支援認定者の中に対象者が少ないが、令和2年3月、新たに18床が整備されたこともあり、実績値は見込量を上回った。	B:経過注意
	34	小規模多機能型居宅介護	利用人数(人/月)	127 118	138 121	145 123	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	35	介護予防小規模多機能型居宅介護	利用人数(人/月)	19 14	19 15.0	17 11	サービスの性質上、要支援認定者の利用は少なく、実績値は見込量を下回ったが、令和3年3月、第1圏域に新たに1か所整備されたため、今後、見込量及び実績値の増加が見込まれる。	B:経過注意
	36	看護小規模多機能型居宅介護	利用人数(人/月)	20 13	24 21	25 27	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	37	地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	利用人数(人/月)	4 2	4 2	3 1	市内に施設がないが、他市町村の施設利用を一定程度見込んだものの、サービスの性質上、他市町村の施設利用は特例であるため利用者は増加せず、実績値は見込量を下回った。	A:妥当
	38	地域密着型特定施設入居者生活介護	利用人数(人/月)	- -	- -	- -	施設整備計画なし	
	39	地域密着型通所介護	利用回数(回/年)	134,352 129,492	139,439 124,523	131,709 118,535	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	40	介護老人福祉施設	利用人数(人/月)	754 703	780 698	726 733	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	41	介護老人保健施設	利用人数(人/月)	606 565	611 568	594 543	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	42	介護療養型医療施設	利用人数(人/月)	17 9	14 5	4 3	既に多くの施設が医療保険適用の病床等に転換していることから、サービス利用の減少を見込んだものの、実績値は見込量を更に下回った。	B:経過注意
	43	介護医療院	利用人数(人/月)	5 2	10 33	37 43	見込量と実績値は、おおむね同程度で推移している。	A:妥当
	44	介護保険施設等整備事業 (第7期計画期間 新規整備)	介護老人福祉施設(床)	0 0	100 0	100 100	平成30年度から令和元年度までの継続事業であったが、設計変更の必要が生じたため、令和2年度まで延伸。令和3年2月1日に開設された。	A:妥当
	45		認知症高齢者グループホーム(床)	0 0	18 0	18 18	令和元年度に18床の整備を計画した。第7圏域において整備事業者が選定され、令和2年3月1日に開設された。	A:妥当
	46		小規模多機能型居宅介護(箇所)	0 0	2 0	2 1	令和元年度に2箇所の整備を計画した。第1圏域においては、整備事業者が選定され、令和3年3月に1箇所開設された。第6圏域又は第7圏域においては、整備事業者の公募を行ったものの、応募者はなかった。	B:経過注意
	47	介護保険事業者の指定	-	-	-	-	地域密着型サービス事業所、居宅介護支援事業所、介護予防・日常生活支援総合事業所の指定を行った。	



## 基本方針3 保険給付事業の円滑な運営

	第8期計画上の事業名	項目 (単位)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	令和2年度の振り返り	評価	令和3年度の取組	
			見込	見込	見込				
			実績	実績	実績				
施策2	1 介護保険事業者指導・監査事業	実地指導の実施箇所数(箇所)	90	95	90	感染拡大防止のため実地指導は中止とした(迅速な判断が必要と判断した案件のみ特例的に実施)。	A:継続	感染症の状況をみながら、県と連携し、実施可能な方法・時期を判断していく(迅速な対応が必要と判断した案件については適宜対応)。	
			88	87	2				
	2 介護保険事業者支援事業	事業者連絡会議参加者数(人)	275	285	210	事業者連絡会議については、介護サービスの質の確保・向上を図るため、市内全ての介護保険事業所を対象として、介護保険制度の内容やサービス提供時の留意事項等について、情報提供等を行ってきたが、感染拡大防止のため書面会議(資料配付)とした。	A:継続	感染症の状況をみながら、事業者連絡会議の開催方法等について検討し、対応する。	
			244	173	0				
	3 介護人材確保支援事業	-	-	-	-	市立小中学校の児童・生徒を対象とし、介護の魅力に係る普及啓発を行うための出前講座が、コロナ禍の影響により中止となったため、当該講座を動画収録したDVDを作成し小中学校に配布した。	A:継続	市立小中学校の児童・生徒を対象とした出前講座や介護施設及び介護事業所の職員を対象とした出前研修を開催するほか、介護人材の確保、離職防止・定着支援等に係る取組を検討する。	
	4 ケアマネジメント技術向上支援事業	ケアプラン点検数(件)	114	114	108	ケアプラン点検については、感染拡大防止のため、面談形式での点検を、一時的に書面点検にするなど工夫して実施を継続した。	B:見直し・改善	ケアプラン点検は、書面形式でも助言状況がわかりやすくなるよう点数制を導入した。今後もケアマネジャーの声を踏まえて随時改善していく。研修会は、ZOOMや動画を活用し、実施する。	
			106	108	108				
研修会参加者数(人)	450	450	150						
		214	322	110					
5 介護サービス相談員派遣事業	事業所訪問延べ回数(回)	1,114	1,114	609	感染症状況を踏まえ、介護相談員及び受入事業所に意向を確認の上、派遣を中止とした。	B:見直し・改善	感染症の状況をみながら、介護相談員及び受入事業所の意向を確認し、事業実施を検討する。		
		1,055	936	0					
派遣事業所数(箇所)	58	58	54						
		56	54	53					
6 介護給付適正化事業	-	-	-	-	給付費通知の発送、ケアプランの点検等、これまでの事業に加え、国民健康保険団体連合会から提供されるデータの活用により給付の適正化を図った。	A:継続	引き続き、給付の適正化を図っていく。		
7 居宅介護支援事業者等補助事業	助成件数(件)	66	69	68	実績が見込量を下回ったが、助成件数に大きな変動はない。	A:継続	適切な助成が行われるよう、引き続き申請内容を確認していく。		
		74	63	61					
施策3	1 高額介護サービス費等の給付	高額介護サービス費(千円)	311,463	326,337	357,916	実績が見込量を上回ったが、見込量とおおむね同程度で推移している。	A:継続	適切な助成が行われるよう、高額介護サービス費及び高額医療合算介護サービス費については、引き続き対象者に申請勧奨を行い、特定入所者介護サービス等費については、金銭的に困難な利用者に対し、窓口等で制度の案内を行う。また、高額介護サービス費及び特定入所者介護サービス等費については、令和3年8月から制度改正となることから、利用者や介護サービス事業者等に対して漏れのないよう周知を行う。	
				298,585	346,817				385,812
		高額医療合算介護サービス費(千円)	42,770	44,812	48,978				
				40,986	47,459				50,192
		特定入所者介護サービス費等給付費(千円)	342,097	358,434	351,001				
			331,175	340,117	351,281				
	2 社会福祉法人等利用者負担軽減事業	利用者負担軽減によるサービス利用者数(人)	8	9	10	実績が見込量を上回り、利用者数も増となった。	A:継続	引き続き、経済的に困難な利用者に対し、窓口等で制度の案内を行う。	
		8	9	13					
3 介護サービス情報公表事業	-	-	-	-	事業所情報について、月に1度情報を更新し、ホームページでの公開及び窓口での情報提供を行った。	A:継続	引き続き、窓口やホームページで情報を公開する。		

## 基本方針4 地域における高齢者支援体制の強化

	第8期計画上の事業名	項目 (単位)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	令和2年度の振り返り	評価	令和3年度の取組			
			見込	見込	見込						
			実績	実績	実績						
施策1	1 地域包括支援センター運営事業	相談件数(件)	7,730	7,960	8,180	「議題3 地域包括支援センターの運営について」参照	A:継続	「議題3 地域包括支援センターの運営について」参照			
	2 地域包括支援センターの運営評価	-	-	-	8,344				7,944	11,499	
施策2	1 自立支援ケア会議の開催	検討ケース数(件)	個別ケア会議の件数を含む 32	個別ケア会議の件数を含む 68	個別ケア会議の件数を含む 21	感染症予防のため、会議回数を減らしつつ、オンライン会議を導入した。	B:見直し・改善	オンライン会議を継続。対象を要介護1のケースに拡大し、軽度認定者の自立支援・重度化防止につなげる。			
	2 個別ケア会議・圏域ケア会議の開催	個別ケア会議検討ケース数(件)	98	98	72				個別ケア会議は必要に応じて実施。圏域ケア会議は、感染予防のため、ほぼ中止となった。	B:見直し・改善	個別ケア会議は、引き続き、必要に応じて実施。圏域ケア会議はオンラインでは活発な議論につながりにくいことを踏まえ、感染予防対策をとった開催方法を検討する。
	3 おだわら地域包括ケア推進会議の開催	-	-	-	-						
施策3	1 地域の医療・介護の資源の把握	-	-	-	-	令和3年度開催予定の検討会に向け、参考データの収集を行った。	A:継続	検討会を行い、現状把握や課題抽出の参考データとして活用する。			
	2 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	-	-	-	-	令和元3年度立ち上げに向け、調整を行った。	B:見直し・改善	検討会を行い、年2回開催し、分野別に検討を行う。令和6年度中に全ての分野における協議を完了させる。			
	3 在宅医療・介護サービス情報発信事業	-	-	-	-	令和2年度は31件の情報発信を行い、前年度から半減した。発信内容は、新型コロナウイルス感染症予防対策に関する情報が一番多く、次いで小田原医師会地域医療連携室からの毎月の相談医の案内であった。令和元年度に最も多かった研修案内は大幅に減少した。	A:継続	引き続き実施予定。医療・介護に係るものであれば、研修及びイベント以外の様々な内容の発信をしていく。			
	4 在宅医療・介護連携ツールの作成	-	-	-	-	ケアネットOHMYと1市3町が協力し、情報共有シートを作成した。令和2年6月から運用中。	A:継続	運用から1年を経過した後に、実施状況の把握と見直しを行う。			
	5 相談体制の充実	-	-	-	-	小田原医師会地域連携室に相談窓口を設置し、機能維持・強化のため、包括支援センターとの打合せ会を書面で開催した。	B:見直し・改善	感染症予防対策を行い、打合せ会を対面方式で実施する。			
	6 多職種共同研修	研修会参加者数(人)	620	640	150	感染症の影響により年3回の開催から1回に変更し、WEB会議(Zoom)による方式で実施した。	B:見直し・改善	引き続きWeb形式で実施するとともに、感染症予防対策を行いながら、Webと対面方式のハイブリッド型で実施し、参加人数を増やす。			
	7 終活講座	講座参加者数(人)	-	-	200				感染症の影響により開催中止。	B:見直し・改善	感染症予防対策(検温・消毒・人数制限)を行い、開催する方向で検討する。
		495	485	91	179	130	0				
施策4	1 認知症サポーター養成講座	サポーター養成講座受講者数(人)	1,830	1,830	800	感染症の影響により講座開催が中止になったため、講座の開催が大幅に減少した。	B:見直し・改善	感染症の状況をみながら、オンライン開催も検討していく。			
	2 認知症地域支援推進事業	-	-	-	-				B:見直し・改善	キャラバン・メイト連絡会を1回から3回に増やし、キャラバン・メイトを中心に認知症カフェを開催していく。	
	3 認知症初期集中支援事業	認知症初期集中支援チーム員によるケアマネジメント件数(件)	13	14	5	感染症の影響により2回中止、2回書面会議となった。	A:継続	引き続き、地域包括支援センターへの働きかけを行い、本事業の活用を促し、認知症の方の早期発見・早期対応ができるよう支援体制を整えていく。			
	4 認知症居場所づくり支援事業(認知症カフェ)	認知症カフェ(件)	-	-	1				A:継続	新規事業の立上げあり。その他キャラバン・メイトを中心に認知症カフェを開催する予定もあり、今後も増える可能性がある。	
	5 高齢者成年後見制度利用支援事業	市長申立て審判請求件数(件)	25	26	20	市長申立て審判請求件数に関しては、年間通じて成年後見制度利用調整会議を行い、対象者に適した権利擁護支援のあり方を多角的な視点から検討したほか、申立準備中に対象者が亡くなってしまったこと等により、例年に比べ件数が大幅に減った。	A:継続	成年後見制度が必要な方を適切に制度に繋げるため、成年後見制度利用調整会議の質を高めていき、状況に応じて市長申立てが実施できるよう庁内での連携を図っていく。			
		成年後見人等報酬助成件数(件)	-	-	24				20	23	20
6 成年後見制度利用支援事業	中核機関の相談件数	-	-	-	(R4年度新規) ※R2年度「小田原市成年後見制度利用促進指針」を策定。R3年度策定予定の「第4期小田原市地域福祉計画」の一部に基本的な考え方や施策を位置づけ、具体的な取組を推進する。						
	市民後見人研修受講者数(人)	-	-	-				-	-	-	

	第8期計画上の事業名	項目 (単位)	H30(2018)	R1(2019)	R2(2020)	令和2年度の振り返り	評価	令和3年度の取組	
			見込	見込	見込				
			実績	実績	実績				
施策5	1 家族介護教室開催事業	教室参加人数(人)	-	-	200	・教室:感染症の影響により第1回から3回、第8回から10回は中止。 ・交流会:感染症の影響により4月～6月は中止。11月よりオンライン開催開始。1月～3月はオンラインのみの開催。	B:見直し・改善	教室、交流会ともに感染症予防対策を行いながら、Webと対面方式のハイブリッド型で実施し、参加人数を増やしていく。	
			139	125	34				
	2 家族介護用品支給事業	交流会参加人数(人)	-	-	120	2回目の支給では今後通知不要届を提出している方には申請様式を送付しなかったため、支給率を上げることができた。	B:見直し・改善	支給商品のラインナップの見直しを検討する。	
			112	85	87				
3 認知症等高齢者SOSネットワーク事業	-	-	-	-	(事業名を「認知症等高齢者SOSネットワーク事業に変更)届出様式を捺印不要に変更した。令和2年度の登録者数は126人(前年比6名減)であり、自粛の影響か、登録者数は減少した。	A:継続	引き続き、本事業の目的や方針をより詳しく説明し、市民にも協力を求めるようにする。		
4 介護マーク普及事業	-	-	-	-	広報誌で周知を行うことで認知度の向上に努めた。	A:継続	引き続き周知を行い家族介護者の介護負担の軽減に努める。		
施策6	1 食の自立支援事業(任意事業)	配食実人数(人)	128	123	110	配食実績は年々減少している。要因のひとつとして、民間の高齢者向けの配食サービスの多様化があると考えられる。	A:継続	引き続き周知を行い、サービスを必要とする高齢者の利用につなげる。	
			111	89	72				
		配食数(食)	30,000	29,000	18,240				
	2 高齢者救急要請カード配付事業	新規対象者配付率(%)		97.0	97.0	0	感染予防のため民生委員による訪問配付は中止し、希望者へ窓口または郵送で都度対応。	A:継続	民生委員による訪問配付を再開。
				96.0	95.8	0			
	3 独居老人等緊急通報システム事業	システム設置台数(台)		30	30	15	新規1件。施設入所等による撤去4件。	A:継続	事業周知継続。なお近年のホームセキュリティ、見守りサービス、携帯電話等の普及により、市民の選択肢が広がっている可能性あり。
				15	11	8			
	4 福祉タクシー利用助成事業	利用台数(台)		4,300	4,500	2,400	利用台数減少。感染症拡大による外出自粛、医療機関への受診控え等の影響と推測される。	A:継続	在宅生活を支える移動支援として、市広報、ホームページ、認定結果通知に同封する案内文、窓口配架の情報冊子等で事業の周知を継続。
			2,957	2,717	2,228				
5 地域住民主体の支え合い活動に対する支援	-	-	-	-	感染症対策を講じながら、各地区での生活応援隊事業や見守り活動等が行われた。サロン活動については、感染症の影響により開催回数減少。	A:継続	集合形式での活動が安心して開催されるよう、感染症予防対策に関する理解を促し、支え合い活動の更なる活性化を図る。		
6 居住支援関連情報の提供	-	-	-	-	庁内関係課へ対し、県及び県居住支援協議会からの情報提供を行った。	A:継続	引き続き情報提供及び課題の整理のため関連課で連携を図る。		
7 民間事業者等の協力体制の整備	-	-	-	-	協定先から年間3件の連絡があり、地区の民生委員等と協力し速やかに安否確認を行った。	A:継続	協定先から通報があった場合には、地区の民生委員等と協力し、速やかに対応を行う。		
8 在宅要配慮者に対する災害時支援体制の構築	-	-	-	-	災害時の避難を事前に定めておく個別避難計画の作成を市内8つの自主防災組織で先行的に実施した。感染症により困難であったが、一部で計画が策定できた。	A:継続	災害対策基本法の改正により、個別避難計画の作成が努力義務化されたため、必要な体制について関係機関と調整を進めていく。		
施策7	1 高齢者虐待防止ネットワーク事業	研修会の参加人数(人)	120	120	100	感染症の影響により開催中止。	A:継続	オンライン開催も含め、感染症予防対策(検温・消毒・人数制限)を行い、実施する方向で検討する。	
			0	177	0				
	2 養護老人ホーム入所判定事業	-	-	-	-	令和2年11月に入所判定委員会を開催した。	A:継続	必要に応じて、入所判定会議を行う。	
	3 老人ホーム入所等措置事業	-	-	-	-	令和2年12月以降、1人について養護老人ホームに措置入所することとなった。	A:継続	必要に応じて、適切に措置の判断を行う。	
4 緊急一時入所事業	-	-	-	-	利用なし。	A:継続	必要に応じて、高齢者の安全を最優先し対応していく。		

地域包括支援センター  
運営状況の概要（令和2年度）

## 地域包括支援センター運営状況の概要

第6期計画～第7期計画（平成27年度～令和2年度）

### 1 地域包括支援センターの運営体制と基盤的業務

#### (1) 地域包括支援センター設置数

(単位：箇所)

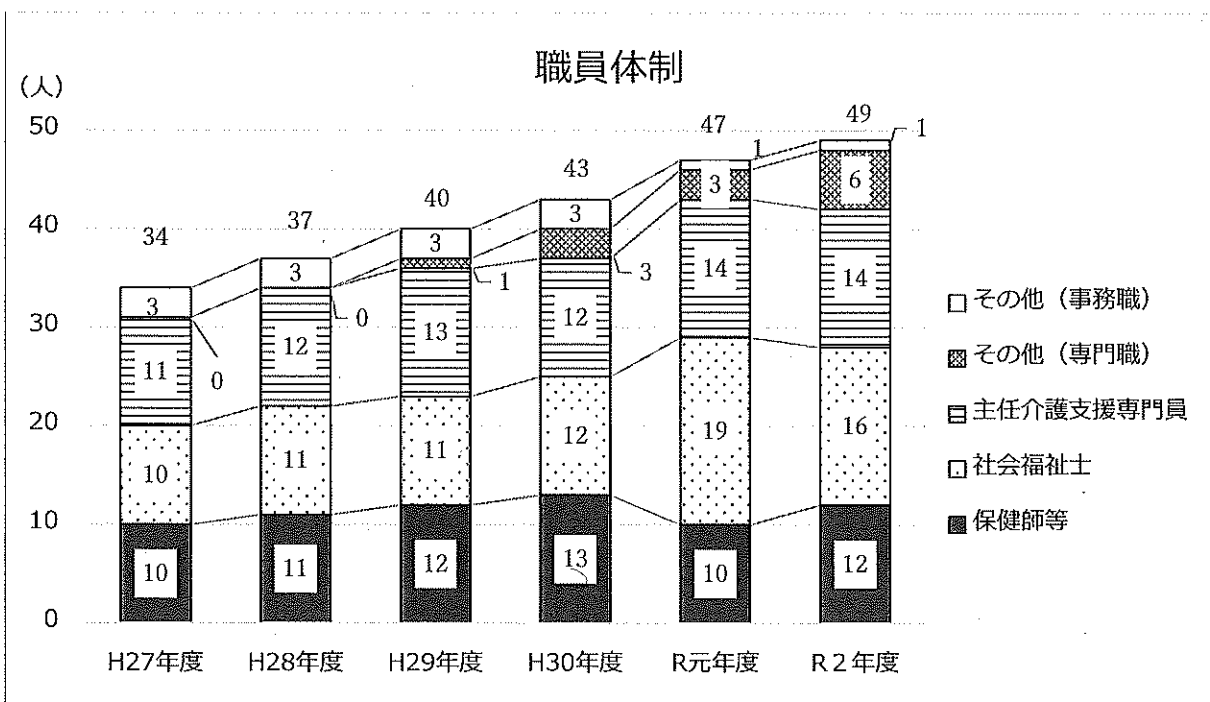
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
設置数	7	8	12	12	12	12
増設数	2	1	4	—	—	—

#### (2) 職員体制（当該年度末時点）

○令和2年度は令和元年度に拡充した職員体制（1包括センター当たり4人）を概ね維持。  
 →現行の職員の定着のための取組を引き続き展開する。

(単位：人)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
保健師等	10	11	12	13	10	12
社会福祉士	10	11	11	12	19	16
主任介護支援専門員	11	12	13	12	14	14
その他（専門職）	0	0	1	3	3	6
その他（事務職）	3	3	3	3	1	1
合計	34	37	40	43	47	49



## 2 総合相談支援事業

○令和2年度の新規相談件数はそれ以前の3年間と概ね同規模で推移。

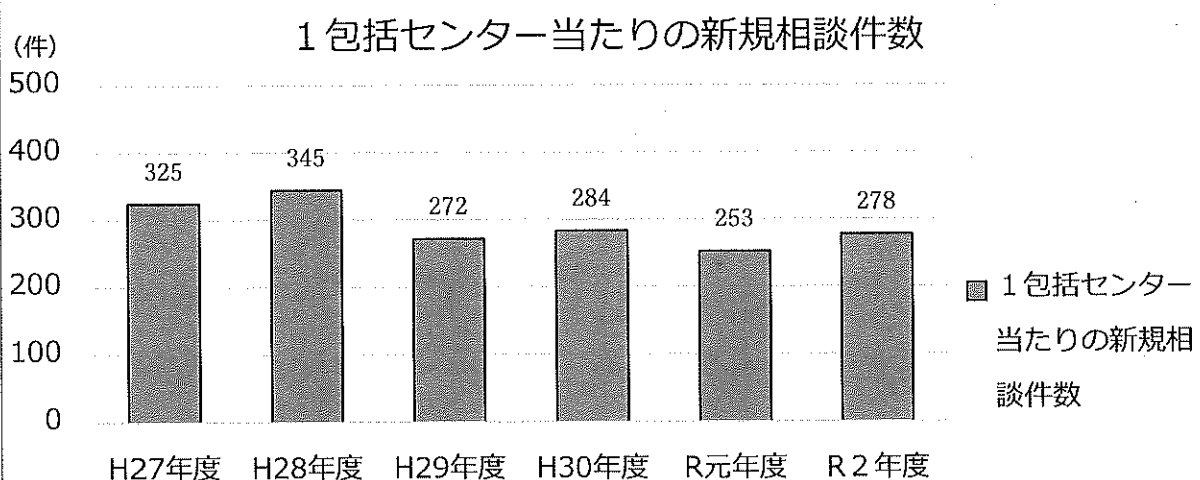
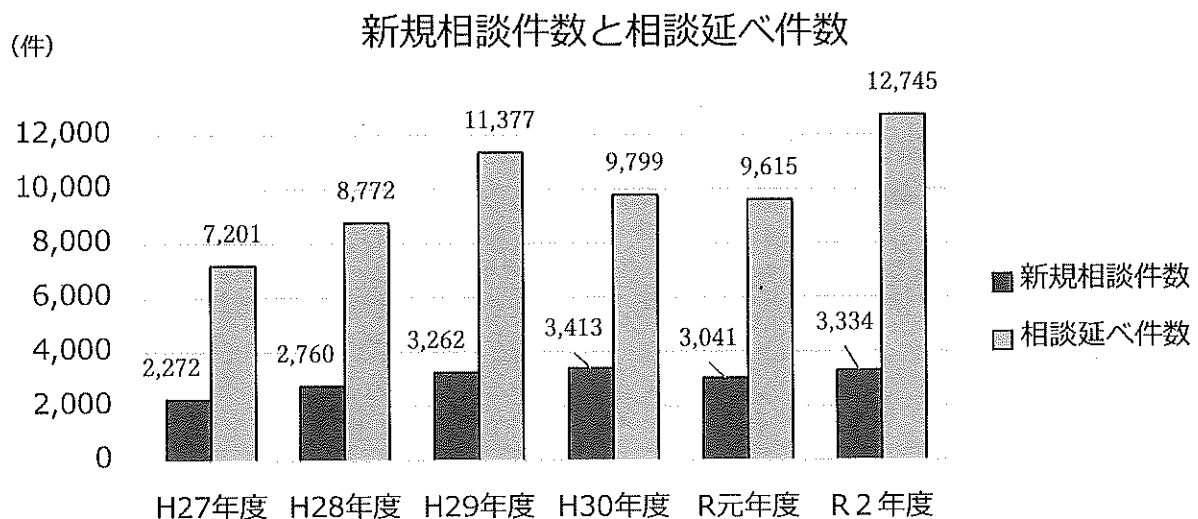
➡新型コロナウイルス感染症対策を講じながら更なるアウトリーチ活動を展開する。

○相談延べ件数は、平成29年度を上回った。一部の包括センターで実情に合わせた集計方法を行ったほか、電話相談において同一相談者への対応頻度が増えたことも影響。対応方法別では、来訪件数は前年同規模だが、電話等や訪問で対応した件数は増加。内容別では、特に各種サービス利用に関する案件の増加が顕著。

### (1) 相談件数の推移

(単位：件)

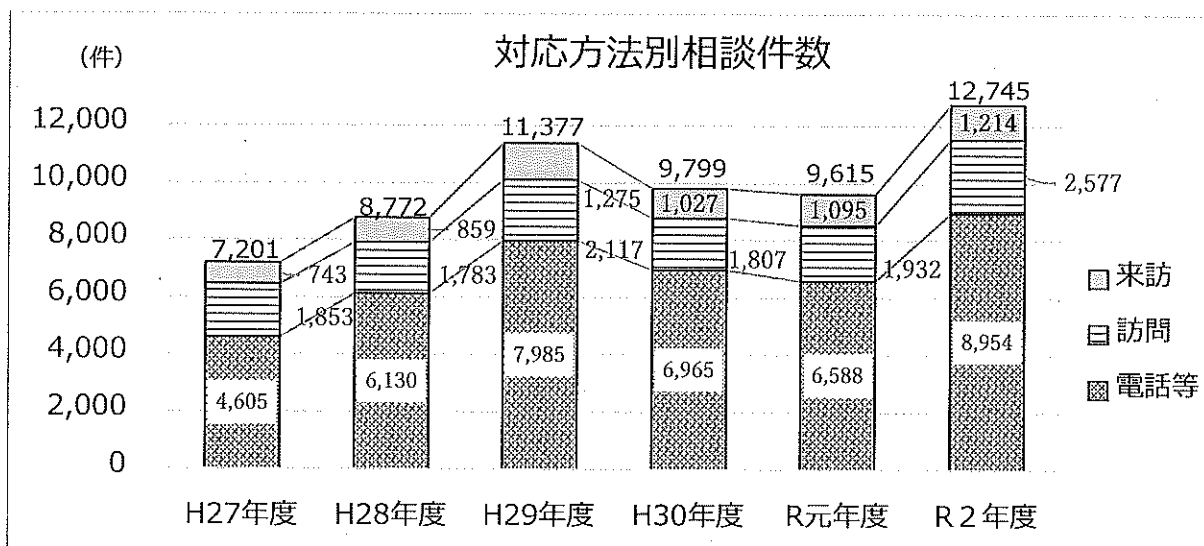
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
新規相談件数	2,272	2,760	3,262	3,413	3,041	3,334
相談延べ件数	7,201	8,772	11,377	9,799	9,615	12,745
1包括センター当たりの新規相談件数	325	345	272	284	253	278



(2) 対応方法別相談延べ件数

(単位：件)

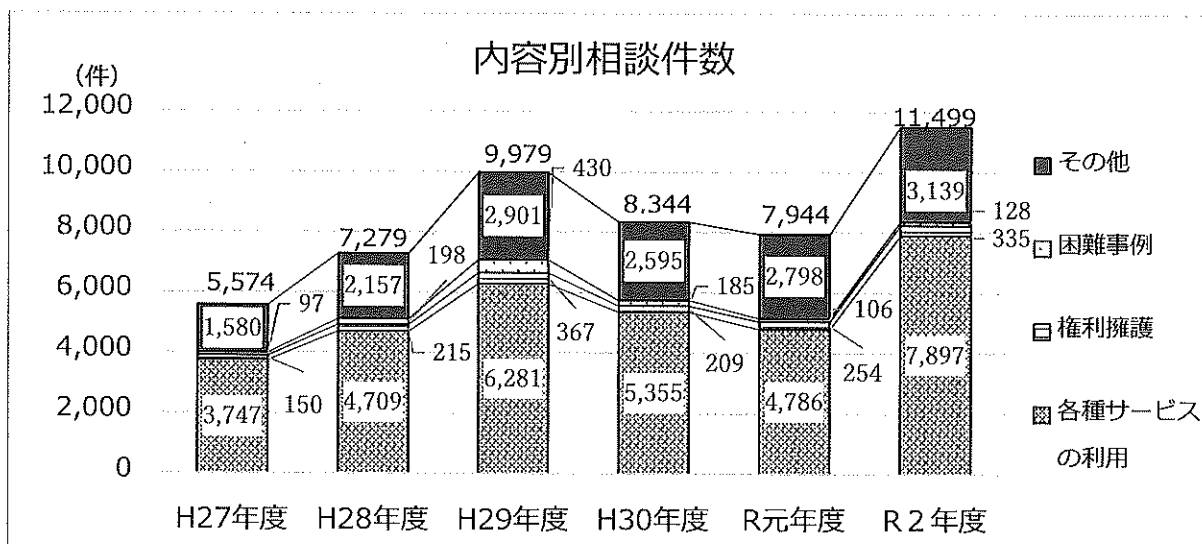
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
電話等	4,605	6,130	7,985	6,965	6,588	8,954
訪問	1,853	1,783	2,117	1,807	1,932	2,577
来訪	743	859	1,275	1,027	1,095	1,214
合計	7,201	8,772	11,377	9,799	9,615	12,745



(3) 内容別相談延べ件数

(単位：件)

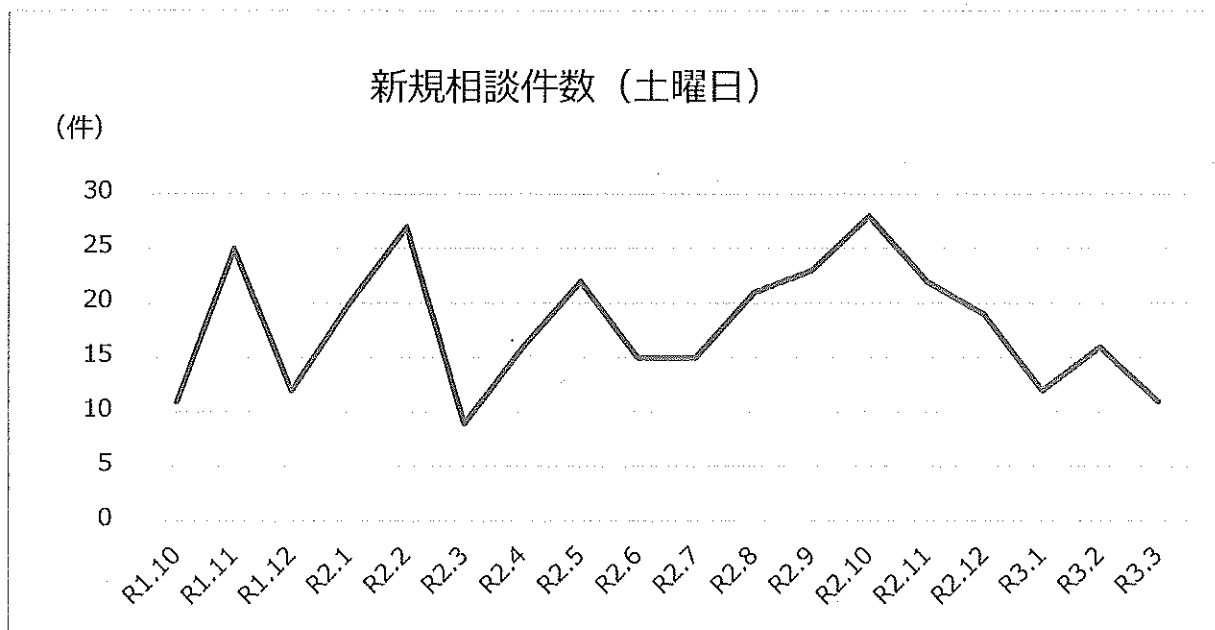
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
各種サービスの利用	3,747	4,709	6,281	5,355	4,786	7,897
権利擁護	150	215	367	209	254	335
困難事例	97	198	430	185	106	128
その他	1,580	2,157	2,901	2,595	2,798	3,139
合計	5,574	7,279	9,979	8,344	7,944	11,499



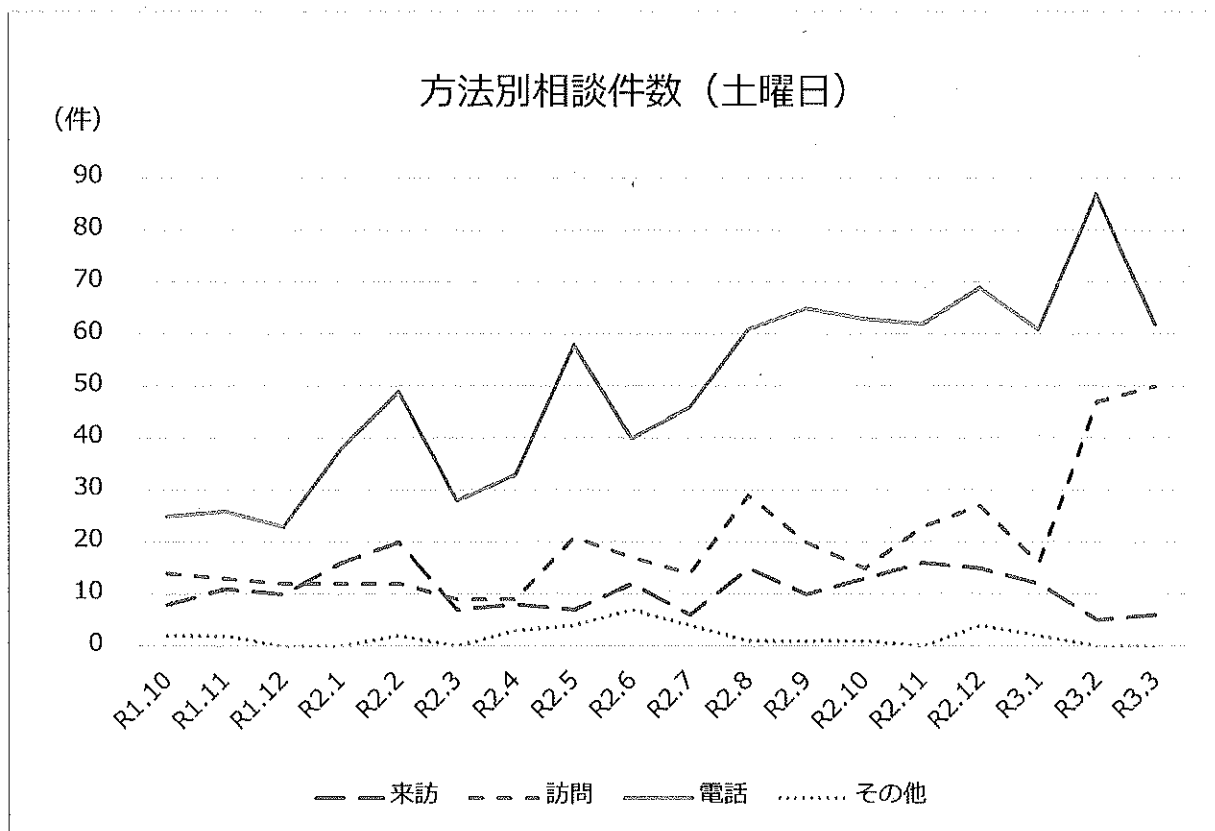
(4) 参考：土曜日における対応状況（令和元年10月以降）

○介護保険サービスの利用調整を中心として、家族介護者の支援に資することができた。  
 ○新規相談件数は同規模で推移しているが、平日と同じく新型コロナウイルス感染症の影響から電話の件数は増加傾向。

①新規相談件数（土曜日）

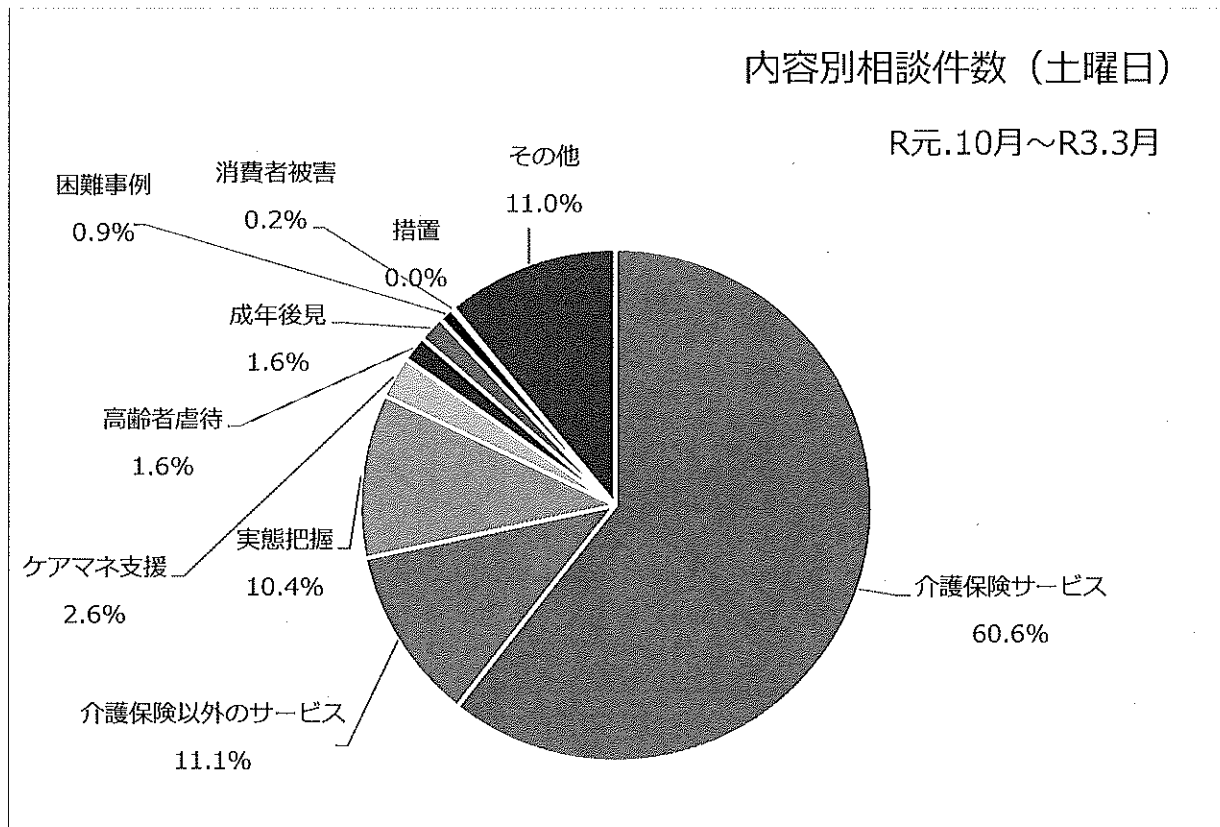


②方法別相談件数（土曜日）

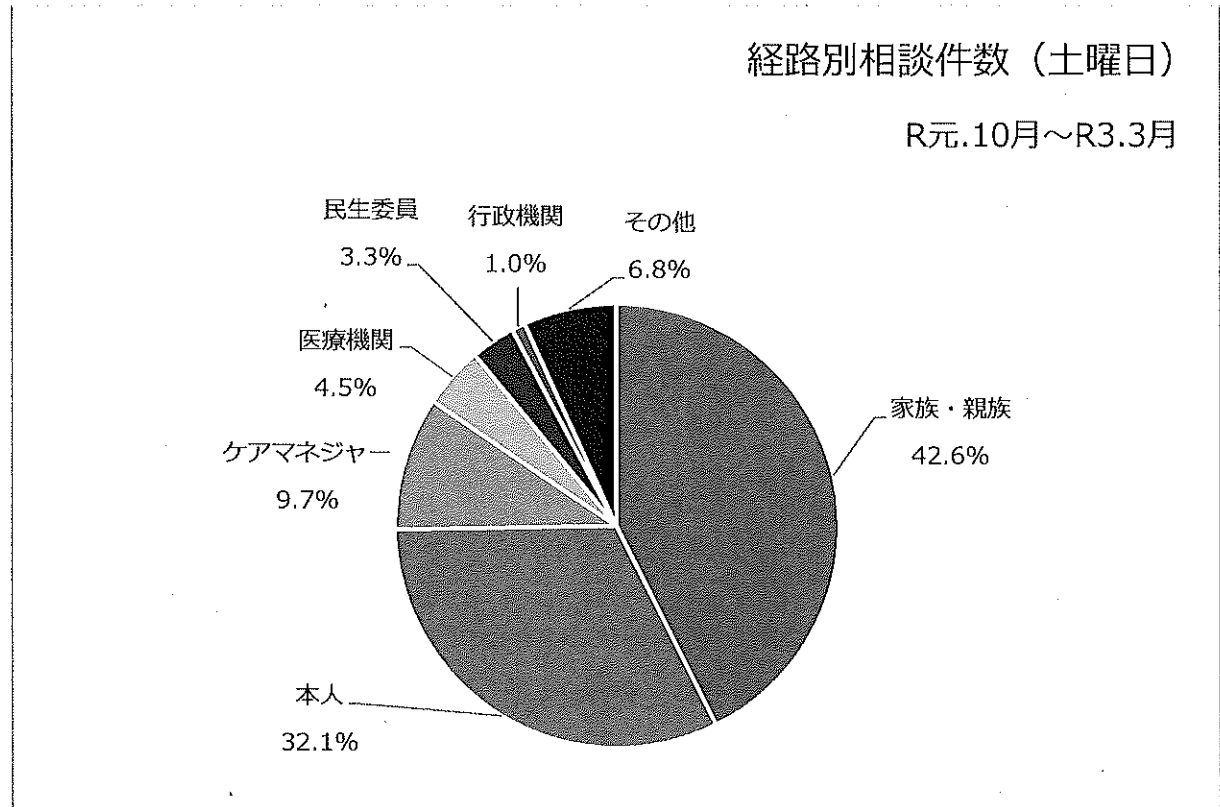




③内容別相談件数（土曜日）



④経路別相談件数（土曜日）



### 3 権利擁護事業

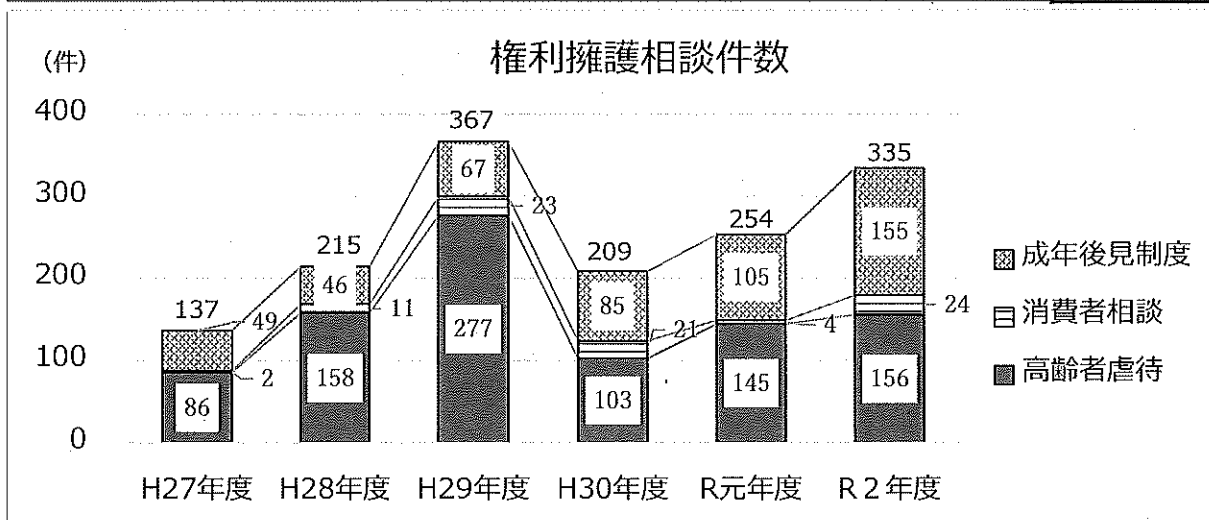
○成年後見制度の相談件数は年々増加。  
 →成年後見制度の相談窓口としての機能が市民に認識されつつある。

○高齢者虐待新規通報件数と虐待件数は前年同水準。  
 →コロナ禍にあっても、感染対策に考慮しながら高齢者虐待通報に対する迅速な事実確認と、コアメンバー会議を開催する体制を継続した。

#### (1) 権利擁護に関する相談件数

(単位：件)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
高齢者虐待	86	158	277	103	145	156
消費者相談	2	11	23	21	4	24
成年後見制度	49	46	67	85	105	155
合計	137	215	367	209	254	335

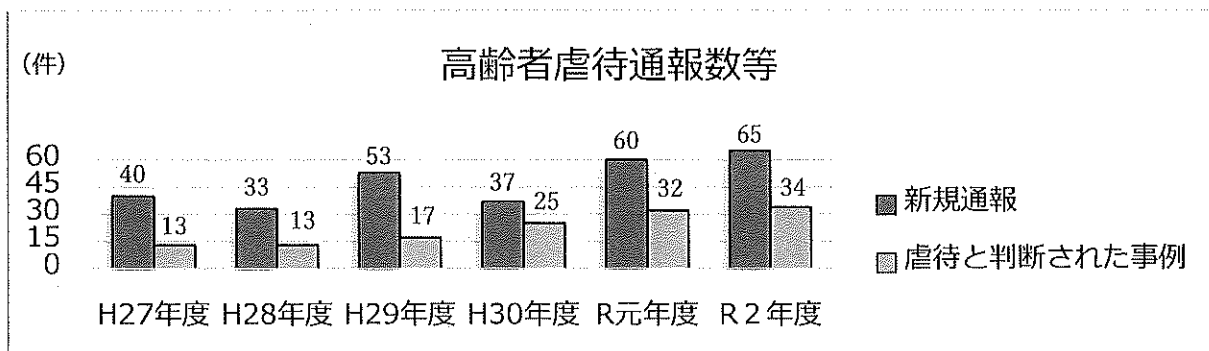


#### (2) 高齢者虐待

##### ① 新規通報と虐待件数

(単位：件)

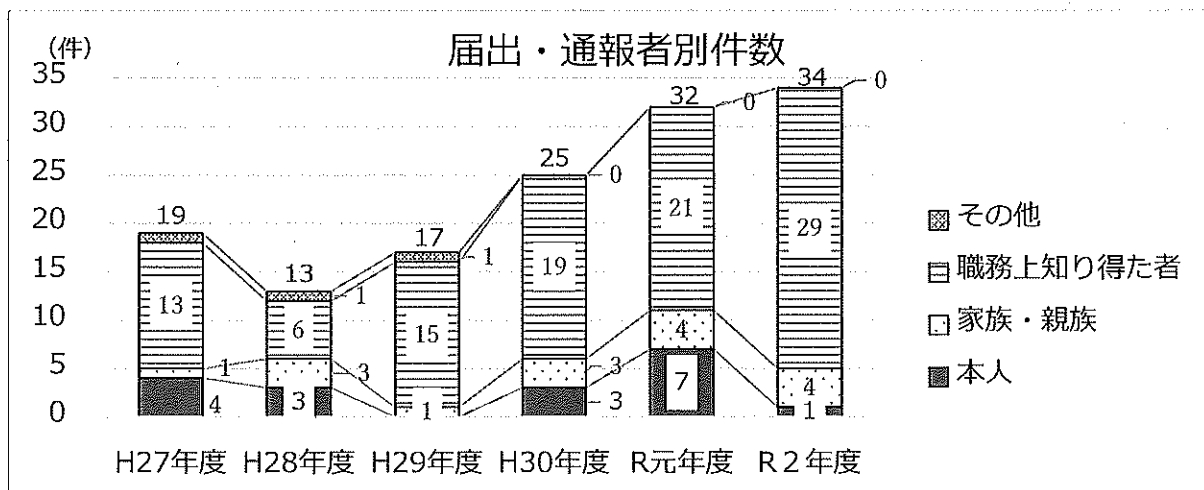
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
新規通報	40	33	53	37	60	65
虐待と判断された事例	13	13	17	25	32	34



②相談・通報者内訳（重複あり）

（単位：人）

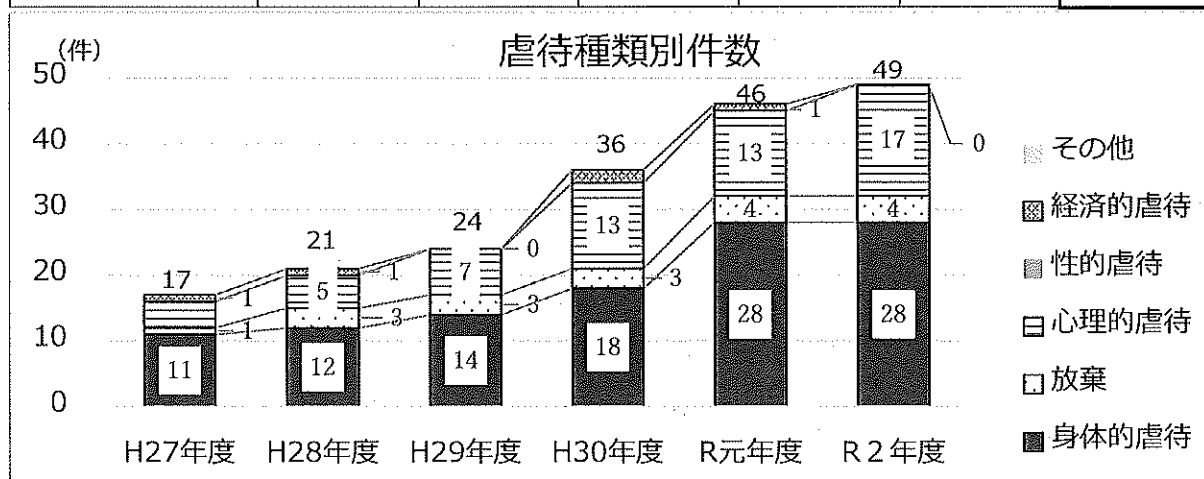
	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
本人	4	3	0	3	7	1
家族・親族	1	3	1	3	4	4
職務上知り得た者	13	6	15	19	21	29
その他	1	1	1	0	0	0
合計	19	13	17	25	32	34



③虐待の種別内訳（重複あり）

（単位：件）

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
身体的虐待	11	12	14	18	28	28
放棄	1	3	3	3	4	4
心理的虐待	4	5	7	13	13	17
性的虐待	0	0	0	0	0	0
経済的虐待	1	1	0	2	1	0
その他	0	0	0	0	0	0
合計	17	21	24	36	46	49



#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

○平成 30 年度から、ケアマネジャーからの相談件数は減少傾向。

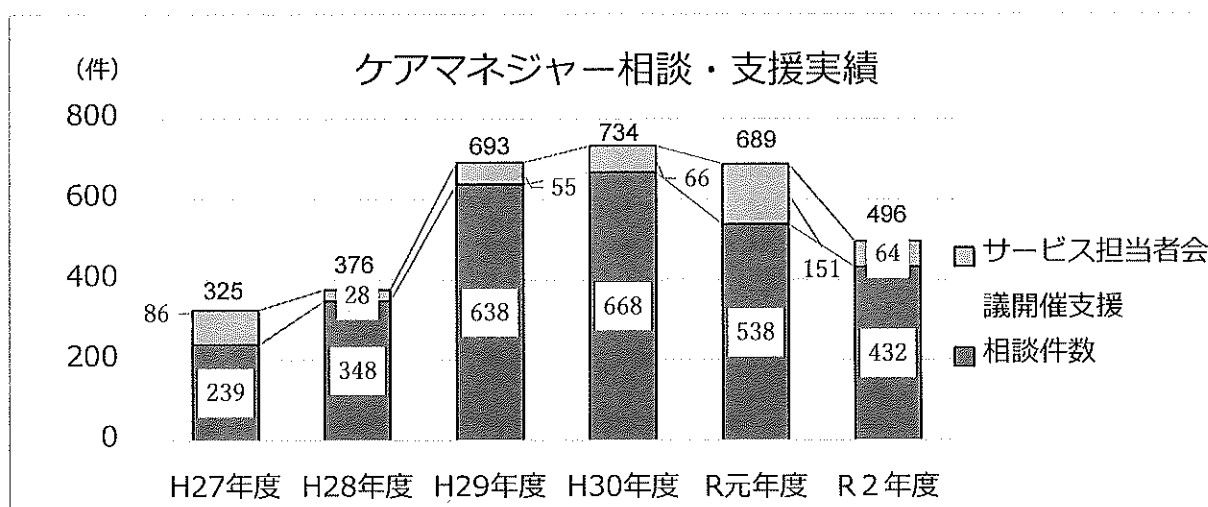
→件数としては減少傾向ではあるが、包括センターでケアマネジャーとの交流会を開催するなどして情報共有や連携体制の強化を図っている。

##### (1) ケアマネジャー支援

##### ①ケアマネジャー相談・支援実績

(単位：件)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度
相談件数	239	348	638	668	538	432
サービス担当者会議 開催支援	86	28	55	66	151	64



#### 5 介護予防ケアマネジメント事業

○職員体制の拡充により、職員 1 人当たりの作成件数は減少し、包括センター職員の負担軽減が図られた。その一方で、居宅介護支援事業所への再委託率は進展が見られない。

→再委託を円滑に進めるための取組が引き続き必要。

##### (1) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント（第 1 号介護予防支援事業）

##### ①要支援者等の介護予防ケアプラン作成

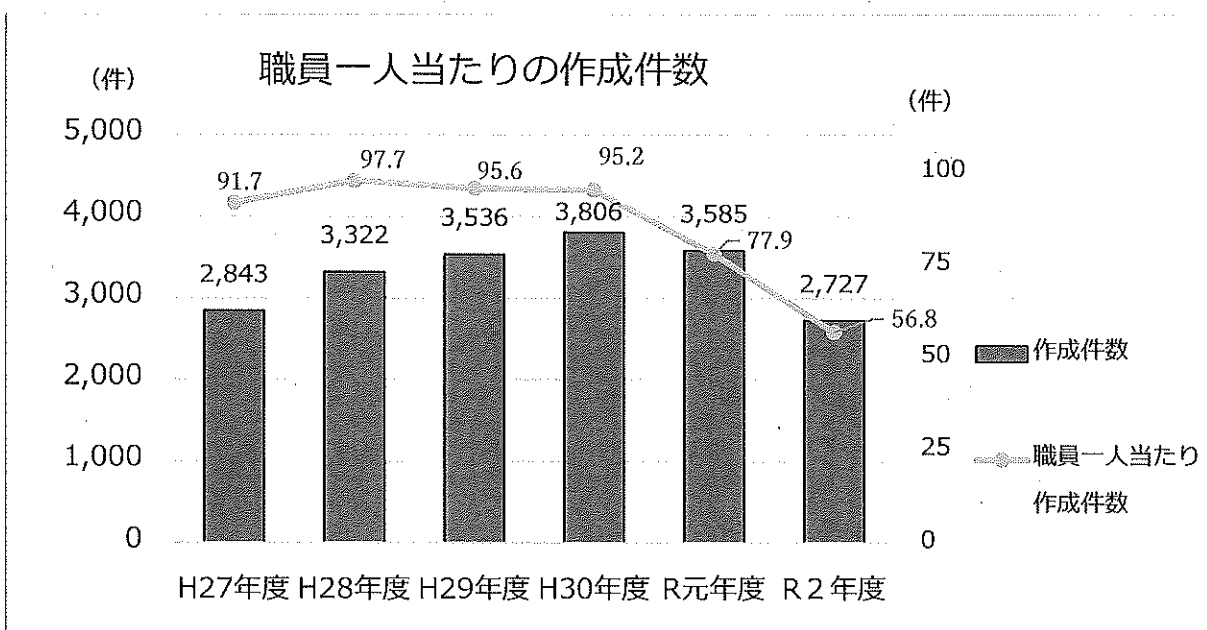
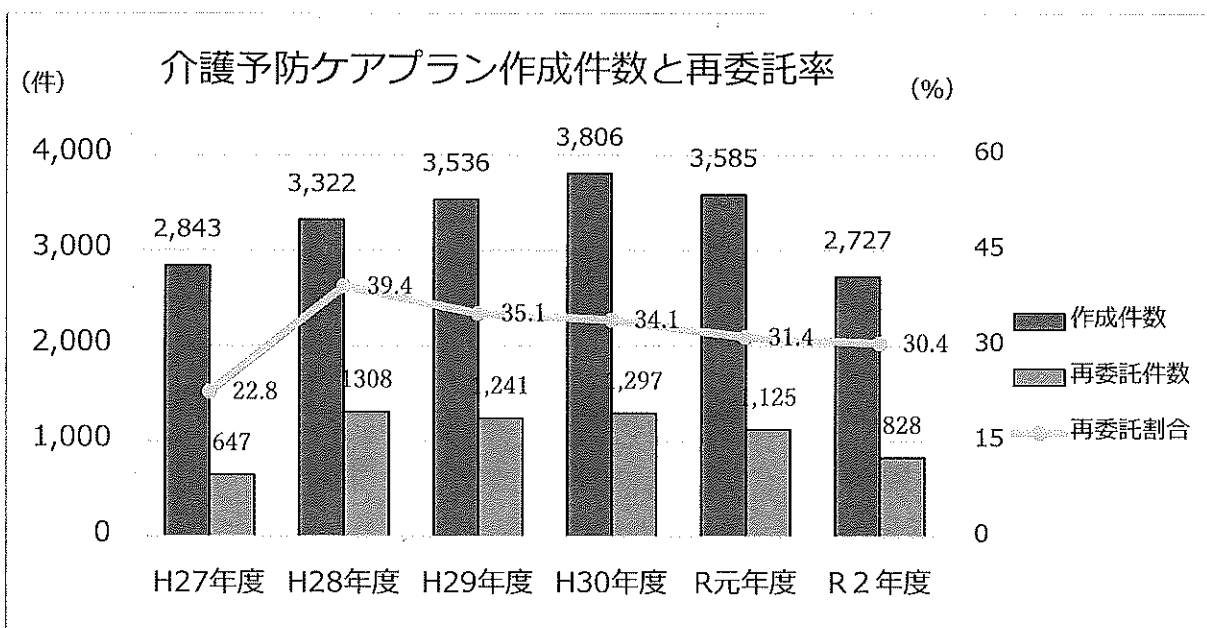
(単位：件)

	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度	R 2 年度
介護予防サービス計画原案作成	2,342	1,432	1,608	1,874	1,865	1,600
介護予防支援計画作成 (介護予防事業)	166	—	—	—	—	—
介護予防ケアマネジメント	335	1,890	1,928	1,932	1,720	1,127
うち介護予防ケアマネジメントA	335	1,791	1,766	1,800	1,557	1,062
うち介護予防ケアマネジメントB	0	99	160	132	162	65
うち介護予防ケアマネジメントC	0	0	2	0	1	0
対応件数 (今年度以前の把握も含む)	2,843	3,322	3,536	3,806	3,585	2,727

②居宅介護支援事業所への委託実績

(単位：件・%)

		H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
介護予防サービス 計画原案作成委託件数	件数	647	598	644	658	627	510
	割合	27.6	41.8	40	35.1	33.6	31.9
介護予防ケアマネジメント 委託件数	件数	0	710	597	639	498	318
	割合	0	37.6	30.9	33.1	29.2	28.2
合 計	件数	647	1,308	1,241	1,297	1,125	828
	割合	22.8	39.4	35.1	34.1	31.4	30.4

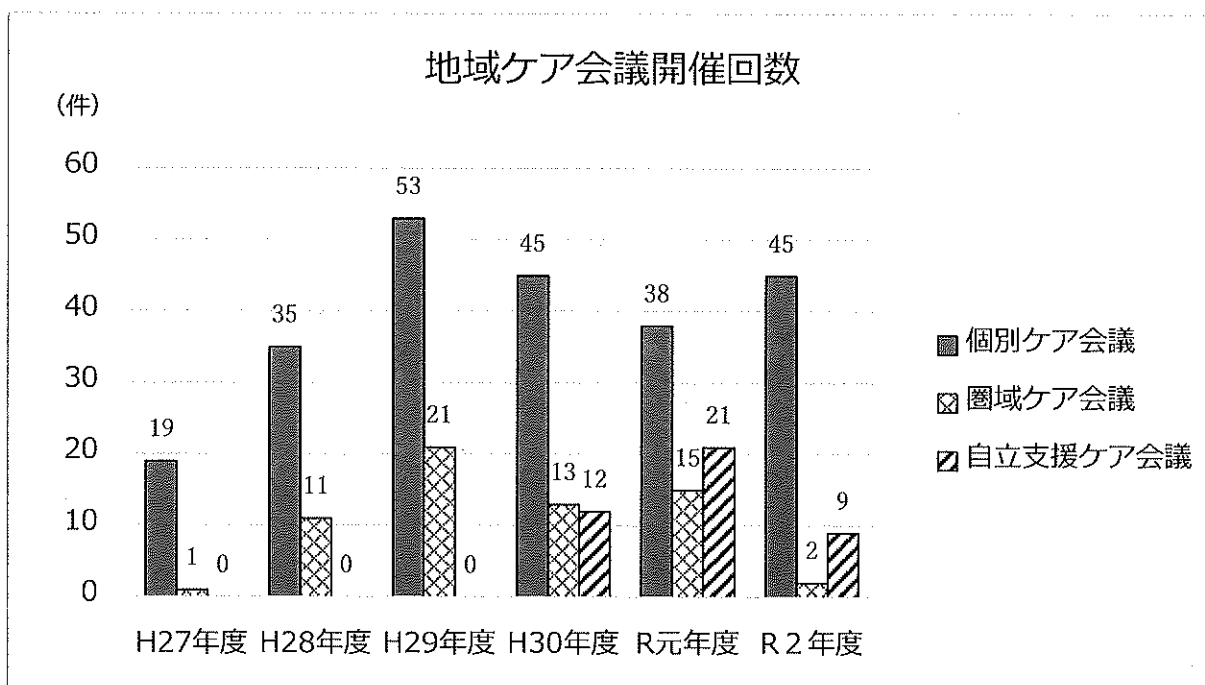


## 6 ネットワーク構築等

- 個別ケア会議は、全ての包括センターで開催されており令和元年度から微増。
- 圏域ケア会議は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、緊急事態宣言中は開催中止としたために回数が大幅に減少。
  - ➡コロナ禍であっても計画的に開催できるための取組や環境整備が必要。
- 自立支援ケア会議は、令和2年度は年12回の開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い4月～6月は開催中止。7月以降は、WEB会議システムを利用した会議形式を導入し開催。
  - ➡令和3年度は、引き続きWEB会議システムを利用して年18回の開催を予定。  
新たに居宅介護支援事業所にも事例提出を依頼し、自立支援・重度化防止のための取組を促進する。

### (1) 地域ケア会議

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	R2年度
個別ケア会議 (回)	19	35	53	45	38	45
開催した包括センター数	7	8	12	12	12	12
圏域ケア会議 (回)	1	11	21	13	15	2
開催した包括センター数	1	8	12	10	7	2
自立支援ケア会議 (回)	—	—	—	12	21	9
事例提出件数 (件)	—	—	—	32	67	21



## 7 職種別部会事業

### (1) 保健師・看護師部会

#### ①部会の開催状況

・開催回数：12回

#### ②部会事業の取組状況

事業名	介護予防の取組み ～地域診断から考える～
事業期間	令和2年度
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が高い健康意識や「自助努力」の考えを持ち、有する能力の維持に努めることができる。</li> <li>・地域住民が、自身の暮らしている地区のインフォーマルサービスを把握することができる。</li> <li>・地域住民が、介護保険制度を理解し、インフォーマルサービスを活用しながら、在宅生活を送ることができる。</li> </ul> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・収集した情報を基に分析・課題抽出し、地域診断を行う。</li> <li>・包括センター職員に提示してアンケートを実施。</li> <li>・分析した地域課題について市内26地区にそれぞれ特色や違いがあることがわかったと回答した包括センター職員の割合 80%</li> </ul>
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各関係者と連携し、地域住民の状況や地域資源等を情報収集し、地域課題を見出す。</li> <li>2. 地域課題に対する地域へのアプローチ方法を多職種の視点も入れながら検討する。 (多職種からの意見聴取)</li> <li>3. 高齢者一人ひとりが「自助努力」の考えを持ち、有する能力を維持するための支援について考える。</li> <li>4. 包括センターの職員として保健師や看護師の専門性を活かしながら地域に出向き、地域の方々と顔がみえる関係性を築く事で、相談しやすい体制を作る。</li> </ol> <p>【活動指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和2年度 地域診断（分析・課題抽出）</li> </ul>
取組の概要	<p>【4月～6月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染予防対策のため部会が開催できなかったが、メール等で情報交換や今後の活動方法の検討を実施した。</li> </ul> <p>【7月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成した「地域診断～資料集～」をアドバイザーに提示し、アドバイザーからの意見の共有を実施した。</li> </ul> <p>【7月～令和3年3月】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各包括で分析シートへの情報記載や分析・課題抽出を実施した。それぞ</li> </ul>

	れ担当地区数や職員の経験年数に差があるため、グループに分けて分析内容や必要な共通項目の検討、修正を実施した。
取組の成果	<p>【成果指標の達成状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域診断～資料集～」を作成し、アドバイザーの意見を踏まえながらモデルの分析シートを活用し分析・課題抽出を行った。</li> </ul> <p>【活動指標の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域診断～資料集～」を基に分析、課題抽出を行い、地域診断完成のための準備が終了した。</li> </ul>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民の意識や、インフォーマルサービスについて地域差があることは、印象として把握しているにすぎなかったため、今年度は資料集を基に住民の実態などの情報を集約し、保健師・看護師の視点で地域を客観的にとらえ、分析や課題抽出を行うことができたと思われる。</li> <li>・今年度は新型コロナウイルス感染予防対策のためメールやWEB会議システム上での会議となり、「地域診断～情報分析・課題集～(仮)」の作成ができなかった。次年度は地域診断の分析結果をまとめ多職種や包括センター職員へ提示し、アンケートを実施予定である。アンケート結果や抽出した地域課題を基に介護予防について保健師・看護師部会の視点で地域へのアプローチ方法を検討したい。</li> </ul>

## (2) 社会福祉士部会

### ①部会の開催状況

- ・開催回数：12回

### ②部会事業の取組状況

事業名	権利擁護業務における専門職との連携と相談対応力の向上
事業期間	令和2年度
事業目的	<p>①専門職団体(弁護士会、司法書士会、行政書士会、社会福祉士会)や小田原市社会福祉協議会との連携を図ることで知識や相談援助技術の向上、権利擁護業務の円滑化を促進する。</p> <p>&lt;成果指標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事例検討会においての参加者向けアンケートを集計し、「業務に生かせる」との回答が80%以上</li> </ul> <p>②「権利擁護に関する諸制度」を学び理解することで、日々の相談業務を行う際に相談者に分かりやすく説明が行えるようになり、各包括センターの説明力の平準化を図る。</p> <p>&lt;成果指標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民向けの成年後見制度の講話の資料完成</li> <li>・権利擁護相談業務のマニュアルの完成</li> </ul>



<p>事業内容</p>	<p>①権利擁護業務に携わる専門職と事例検討会を実施。 事例検討会は専門職との顔の見える関係作りを進めて個別ケースの相談や地域ケア会議への参加を要請できるように図る。 また、事例検討会の準備として、権利擁護に関する勉強会を部会内で行い、社会福祉士として相談援助技術の向上を図る。 &lt;活動指標&gt; ・事例検討会 年1回</p> <p>②今年度は権利擁護相談業務の内の一つである「成年後見制度」を学び、理解し、相談者に分かりやすく説明できる。 各部会員が、地域住民向けのサロン講話や相談者への対応の際に成年後見制度の説明に活用できるツールを作成する。 &lt;活動指標&gt; ・地域住民向けの成年後見制度の講話の資料作り ・成年後見制度に関する相談業務のマニュアル作り</p>
<p>取組の概要</p>	<p>①権利擁護業務に携わる専門職との事例検討会は、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から開催は見送った。</p> <p>②包括センターに従事する社会福祉士が「成年後見制度」について学びを深め、相談者に分かりやすく説明できるスキルを身に着けるため、以下の活動を実施した。</p> <p>(1) 地域住民向けのサロン等で行う成年後見制度の講話の資料作成 架空の高齢者をモデルとしたストーリーとし、日常的に発生しやすい権利擁護、契約に関する困りごとを題材としたスライド形式の資料を作成した。インフォーマルな支援の形に加えて、成年後見制度を紹介する事で、より多くの地域住民に制度に対して興味をもってもらえる内容となった。</p> <p>(2) 成年後見制度に関する相談業務のマニュアル作り 包括センターに成年後見制度等の相談があった時の手順書となるワークフローの作成と、説明力を高めるために参考資料となるマニュアルの作成とに分け作業を進めた。 (フローチャート班) 成年後見制度等の利用相談があった際に、社会福祉士が支援の順序や他制度（日常生活自立支援事業など）の利用の可能性について検討できるフローチャート式のツールを作成した。 (マニュアル班) 成年後見制度のより具体的な内容を網羅したマニュアルを作成した。各包括センターの社会福祉士から、実際に困った事や理解を深めたいと思ったポイントを聴取し、マニュアルに反映している。具体的な制度内容に加え、相談を受けた包括センター職員が、相談者の困りごとを解決に導けるような内容となっている。</p> <p>(1)(2)ともに年度内に完成し、実際の運用は令和3年度以降となる。</p>

取組の成果	<p>成果指標の達成状況</p> <p>&lt;成果指標&gt;</p> <p>①事例検討会における参加者向けアンケートを集計し、「業務に生かせる」との回答が80%以上</p> <p>②地域住民向けの成年後見制度の講話の資料完成 権利擁護相談業務のマニュアルの完成</p> <p>&lt;成果指標の達成状況&gt;</p> <p>①事例検討会は、新型コロナウイルス感染症の感染予防の観点から開催は見送ったため、達成できず。</p> <p>②地域住民向けの成年後見制度の講話の資料、権利擁護相談業務のマニュアルは年度内に完成した。</p> <p>成年後見制度の講話の資料やマニュアル作成に取り組む過程が、社会福祉士自身の日常業務、制度の理解度を振り返るための良いきっかけとなった。各包括センターの社会福祉士同士が積極的に意見交換を行うことで説明力の平準化にも寄与している。</p> <p>また、成年後見制度の勉強会を部会内で行い、制度の課題や地域連携ネットワークの重要性について改めて認識することができた。</p>
課題等	<p>各包括センターに配置されている社会福祉士は経験年数が様々であることから、個々の見立てや表現の力量により、各包括センターの相談対応に差が生じてしまう可能性がある。市民の多様なニーズに不足なく応えられることを目指し、包括センターの社会福祉士の説明力の平準化や専門性を高め、社会福祉士自身の疑問や不安を解消できる力を養う必要がある。そのために、今年度は成年後見制度の講話の資料やマニュアルを作成したものの、活用はまだできていない。</p> <p>また、長引くコロナ禍において、例年、多数参加希望のあった事例検討会が対面式での開催が困難な状況にある。しかしながら各専門職団体との連携は欠かせないものであるため、WEB会議システムによる事例検討会等、事例検討会のあり方について、改めて検討し、実施できるよう、各専門職団体と連携を図っていく必要がある。</p>

(3) 主任介護支援専門員・介護支援専門員部会

①部会の開催状況

・開催回数：12回

②部会事業の取組状況

事業名	ケアマネジメント支援事業
事業期間	令和2年度
事業目的	・ケアマネジャーが行う業務の悩み、困りごととは何か、包括センターの主任ケアマネジャー及びケアマネジャーに望むことは何か等を聞き取るこ

	<p>とをきっかけに、関わる機会を増やし、包括センターの主任ケアマネジャー及びケアマネジャーとケアマネジャーの顔の見える関係を構築し、ケアマネジャーの円滑な支援につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段、研修に参加していないケアマネジャーから参加できない、参加しない理由を聞きとり、参加しやすい研修会を企画する。</li> <li>・交流の場を設け、ケアマネジャー同士の横のつながりが持てるようになることで相互に情報交換を行える現状を整える等、ケアマネジメントの質の向上を目指す。</li> <li>・介護予防プラン作成マニュアル改訂版の活用により、介護予防プランの質の向上と再委託率の増加を目指す。</li> <li>・ケアネットOHMYと一市三町の包括センターが連携し、ケアマネジャーへの研修参加の呼びかけを行うことで参加者を増やす。</li> </ul> <p><b>【成果指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリング結果を集計、分析してケアマネジャーの考えを知ることができる。</li> <li>・ケアプラン作成マニュアルの活用状況と再委託受託状況の変化が把握できる。</li> <li>・交流会への参加率が前年度よりも増加したかどうかを確認できる。</li> <li>・交流会参加者から横のつながりが持てたと感じた人が70%いる。</li> </ul>
<p><b>事業内容</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーから聞き取りたいことを質問シートにまとめ、事前に送付しておきケアマネジャーの所属する事業所を訪問してヒアリングを行い、結果を反映させたケアマネジャー交流会を開催する。</li> <li>・ケアプラン作成マニュアルの活用と再委託受託状況を聞き取る。</li> <li>・ヒアリング結果を集計、分析する。</li> <li>・ケアネットOHMY、一市三町の包括センターと打合せを行い、相互の活動の共有を図る。</li> </ul> <p><b>【活動指標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネジャーの所属する次の事業所（令和2年2月1日現在）を訪問し、ヒアリングを行う。  居宅介護支援事業所 52事業所  小規模多機能型居宅介護事業所 6事業所  看護小規模多機能型居宅介護事業所 1事業所</li> <li>・ヒアリング結果をふまえた交流会を開催する。 1回</li> <li>・ケアネットOHMYと一市三町の包括センターとの打合わせ会を開催する。 3回</li> </ul>
<p><b>取組の概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリングをするための事前アンケートを作成。アンケートは、約80%の回答があった。ヒアリングにつながるよう「ケアマネジャー業務について」「研修会や勉強会について」「包括センターについて」等の内容と</li> </ul>

	<p>し、7月に送付し、回収、集計を行った。集計したアンケートを12圏域ごとに分析、ケアマネジャーの傾向をまとめ、その分析をもとにヒアリング内容を検討した。そのアンケート結果は対象のケアマネジャーにも共有した。</p> <p>また、ヒアリングの手段として新型コロナウイルス感染症予防として対面で行う以外にWEB会議システムの活用も取り入れ、対象者にヒアリング手段の意向確認を行った。また、ヒアリング内容について部会メンバーで質問に差異がでないよう再確認を行い、統一化を図った。</p>
取組の成果	<p>成果目標の達成状況</p> <p>【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒアリングを実施する前のアンケートを集計、分析し、ケアマネジャーの傾向からヒアリング内容を決定した。アンケートからもケアマネジャーの考えが見え、ヒアリング内容を考えるにあたり参考になった。ヒアリングの実施については、コロナ禍でもヒアリングが実施できるよう、短時間の質問内容とし、WEB会議システムも選択肢として取り入れたため、来年度から開始する。</li> <li>・再委託受託状況は、前年度から変化はないが、再委託率が伸びた包括からその要因について包括全体で共有した。</li> <li>・交流会については、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い来年度に延長した。</li> </ul> <p>【活動指標】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、ヒアリング及び交流会は来年度に延長となった。</p>
課題等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・WEB会議システムでのヒアリング実施をする際に包括センターがホストとなるため、スムーズに実施できるようにホスト演習を実施する必要がある。</li> <li>・ヒアリングの方法としてWEB会議システムを取り入れることや人数制限を設け、コロナ禍でもできるようにしたが、ケアマネジャー全員からのヒアリングが困難となった。ヒアリングを実施した内容を来年度の部会事業につなげていきたい。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、ヒアリング時期及び交流会が延期となった。来年度は感染予防に配慮しながらケアマネジャーの交流会を実施できるよう方法を考えていく。</li> </ul>

地域包括支援センターの運営状況  
(令和2年度)

小田原市福祉健康部高齢介護課

1 従事職員の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
しるやま	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
看護師	塩澤	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	鈴木	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	松場	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	府川	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
その他	村上	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	事務員
はくおう	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
看護師	鈴木	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	松田	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	関根	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
その他	田中	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	介護支援専門員
しょうなん	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
看護師	村越	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	伊藤	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	加藤	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	廣瀬	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
はくさん	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
看護師	熊澤	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	木村	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	青木	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
その他	田代	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	介護支援専門員
ひがしとみず	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
看護師	小澤	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	服部	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	奥津	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
その他	越野	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	介護支援専門員
とみず	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	5	4	
保健師	石川	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	若松	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	杉山	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	呉屋	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
その他										野村	→	→	介護支援専門員
さくらい	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
保健師	星野	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	栗原	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	秋山	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	深水	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
さかわ こやわた・ふじみ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
保健師	三瓶	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	桑原	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	石原	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
その他	佐味	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	介護支援専門員
しもふなか	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	4	
保健師	櫻田	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	田村	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	室田	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	荻野	→	→	→	→	→	→	→	→				
主任介護支援専門員												池田	
とよかわ・かみふなか	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
保健師	山縣	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	川端	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	片山	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	横山	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
そが・しもそが・こうづ	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
看護師	小林	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	生方	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	遠藤	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
その他	相原	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	介護支援専門員
たちばな	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
看護師	椎野	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	寺岡	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
社会福祉士	関原	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
主任介護支援専門員	柳沢	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	
合計 (人)	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	49	参考R2.3末職員数 47
保健師、看護師	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	10
社会福祉士	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	16	19
主任介護支援専門員	14	14	14	14	14	14	14	14	14	13	13	14	14
その他	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	7	7	4

※各月末日における従事職員数です。

2 相談業務（方法別）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
しろやま	新規	102	44	32	35	25	52	40	29	31	31	19	43	483
	合計件数	131	87	58	87	29	58	43	33	46	32	14	36	654
	来訪	3	9	12	2	4	14	6	4	5	9	3	9	80
	訪問	26	20	16	21	5	3	2	11	13	9	3	3	132
	電話 その他	92 10	55 3	30 0	64 0	19 1	40 1	35 0	18 0	22 6	14 0	8 0	24 0	421 21
はくおう	新規	22	16	32	31	24	25	29	20	19	34	20	32	304
	合計件数	45	39	52	55	67	64	82	56	80	61	65	120	796
	来訪	0	2	4	2	7	6	7	3	6	9	8	6	60
	訪問	2	4	5	8	3	3	6	7	5	7	4	2	56
	電話 その他	43 0	31 2	43 0	48 7	52 5	51 4	69 0	43 3	64 5	41 4	48 5	101 11	634 46
じょうなん	新規	17	13	18	18	21	21	22	23	15	24	18	18	228
	合計件数	56	59	89	92	132	129	120	111	132	124	96	104	1,244
	来訪	4	4	4	4	15	4	8	14	8	2	3	3	73
	訪問	9	11	26	17	22	27	26	28	34	33	22	30	285
	電話 その他	43 0	44 0	53 6	69 2	93 2	97 1	84 2	68 1	90 0	86 3	71 0	71 0	869 17
はくさん	新規	20	31	20	30	19	20	26	28	20	16	16	25	271
	合計件数	181	170	178	160	189	181	173	186	245	218	219	324	2,424
	来訪	21	22	22	21	21	26	23	26	19	16	17	34	268
	訪問	20	27	38	34	33	34	34	43	43	32	54	80	472
	電話 その他	136 4	108 13	112 6	102 3	133 2	117 4	115 1	116 1	179 4	170 0	144 4	210 4	1,642 42
ひがしとみず	新規	24	17	24	20	32	36	24	30	22	27	28	19	303
	合計件数	70	51	81	115	140	231	163	203	145	98	131	137	1,565
	来訪	3	6	4	5	11	5	7	10	5	5	3	4	68
	訪問	13	9	17	18	18	85	23	19	20	15	20	22	279
	電話 その他	54 0	35 1	58 2	78 14	105 6	136 5	129 4	168 6	115 5	77 1	108 0	111 0	1,174 44
とみず	新規	14	11	21	24	18	20	16	23	10	21	17	13	208
	合計件数	14	10	15	28	18	20	16	25	10	25	20	16	217
	来訪	1	2	4	5	2	1	2	3	0	8	3	2	33
	訪問	3	1	2	1	1	1	1	2	1	2	1	5	21
	電話 その他	10 0	7 0	8 1	22 0	15 0	18 0	13 0	20 0	8 1	15 0	16 0	7 2	159 4
さくらい	新規	12	10	14	20	18	14	17	18	15	11	19	21	189
	合計件数	38	24	51	66	69	38	53	59	46	57	41	71	613
	来訪	5	5	9	13	17	7	17	13	10	7	8	12	123
	訪問	8	1	12	11	11	10	7	7	11	10	6	15	109
	電話 その他	24 1	18 0	26 4	40 2	40 1	21 0	29 0	39 0	25 0	40 0	27 0	43 1	372 9
さかわ こやわた・ふじみ	新規	7	21	21	41	36	45	25	26	24	33	20	36	335
	合計件数	21	127	128	128	146	149	206	267	258	226	199	238	2,093
	来訪	6	7	11	7	18	7	19	30	41	55	29	29	259
	訪問	0	47	36	61	68	49	60	78	70	44	64	73	650
	電話 その他	15 0	71 2	78 3	52 8	60 0	93 0	125 2	148 11	142 5	127 0	104 2	136 2	1,151 33
しもふなか	新規	32	25	23	18	15	25	17	22	12	15	23	24	251
	合計件数	38	41	34	61	30	32	42	31	22	23	40	35	429
	来訪	5	1	3	3	4	3	3	6	1	1	0	2	32
	訪問	3	7	4	16	4	3	7	3	4	2	3	2	58
	電話 その他	29 1	33 0	27 0	41 1	22 0	23 3	32 0	22 0	17 0	20 0	36 1	31 0	333 6
とよかわ・かみふなか	新規	9	11	22	24	25	35	14	18	22	10	14	12	216
	合計件数	50	84	85	56	48	74	47	60	45	18	49	29	645
	来訪	6	10	12	9	8	7	6	6	9	3	8	5	89
	訪問	12	23	27	6	8	10	10	10	4	3	3	2	118
	電話 その他	26 6	41 10	37 9	39 2	29 3	57 0	30 1	42 2	29 3	11 1	37 1	20 2	398 40
そが・しもそが・こうづ	新規	31	25	31	24	16	22	33	21	23	26	18	30	300
	合計件数	39	32	43	36	17	42	47	31	38	39	27	48	433
	来訪	3	1	1	0	2	2	0	1	2	1	1	3	17
	訪問	3	4	1	2	1	2	2	1	2	2	0	1	21
	電話 その他	26 1	22 5	40 1	30 4	14 0	35 3	40 5	25 4	29 5	35 1	23 3	40 4	359 36
たちばな	新規	49	14	23	20	23	23	15	16	21	19	12	11	246
	合計件数	104	117	146	148	154	139	133	113	159	150	138	131	1,632
	来訪	12	8	12	14	13	10	17	9	7	7	0	3	112
	訪問	21	25	31	33	32	35	32	28	39	28	45	27	376
	電話 その他	71 0	84 0	101 2	100 1	101 8	92 2	81 3	73 3	110 3	109 6	91 2	99 2	1,112 32
計	新規	339	238	281	305	272	338	278	274	234	267	224	284	3,334
	合計件数	781	841	960	1042	1039	1157	1125	1175	1226	1071	1039	1289	12,745
	来訪	69	77	98	85	122	92	115	125	113	123	83	112	1214
	訪問	120	179	215	228	208	262	210	237	246	187	225	262	2577
	電話 その他	569 23	549 36	613 34	685 44	683 28	780 23	782 18	782 31	830 37	745 16	713 18	893 22	8624 330

3 相談業務（内容別）の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
しろやま	241	150	153	277	187	129	132	90	71	94	44	68	1,636
各種サービス	211	123	128	225	160	108	105	60	47	68	31	58	1,324
権利擁護	5	3	1	1	3	2	2	5	3	7	2	0	34
困難事例	2	6	2	7	1	1	1	3	1	2	0	1	27
その他	23	18	22	44	23	18	24	22	20	17	11	9	251
はくおう	45	43	52	66	59	64	83	56	82	58	64	111	783
各種サービス	24	15	25	22	30	29	51	28	42	27	24	39	356
権利擁護	1	1	0	2	0	0	2	2	4	2	2	1	17
困難事例	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	3
その他	20	27	27	42	29	35	30	25	36	29	38	69	407
じょうなん	60	66	99	102	149	135	133	138	144	132	94	113	1,365
各種サービス	25	36	56	54	61	60	61	74	85	67	48	50	677
権利擁護	6	1	3	18	16	4	0	0	1	4	3	4	60
困難事例	3	5	1	0	2	0	6	2	0	4	0	4	27
その他	26	24	39	30	70	71	66	62	58	57	43	55	601
はくさん	111	155	181	153	195	184	168	190	253	229	211	328	2,358
各種サービス	90	137	158	134	157	164	149	163	235	208	190	313	2,098
権利擁護	4	2	4	8	7	4	3	2	5	6	5	4	54
困難事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
その他集計	17	16	19	11	31	16	16	25	13	15	15	11	205
ひがしとみず	25	17	24	20	37	43	25	30	24	26	28	20	319
各種サービス	10	13	20	14	27	32	21	24	18	23	22	15	239
権利擁護	3	0	0	1	0	0	1	0	1	0	2	1	9
困難事例	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	11	4	4	5	10	11	3	6	5	3	4	4	70
とみず	14	11	16	26	20	20	13	25	10	26	24	15	220
各種サービス	12	10	11	17	14	18	12	20	7	22	18	14	175
権利擁護	0	0	2	1	3	0	1	2	0	2	1	0	12
困難事例	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
その他	2	1	2	8	3	2	0	3	3	2	5	1	32
さくらい	18	13	23	24	26	20	24	20	22	19	22	26	257
各種サービス	13	10	18	18	18	14	15	19	19	17	16	23	200
権利擁護	1	0	1	0	2	1	3	0	0	0	1	0	9
困難事例	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	3
その他集計	3	3	4	6	6	5	5	1	3	2	5	2	45
さかわ・こやわた・ふじみ	15	49	76	72	153	109	117	168	214	158	173	155	1,459
各種サービス	8	37	64	62	125	103	110	160	197	150	159	145	1,320
権利擁護	1	3	2	2	8	1	1	0	2	5	6	0	31
困難事例	1	2	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	9
その他	5	7	9	8	16	5	6	8	15	3	8	9	99
しもふなか	51	62	39	45	38	35	46	30	24	24	42	37	473
各種サービス	28	26	20	24	17	21	26	16	15	17	27	22	259
権利擁護	2	1	2	2	1	2	0	2	0	1	4	2	19
困難事例	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	3
その他集計	21	35	16	19	20	11	20	11	9	6	11	13	192
とよかわ・かみふなか	45	75	77	49	42	71	47	56	40	16	49	19	586
各種サービス	11	38	47	26	21	44	25	28	29	8	27	9	313
権利擁護	2	2	1	0	2	0	1	0	3	0	0	0	11
困難事例	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	32	35	29	23	19	27	21	28	8	8	22	10	262
そが・しもそが・こうづ	31	28	37	27	17	26	41	24	31	32	20	35	349
各種サービス	18	20	29	21	10	14	28	19	25	25	15	26	250
権利擁護	0	1	2	1	0	2	1	2	0	0	3	0	12
困難事例	5	0	1	3	0	1	0	1	1	0	1	1	14
その他集計	8	7	5	2	7	9	12	2	5	7	1	8	73
たちばな	114	145	148	149	166	132	128	113	157	152	147	143	1,694
各種サービス	40	40	55	55	61	61	60	51	64	72	60	67	686
権利擁護	3	13	6	6	7	4	3	3	7	1	6	8	67
困難事例	8	22	3	0	0	0	1	1	1	0	2	1	39
その他	63	70	84	88	98	67	64	58	85	79	79	67	902
計	770	814	925	1010	1089	968	957	940	1072	966	918	1070	11,499
各種サービス	490	505	631	672	701	668	663	662	783	704	637	781	7,897
権利擁護	28	27	24	42	49	20	18	26	28	28	35	20	335
困難事例	21	35	10	10	7	3	9	9	3	6	4	11	128
その他	231	247	260	286	332	277	267	251	260	228	242	258	3,139



【参考】継続支援業務（ケース対応）の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
しろやま	本人・家族等	175	145	153	239	181	86	87	90	76	54	62	91	1,439
	関係機関等	131	172	184	299	214	143	156	150	108	115	138	126	1,936
はくおう	本人・家族等	94	111	134	121	118	118	109	89	94	77	127	122	1,314
	関係機関等	72	86	76	106	106	70	91	77	101	133	126	159	1,203
じょうなん	本人・家族等	50	52	71	61	85	88	82	67	100	84	60	79	879
	関係機関等	74	68	136	93	109	104	147	95	134	120	106	105	1,291
はくさん	本人・家族等	50	43	46	24	41	24	33	39	23	22	40	56	441
	関係機関等	73	56	59	55	83	74	71	73	64	66	55	99	828
ひがしとみず	本人・家族等	33	11	42	61	27	16	29	20	45	8	23	22	337
	関係機関等	52	21	49	63	37	47	24	32	45	20	89	35	514
とみず	本人・家族等	57	75	89	70	81	84	90	67	83	58	65	57	876
	関係機関等	47	48	62	131	88	98	97	72	98	47	52	50	890
さくらい	本人・家族等	40	31	42	29	37	49	50	41	46	8	26	37	436
	関係機関等	53	29	31	39	29	35	36	44	34	16	30	54	430
さかわ こや わた・ふじみ	本人・家族等	9	50	73	61	88	97	105	155	142	107	105	124	1,116
	関係機関等	3	27	44	97	43	61	79	98	98	62	47	72	731
しもふなか	本人・家族等	33	47	91	99	82	88	114	81	82	75	60	90	942
	関係機関等	45	36	104	98	95	82	112	71	97	106	81	123	1,050
とよかわ・か みふなか	本人・家族等	25	62	75	39	48	72	68	38	61	62	36	64	650
	関係機関等	44	52	76	45	55	67	24	24	52	49	31	58	577
そが・しもそ が・こうづ	本人・家族等	60	60	70	78	114	57	104	51	96	66	89	107	952
	関係機関等	70	149	160	146	181	145	206	126	294	145	165	186	1,973
たちばな	本人・家族等	27	36	37	51	39	31	37	32	43	50	46	44	473
	関係機関等	17	62	57	36	46	26	25	28	54	57	37	46	491
計	本人・家族等	653	723	923	933	941	810	908	770	891	671	739	893	9,855
	関係機関等	681	806	1,038	1,208	1,086	952	1,068	890	1,179	936	957	1,113	11,914

【参考】土曜日における対応状況（令和元年10月～令和3年3月分実績）

		令和元年					令和2年										令和3年			累計	
		10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
総合相談支援	新規	11	25	12	20	27	9	16	22	15	15	21	23	28	22	19	12	16	11	324	
	方法別																				
		来訪	8	11	10	16	20	7	8	7	12	6	15	10	13	16	15	12	5	6	197
		訪問	14	13	12	12	12	9	9	21	17	14	29	20	15	23	27	16	47	50	360
		電話	25	26	23	38	49	28	33	58	40	46	61	65	63	62	69	61	87	62	896
		その他	2	2	0	0	2	0	3	4	7	4	1	1	1	0	4	2	0	0	33
		内容別																			
		介護保険サービス	20	27	13	46	38	15	7	41	47	34	46	46	48	54	71	48	93	86	779
		介護保険以外のサービス	2	2	5	6	9	5	8	8	10	7	12	11	10	13	9	10	10	5	142
		実態把握	1	3	5	4	9	3	10	12	6	4	18	9	11	5	10	7	10	6	133
		高齢者虐待	5	0	0	2	4	0	1	2	0	1	4	0	1	0	1	0	0	0	21
		消費者被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
		成年後見	0	0	0	3	1	0	0	1	0	0	4	1	1	1	0	4	3	2	21
		措置	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		困難事例	0	0	1	1	1	0	2	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	12
		ケアマネ支援	1	2	3	4	2	1	2	4	2	2	3	3	0	1	2	1	0	1	34
		その他	3	14	8	8	7	5	3	8	10	4	11	11	12	9	12	6	6	4	141
		相談経路																			
		本人	13	12	20	19	23	18	15	27	13	18	31	27	19	28	41	27	56	50	455
		家族・親族	18	25	17	24	35	22	19	33	35	20	43	45	42	38	54	34	53	47	604
		ケアマネジャー	4	5	5	9	8	3	10	8	4	7	14	10	8	11	4	5	15	8	138
		民生委員	1	2	2	3	2	0	1	1	4	1	7	4	5	0	5	3	3	2	46
		医療機関	2	1	1	0	5	5	1	4	2	4	3	5	5	7	9	2	4	4	64
		行政機関	2	0	0	2	1	0	0	2	2	0	2	1	1	0	0	0	0	1	14
		その他	4	1	0	4	7	4	2	9	8	1	7	8	4	3	6	4	15	9	96
		対応																			
		本人・家族等への訪問	22	24	21	33	35	22	19	26	32	15	45	30	29	21	34	22	20	21	471
	本人・家族等への連絡	17	21	37	46	51	34	16	28	35	12	39	42	20	31	38	33	27	19	546	
	関係機関等への訪問	3	2	4	6	7	2	0	6	0	6	2	1	3	1	0	1	2	1	46	
	関係機関等への連絡	15	20	42	34	44	36	22	56	34	29	52	73	37	29	54	51	29	39	696	
	センター内ケースカンファレンス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	4	
権利擁護	成年後見制度利用等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	
	消費者被害解消等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
包括的・継続的ケアマネジメント	サービス担当者会議開催支援	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	6	
	医療機関とのカンファレンス	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	4	
	その他機関とのカンファレンス	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	1	1	7	
介護予防ケアマネジメント（全般）	新規情報提供	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	対象者への訪問等	20	42	16	27	48	26	66	41	33	34	54	54	35	35	39	41	47	29	687	
	うち契約締結	2	6	0	5	5	0	1	3	7	2	5	6	4	3	6	4	13	11	83	
	うち契約締結再委託	0	2	0	0	3	0	5	2	0	0	1	0	0	2	0	3	1	19		
	うちアセスメント	6	9	1	8	3	0	5	8	9	1	7	9	6	4	2	6	10	11	105	
	連絡調整	23	54	59	49	56	48	33	75	55	70	80	111	65	79	63	52	44	50	1066	
介護予防ケアマネジメント（介護予防支援分）	計画原案作成	1	12	7	7	17	11	11	14	11	11	10	20	5	11	7	9	17	7	188	
	計画原案作成再委託	1	3	3	8	4	2	2	3	5	3	4	8	1	5	2	0	4	1	59	
	サービス担当者会議	0	4	4	2	8	3	2	4	5	5	4	7	4	4	5	3	8	6	78	
	モニタリング	9	25	14	9	53	34	35	46	19	23	37	41	37	28	42	43	25	24	544	
介護予防ケアマネジメント（総合事業分）	介護予防ケアマネジメント計画原案作成	3	20	9	11	7	9	4	4	8	6	4	7	5	2	7	2	3	115		
	うち計画原案作成再委託	0	5	3	5	2	2	1	0	1	1	1	3	1	2	0	1	1	0	29	
	サービス担当者会議	1	3	3	3	4	4	0	1	3	4	1	4	1	0	1	3	3	40		
	モニタリング	9	25	18	10	8	20	13	24	14	19	17	14	15	28	35	22	23	18	332	
認知症初期集中支援事業	訪問記録作成件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
食の自立支援事業	任意事業分（食のアセスメント）	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	3	
会議等の開催・出席（主なもの）	個別ケア会議	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	地域密着型事業所の運営推進会議	6	1	1	2	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	2	17	
	主催 高齢者・家族等を対象とするもの	2	2	1	2	2	0	0	0	2	2	1	2	1	2	2	0	0	0	21	
	主催 関係機関等を対象とするもの	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
	主催 地域資源の把握・開発のためのもの	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	5	
	主催以外 研修・勉強会など	0	6	0	2	4	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	15	
	関係機関等が開催する会合など	0	0	0	1	1	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2	1	6	

4 高齢者虐待の対応状況

	(A) R元年度から継続して対応した件数	(B) R2年度新規通報・相談件数 うち虐待と判断された事例											(C) R2年度中に終了した件数	(D) R3年度に引き続き対応する件数	
		届出(通報)者				虐待の種別(延べ)									
		本人	家族・親族	職務上知り得た者	その他	身体	放棄	心理	性的	経済	その他				
しろやま	6	4	3		3		3		3					7	3
はくおう	7	9	4	1	3		3		2					6	10
じょうなん	6	5	2		2		2		2					9	2
はくさん	5	6	4	1	3		3	1	1					4	7
ひがしとみず	2	7	5		5		3	1	2					3	6
とみず	3	3	1		1		1		1					1	5
さくらい	3	2	1		1		1	1						2	3
さかわ こやわた・ふじみ	4	6	3		3		2	1	1					6	4
しもふなか	0	3	2	1	1		2		1					2	1
とよかわ・かみふなか	4	13	4		4		4		1					11	6
そが・しもそが・こうづ	2	5	3	1	2		2		2					3	4
たちばな	4	2	2	1	1		2		1					4	2
合計	46	65	34	1	4	29	0	28	4	17	0	0	0	58	53

- ※ (A) 「R元年度から継続して対応した件数」は、R2年度以前に通報・相談を受けたケースで、継続して対応している件数
- ※ (B) 「R2年度新規通報・相談件数」は、R2年度に新たに受けた件数
- ※ (C) 「R2年度中に終了した件数」は、(A) 「R元年度から継続して対応した件数」と (B) 「R2年度新規通報・相談件数」のうち、終了した件数
- ※ (A) + (B) - (C) = (D) 「R3年度に継続して対応する件数」
- ※ 届出者のうち、「職務上知り得た者」とは、ケアマネジャー、サービス提供事業者、医療機関、民生委員、訪問調査員等。

5 介護予防ケアマネジメント（要支援認定者分）の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
しろやま	介護予防サービス計画 原案作成	10	12	23	16	10	8	18	16	11	7	15	10	156
	うち再委託	4	1	9	4	7	2	8	7	4	3	7	7	63
	サービス担当者会議	12	7	21	13	11	7	21	13	11	6	10	15	147
はくおう	介護予防サービス計画 原案作成	17	8	26	21	22	12	14	13	10	18	12	21	194
	うち再委託	10	3	8	8	7	5	4	5	9	8	4	3	74
	サービス担当者会議	8	2	14	16	14	6	14	11	8	15	9	16	133
じょうなん	介護予防サービス計画 原案作成	14	18	17	13	13	10	8	7	5	6	7	16	134
	うち再委託	8	7	5	4	5	5	7	3	2	3	2	6	57
	サービス担当者会議	2	2	6	3	4	5	5	4	3	2	3	5	44
はくさん	介護予防サービス計画 原案作成	26	21	14	16	17	21	9	30	4	6	13	6	183
	うち再委託	12	14	8	8	5	11	4	13	2	2	7	3	89
	サービス担当者会議	6	2	5	8	12	9	6	2	1	6	6	3	66
ひがしとみず	介護予防サービス計画 原案作成	9	12	10	16	23	9	5	13	10	8	7	4	126
	うち再委託	1	0	0	0	2	0	0	4	2	1	0	1	11
	サービス担当者会議	6	4	5	8	10	5	5	13	9	5	1	2	73
とみず	介護予防サービス計画 原案作成	8	9	22	6	11	7	6	6	2	9	4	11	101
	うち再委託	1	0	2	2	7	0	0	0	0	1	1	1	15
	サービス担当者会議	9	5	9	2	2	7	4	3	2	6	2	10	61
さくらい	介護予防サービス計画 原案作成	15	16	12	22	8	11	9	7	12	14	11	7	144
	うち再委託	1	5	4	6	1	5	4	1	3	1	5	0	36
	サービス担当者会議	8	1	4	9	3	8	7	5	7	10	3	5	70
さかわ こやわ た・ふじみ	介護予防サービス計画 原案作成	10	13	17	12	18	15	13	12	4	10	12	10	146
	うち再委託	2	2	3	5	4	5	6	4	2	3	0	5	41
	サービス担当者会議	10	6	2	11	8	8	8	12	3	5	6	9	88
しもふなか	介護予防サービス計画 原案作成	12	13	15	13	16	16	10	10	19	6	13	13	156
	うち再委託	3	5	9	5	2	3	4	4	14	3	6	3	61
	サービス担当者会議	4	5	5	11	10	16	6	11	15	1	11	10	105
とよかわ・か みふなか	介護予防サービス計画 原案作成	20	3	8	3	6	8	4	2	3	4	9	3	73
	うち再委託	1	0	0	0	0	0	1	1	1	0	3	0	7
	サービス担当者会議	2	0	8	4	5	3	4	3	1	4	9	3	46
そが・しもそ が・こうづ	介護予防サービス計画 原案作成	21	10	14	15	9	17	9	5	9	7	7	11	134
	うち再委託	3	1	7	5	2	0	4	3	7	3	1	3	39
	サービス担当者会議	1	0	4	5	4	5	6	2	4	5	4	8	48
たちばな	介護予防サービス計画 原案作成	6	7	9	9	5	2	2	3	3	3	3	1	53
	うち再委託	2	0	4	0	0	0	1	2	3	1	3	1	17
	サービス担当者会議	4	2	6	8	4	2	2	3	3	3	3	1	41
計	介護予防サービス計画 原案作成	168	142	187	162	158	136	107	124	92	98	113	113	1,600
	うち再委託	48	38	59	47	42	36	43	47	49	29	39	33	510
	サービス担当者会議	72	36	89	98	87	81	88	82	67	68	67	87	922

6 介護予防ケアマネジメント（総合事業対象者分）の状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
しroyama	介護予防ケアマネジメント原案作成	6	8	19	11	10	7	10	13	6	7	3	9	109
	うちA	6	8	19	11	10	7	10	12	6	7	3	9	108
	うち再委託	1	0	6	4	4	6	4	4	4	2	1	4	40
	うちCL対象者	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	4
	うちB	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス担当者会議	7	6	10	3	5	5	8	5	3	4	2	6		
はくおう	介護予防ケアマネジメント原案作成	10	14	22	15	12	10	8	5	5	7	8	8	124
	うちA	10	14	18	15	12	10	8	5	5	7	8	8	120
	うち再委託	7	5	5	12	7	7	6	2	2	4	1	6	64
	うちCL対象者	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	うちB	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	うちC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス担当者会議	1	6	5	5	1	4	9	2	3	4	3	2	45	
じょうなん	介護予防ケアマネジメント原案作成	13	20	13	21	10	7	11	7	5	12	2	6	127
	うちA	13	20	13	21	10	7	11	7	5	12	2	6	127
	うち再委託	2	5	4	9	5	2	2	0	1	3	0	2	35
	うちCL対象者	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	うちB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス担当者会議	2	1	3	8	4	5	9	6	3	2	1	4	48	
はくさん	介護予防ケアマネジメント原案作成	11	10	9	10	4	8	12	5	6	3	5	9	92
	うちA	11	10	9	10	4	8	12	4	5	3	5	9	90
	うち再委託	7	5	5	6	1	2	7	2	0	0	1	4	40
	うちCL対象者	0	1	4	2	1	2	2	1	3	0	0	1	17
	うちB	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	うちC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス担当者会議	4	4	3	5	0	7	5	3	3	4	2	5	45	
ひがしとみず	介護予防ケアマネジメント原案作成	14	6	18	8	5	8	9	6	8	1	3	9	95
	うちA	14	6	15	7	5	8	8	6	7	1	3	8	88
	うち再委託	0	0	1	0	0	2	1	1	1	0	0	4	10
	うちCL対象者	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	うちB	0	0	3	1	0	0	1	0	1	0	0	1	7
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	うちC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス担当者会議	8	0	7	5	3	7	8	5	7	1	3	7	61	
とみず	介護予防ケアマネジメント原案作成	12	7	14	12	6	9	7	10	12	5	2	8	104
	うちA	7	6	9	10	5	8	7	8	9	4	1	7	81
	うち再委託	2	0	1	2	1	1	1	2	2	1	1	0	14
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちB	5	1	5	2	1	1	0	2	3	1	1	1	23
	うち再委託	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	うちCL対象者	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	うちC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス担当者会議	3	4	4	4	5	4	3	7	7	5	1	2	49	
さくらい	介護予防ケアマネジメント原案作成	7	4	6	11	2	8	1	2	8	4	2	9	64
	うちA	7	4	6	8	2	6	1	1	6	3	2	8	54
	うち再委託	1	2	0	2	0	0	0	0	3	0	1	3	12
	うちCL対象者	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	うちB	0	0	0	3	0	2	0	1	2	1	0	1	10
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス担当者会議	1	1	3	8	0	8	1	1	3	3	1	2	32	

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
さかわ こや わた・ふじみ	介護予防ケアマネジメント原案作成	6	5	17	10	7	20	10	8	6	2	3	16	110
	うちA	6	5	17	10	7	20	10	8	6	2	3	16	110
	うち再委託	2	1	2	0	3	6	4	3	2	0	0	0	23
	うちCL対象者	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	うちB	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス担当者会議	0	10	4	9	5	8	4	7	5	7	3	13	75	
しもふなか	介護予防ケアマネジメント原案作成	11	5	15	10	11	8	13	5	19	8	8	9	122
	うちA	11	5	15	10	11	8	13	5	16	8	8	9	119
	うち再委託	4	2	3	7	3	0	6	1	8	1	4	2	41
	うちCL対象者	0	0	0	4	3	0	1	0	1	0	0	0	9
	うちB	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
	うちC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス担当者会議	1	0	7	5	6	7	8	4	12	4	4	8	66	
とよかわ・か みふなか	介護予防ケアマネジメント原案作成	6	1	3	2	2	1	4	2	3	1	2	4	31
	うちA	6	1	2	2	1	1	4	2	3	0	2	4	28
	うち再委託	0	1	0	0	0	0	3	1	0	0	1	3	9
	うちCL対象者	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
	うちB	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0	3
	うち再委託	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
	うちCL対象者	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	うちC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス担当者会議	0	1	3	3	2	0	3	1	4	0	3	0	20	
そが・しもそ が・こうづ	介護予防ケアマネジメント原案作成	13	8	11	7	5	9	3	3	1	2	4	8	74
	うちA	13	8	10	7	4	5	2	3	1	2	4	8	67
	うち再委託	5	2	4	1	0	1	0	1	1	1	1	2	19
	うちCL対象者	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	うちB	0	0	1	0	1	4	1	0	0	0	0	0	7
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
	うちC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス担当者会議	0	2	2	2	1	3	2	3	1	1	2	2	21	
たちばな	介護予防ケアマネジメント原案作成	7	5	4	8	10	9	12	3	3	10	1	3	75
	うちA	7	5	4	8	10	4	12	3	3	10	1	3	70
	うち再委託	2	0	0	0	3	0	3	0	0	0	0	0	8
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちB	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5
	うちC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス担当者会議	4	2	3	4	8	9	7	2	3	2	1	2	47	
合計	介護予防ケアマネジメント原案作成	116	93	151	125	84	104	100	69	82	62	43	98	1,127
	うちA	111	92	137	119	81	92	98	64	72	59	42	95	1,062
	うち再委託	33	23	31	43	27	27	37	17	24	12	11	30	315
	うちCL対象者	3	3	9	9	7	2	3	1	4	1	0	2	44
	うちB	5	1	14	6	3	12	2	5	10	3	1	3	65
	うち再委託	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	3
	うちCL対象者	1	0	4	0	0	7	0	1	4	0	0	0	17
	うちC	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うち再委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	うちCL対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス担当者会議	31	37	54	61	40	67	67	46	54	37	26	53	573	

## 7 包括的・継続的ケアマネジメントの取組状況

### (1) 関係機関との連携体制づくり

しるやま	新型コロナウイルス感染予防による、自治会の集りやまちづくり委員会の開催中止等もあり、地域、ケアマネジャーとの連携は減少傾向にあった。感染予防の対策を行いながら、万年地区の民生委員と協力し、自宅への配布物の協力を行うなど、連携体制が継続できるように働きかけた。ケアマネジャーとの交流会の開催は一回のみの開催に留まったが、保健師による新型コロナウイルス感染予防の講義開催を行った。
はくおう	民生委員と定期的に連携の場を持ち、地域住民の情報を共有した。成年後見のケース、8050問題ケースなど、個別のケース対応を通して関係機関と連携体制を作っている。
じょうなん	民生委員の活動状況について電話による聞き取りを行い、関係づくりやケース対応に活かした。早川地区まちづくり委員会に参加し、連携づくりに努めた。グループホーム及び小規模多機能型の運営推進会議は全て書面会議であったが、手紙や電話などで意見交換し、連携に努めた。
はくさん	居宅介護支援事業所およびサービス事業所の支援、連携、情報提供。 地域密着型事業所等の連携、運営推進会議参加(書面参加を含む) 必要に応じた各種機関との連携、情報提供。 (障がい福祉課、生活支援課、社会福祉協議会、福祉政策課等)
ひがしとみず	コロナ禍で地域活動はすべて中止であったが、緊急事態宣言が発出されていない時には月1回の民児協に参加し情報収集及び連携を図った。
とみず	新型コロナウイルス感染対策のために地域活動が休止状態。団体の中心メンバーの方に個別に働きかけ情報共有を図った。
さくらい	交流スペースを開放している。コロナ禍で公共機関が使えない時には、民生委員の集いの場、情報共有の場として役立ち、連携しやすい体制につながっている。ケアマネジャー向けのWEB会議システムでの事例検討会を主催した。和やかな雰囲気での情報交換もしながら学びを深めることができた。
さかわ こやわた・ふじみ	個別のケースを通じて法律関係者や保健所との連携体制づくりができています。
しもふなか	新型コロナウイルス感染症の影響により圏域ケア会議や「むらカフェ」は開催できなかった。「しもふなかコンパス」の活動は感染予防に配慮した形で圏域内の関係機関と協力をし「しもふなかコンパスVol2」を発行した。高齢者やその子ども等が抱えた問題に対し社会福祉協議会のまるごと相談や小田原保健福祉事務所と連携を図り解決に向けた支援を行った。
とよかわ・かみふなか	ケアマネジャーや警察官等と必要時に連絡を取り、情報共有を行っている。
そが・しもそが・こうづ	民生委員・ケアマネジャーとの交流会は新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったが、開催された地区社会福祉協議会等の定例会等に参加し、連携の継続に努めた。
たちばな	橋北地区地域ケア会議で挙げた課題(認知症及び高齢者行方不明時の連絡体制)について包括センターが事務局となり自治会連合会、地区社会福祉協議会、民生児童委員協議会の会長と会議を行いフローチャートが作成された。 前羽まちづくり委員会で包括の参加が全員一致で承認された。 前羽地区にある(グループホームみさき前川)の避難時受け入れ検討会が、包括が事務局となり開催され、具体案が整った。 3老人会、1グループホーム主催で地域住民対象の(公園deラジオ体操)が包括センターのバックアップで、毎週4つの公園で開催されている。 ケアマネジャー支援数は、後見制度利用、困難ケース同行訪問等で増える傾向にある。

### (2) 医療機関との連携体制づくり

しるやま	病院への訪問が行えない時期もあったが、電話やFAX等を利用し情報交換は継続した。三師会主催の研修が中止される事もあったが、WEB会議システムでの参加等も行い、連携の継続を心掛けた。
はくおう	入退院時の情報提供やカンファレンスへの参加、個別ケース会議への参加依頼、多職種共同研修への参加などで連携体制を作っている。
じょうなん	コロナ禍における入退院支援については、電話連絡の他、病院を訪問して連携を図った。介護従事者医療連携研修、在宅医療トレーニング研修、認知症患者医療センター研修、認知症・精神疾患研修などのWEB研修に参加した。
はくさん	研修等を通じた連携、情報提供(WEB会議システム、書面参加を含む) ケア会議などの参加を通じた連携。 三師会、三師会連携室との連携、情報提供。
ひがしとみず	受診同行、医療機関からの情報提供への対応、医療機関とのカンファレンスを通じて連携体制づくりをした。
とみず	退院時カンファレンスが開催できない状況下、電話でのやり取りを通じて情報共有を図った。
さくらい	小田原医師会主催の研修や多職種共同研修への参加、ご利用者の通院同行等を通して、連携のための体制づくりを意識して行っている。医療機関からの相談は年間23件あり、支援につながっている。
さかわ こやわた・ふじみ	個別のケースと通じて様々な医療機関との連携体制づくりができています。
しもふなか	入退院に関する支援は面会ができない中でもMSWとの電話や在宅サマリー、看護サマリー、連携シートを活用し連携を図った。
とよかわ・かみふなか	クリニックや歯科、薬局などに挨拶回りを行ない、包括センターのチラシを置いて頂いた。ケア会議へも参加して頂いている。
そが・しもそが・こうづ	曾我地区の医療機関と薬局に定期訪問し、包括センターのパンフレットや広報誌を配架できるようになった。
たちばな	認知症専門医療機関と連携し、診断を得て適切な治療を行うことで、在宅生活の利用者と家族の安定した生活維持を支援している他、後見制度利用の支援と虐待予防支援を行っている。 各病院の医療連携室と入退院時の情報交換を行い、適切な介護保険利用に繋げている。 近隣の個人医院が主治医の場合は、利用者の状況変化に合わせて主治医に面談することを心がけている

### (3) 地域のインフォーマルサービスとの連携づくり

しろやま	地域でのサロン活動や住民主体で行っていたスクエアステップの会も、新型コロナウイルス感染症の影響で中止されている。サロン参加者への自宅訪問等も行い、今後の再開に向けて働きかけた。
はくおう	コロナ禍においてもボランティア、地域サロンの情報提供を行うなど、連携をもち続けている。
じょうなん	はやか輪サロンのおちゃんのみ、十字地区ふれあいサロン、かざまつりいきいきクラブの活動に参加し、実態把握や講話で研修の機会を作った。
はくさん	民生委員との定期的な交流会実施（1回/月）。生活支援サービス「久野ひまわりの会」「二川ちゅうりっぷの会」との連携、情報共有等。
ひがしとみず	ささえあいセンター東富水への支援に依頼や相談を通じて随時連携をとった。
とみず	新型コロナウイルス感染対策のために地域住民に呼びかけ、集合を求める連携づくりは躊躇された。9月と3月にWEB参加型避難訓練を実施した。参加者層に限られるため今後は工夫が必要。
さくらい	地区社会福祉協議会役員会への参加や見守り活動を実施している。配食弁当や移送サービス等、適宜情報提供を行い必要な支援に結び付けている。
さかわ こやわた・ふじみ	民生委員との茶話会を開催。地域住民による生活支援サービス活動の紹介や相談により連携体制づくりができています。
しもふなか	「しもふなかコンパス」の活動として「昼のおはなし会」を開催し、自治会、地区社会福祉協議会、民生委員等とともに認知症の理解や市の取り組み、相談等を行った。配食業者や送迎の有償ボランティアと利用調整を通じて連携を図った。
とよかわ・かみふなか	サロンや運営推進会議、まちづくり委員会、バザー等に参加し地域の方や民生委員と関係性の構築に努めた。
そが・しもそが・こうづ	新型コロナウイルスの影響によりサロン活動はなかったが、コーディネーターとの連携を継続し、代替活動に関するサポートをおこなった。籠場地区等の相談会を実施し、包括センターが身近な存在になるようなアプローチを行った。下曽我おせっ会発信の緊急回覧チラシを下曽我地区だけではなく、包括センターの介入により曾我・園府津地区にも回覧できた。
たちばな	圏域初の認知症カフェ【ロバのみみ】の主催者と連携し、毎月1回開催時の地域の方への声掛けと、カフェへ送迎支援を行っている。橘北地区の日常生活支援コーディネーター有資格者3名が立ち上げたサロン【きずなチーム】と連携し、地域で参加利用の声掛けを行っている。



8 会議等の開催・出席状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
しroyama	個別ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	圏域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立支援ケア会議	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	うち事例提出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	認知症サポーター養成講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	従事者連絡会議・職種別部会等	4	3	3	4	3	3	4	4	4	3	3	4	42
	処遇検討会	0	1	0	2	0	0	0	0	2	1	0	0	6
	運営推進会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の会議・研修等	2	1	3	6	4	8	10	7	7	10	12	9	79
はくおう	個別ケア会議	0	0	1	0	1	1	2	0	1	1	0	0	7
	圏域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立支援ケア会議	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	うち事例提出件数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	認知症サポーター養成講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	従事者連絡会議・職種別部会等	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	3	46
	処遇検討会	0	0	0	0	0	1	1	4	4	5	1	6	22
	運営推進会議	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2	5
	その他の会議・研修等	2	1	2	3	3	8	7	11	5	4	3	10	59
じょうなん	個別ケア会議	2	2	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	8
	圏域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立支援ケア会議	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	うち事例提出件数	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	2
	認知症サポーター養成講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	従事者連絡会議・職種別部会等	4	4	2	5	3	4	4	4	3	4	4	4	45
	処遇検討会	1	4	0	0	2	0	0	0	0	2	1	0	10
	運営推進会議	1	2	1	2	0	3	0	2	1	2	0	2	16
	その他の会議・研修等	5	0	2	5	5	6	9	10	4	5	3	10	64
はくさん	個別ケア会議	0	1	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	4
	圏域ケア会議	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	自立支援ケア会議	0	0	0	1	1	1	1	1	1	2	1	1	10
	うち事例提出件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	2
	認知症サポーター養成講座	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
	従事者連絡会議・職種別部会等	4	4	4	4	4	3	5	4	4	4	4	4	48
	処遇検討会	3	1	2	2	3	8	2	3	2	0	1	0	27
	運営推進会議	2	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0	6
	その他の会議・研修等	5	3	3	6	3	3	5	7	2	1	1	4	43
ひがしとみず	個別ケア会議	0	1	2	0	0	0	2	1	0	0	0	0	6
	圏域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立支援ケア会議	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	うち事例提出件数	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2
	認知症サポーター養成講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	従事者連絡会議・職種別部会等	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4	4	47
	処遇検討会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	運営推進会議	0	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	2	5
	その他の会議・研修等	3	0	0	2	4	5	7	14	8	5	6	11	65
とみず	個別ケア会議	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	圏域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立支援ケア会議	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	うち事例提出件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	認知症サポーター養成講座	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	従事者連絡会議・職種別部会等	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	49
	処遇検討会	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
	運営推進会議	1	0	2	1	1	1	2	0	1	0	1	3	13
	その他の会議・研修等	0	0	0	3	3	2	4	4	2	4	1	3	26
さくらい	個別ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	圏域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立支援ケア会議	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9
	うち事例提出件数	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
	認知症サポーター養成講座	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
	従事者連絡会議・職種別部会等	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
	処遇検討会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	運営推進会議	1	1	0	0	1	0	2	0	2	0	1	1	9
	その他の会議・研修等	2	1	3	3	3	2	6	5	3	4	2	11	45

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
さかわ こやわた・ふじみ	個別ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0	1	4	
	圏域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自立支援ケア会議	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	8	
	うち事例提出件数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	
	認知症サポーター養成講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	従事者連絡会議・職種別部会等	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	48
	処遇検討会	0	1	2	0	0	0	1	0	0	1	2	0	7	
	運営推進会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の会議・研修等	0	0	0	1	0	1	3	2	0	2	2	2	13	
しもふなか	個別ケア会議	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	2	
	圏域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自立支援ケア会議	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	
	うち事例提出件数	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	
	認知症サポーター養成講座	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	
	従事者連絡会議・職種別部会等	4	4	2	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	46
	処遇検討会	0	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	
	運営推進会議	1	1	0	3	0	1	1	1	0	1	1	1	3	13
	その他の会議・研修等	0	2	0	2	1	6	12	6	7	1	5	14	56	
とよかわ・かみふなか	個別ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	2	3	0	0	1	6	
	圏域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自立支援ケア会議	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	8	
	うち事例提出件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	
	認知症サポーター養成講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	従事者連絡会議・職種別部会等	4	4	4	4	4	4	5	4	3	4	4	2	46	
	処遇検討会	0	0	3	0	2	0	3	2	2	1	1	0	14	
	運営推進会議	0	0	3	1	0	1	0	0	0	0	1	1	7	
	その他の会議・研修等	0	0	1	5	3	4	5	4	4	0	0	1	27	
そが・しもそが・こうづ	個別ケア会議	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
	圏域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	自立支援ケア会議	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	
	うち事例提出件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	認知症サポーター養成講座	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	
	従事者連絡会議・職種別部会等	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	47	
	処遇検討会	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	1	4	
	運営推進会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の会議・研修等	1	1	3	3	1	5	13	9	3	3	3	8	53	
たちばな	個別ケア会議	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	3	
	圏域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	
	自立支援ケア会議	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	9	
	うち事例提出件数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	
	認知症サポーター養成講座	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	従事者連絡会議・職種別部会等	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	49
	処遇検討会	2	3	5	4	3	3	0	0	1	0	3	1	25	
	運営推進会議	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	2	5	
	その他の会議・研修等	7	7	7	16	19	21	20	19	21	17	17	29	200	
小計	個別ケア会議	2	6	5	1	1	4	5	6	8	3	1	3	45	
	圏域ケア会議	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	
	自立支援ケア会議	0	0	0	12	12	12	12	12	12	11	12	107		
	うち事例提出件数	0	0	0	2	2	2	2	2	2	3	3	3	21	
	認知症サポーター養成講座	0	0	0	0	0	2	1	2	1	1	0	0	7	
	従事者連絡会議・職種別部会等	48	47	43	49	46	46	50	48	46	47	47	44	561	
	処遇検討会	6	11	14	8	11	13	8	9	13	11	9	8	121	
	運営推進会議	5	6	9	5	4	7	7	2	5	2	5	13	70	
	その他の会議・研修等	27	16	24	55	49	71	101	98	66	56	55	112	730	

地域包括支援センター事業に係る経理状況  
令和2年度収支決算の概要

【しろやま】

収 入		支 出	
区	分金	区	分金
市委託料 運営業務費	22,000,000	人件費	25,915,120
市委託料 付帯業務費	5,299,724	専門職等分	1,468,639
うち介護予防ケアマネジメント事業業務 1,123件	5,270,813	その他分	1,377,600
うち認知症初期集中支援事業業務	4,611	事務費	1,440,569
うち食のアセスメント業務	24,300	その他分	5,243,877
介護報酬（介護予防支援分）1,315件	6,162,975	ケアプラン作成再委託費	2,370,555
		うち介護予防ケアマネジメント 563件	2,873,322
		うち介護予防支援 680件	0
その他の収入	158,000	その他の支出	0
事業収入	33,620,699	事業支出	35,445,805
受託法人からの繰入金	1,825,106	受託法人への繰出金	0
計	35,445,805	計	35,445,805

【はくおう】

収 入		支 出	
区	分金	区	分金
市委託料 運営業務費	22,000,000	人件費	20,295,776
市委託料 付帯業務費	5,180,372	専門職等分	2,421,167
うち介護予防ケアマネジメント事業業務 1,132件	5,180,372	その他分	1,330,908
うち認知症初期集中支援事業業務	0	事務費	3,428,589
うち食のアセスメント業務	0	その他分	4,507,875
介護報酬（介護予防支援分）1,078件	5,095,848	ケアプラン作成再委託費	2,122,875
		うち介護予防ケアマネジメント 504件	2,385,000
		うち介護予防支援 563件	0
その他の収入	6,000	その他の支出	0
事業収入	32,282,220	事業支出	31,984,315
受託法人からの繰入金	0	受託法人への繰出金	297,905
計	32,282,220	計	32,282,220

【じょうなん】

収 入		支 出	
区	分金	区	分金
市委託料 運営業務費	21,000,000	人件費	25,426,537
市委託料 付帯業務費	4,864,659	専門職等分	124,344
うち介護予防ケアマネジメント事業業務 1,037件	4,855,437	その他分	1,024,458
うち認知症初期集中支援事業業務	9,222	事務費	1,815,136
うち食のアセスメント業務	0	その他分	3,447,144
介護報酬（介護予防支援分）883件	4,132,503	ケアプラン作成再委託費	1,640,853
		うち介護予防ケアマネジメント 392件	1,806,291
		うち介護予防支援 427件	0
その他の収入	16,792,246	その他の支出	14,951,789
事業収入	46,789,408	事業支出	46,789,408
受託法人からの繰入金	0	受託法人への繰出金	0
計	46,789,408	計	46,789,408

【はくさん】

取 区	分金	入 額	支 区	分金	出 額
市委託料 運營業務費		22,000,000	人件費	専門職等分	19,480,565
市委託料 付帯業務費		4,507,552		その他分	2,329,412
うち介護予防ケアマネジメント事業業務 972件		4,502,152	事務費	事務所費	2,290,908
うち認知症初期集中支援事業業務		0		その他分	3,260,893
うち食のアセスメント業務		5,400	ケアプラン作成再委託費		4,746,869
介護報酬（介護予防支援分）968件		4,537,278	うち介護予防ケアマネジメント 510件		2,137,670
			うち介護予防支援 624件		2,609,199
その他の収入		14,000	その他の支出		0
事業収入		31,058,830	事業支出		32,108,647
受託法人からの繰入金		1,049,817	受託法人への繰出金		0
計		32,108,647	計		32,108,647

【ひがしとみず】

取 区	分金	入 額	支 区	分金	出 額
市委託料 運營業務費		22,000,000	人件費	専門職等分	19,180,977
市委託料 付帯業務費		3,793,967		その他分	1,585,448
うち介護予防ケアマネジメント事業業務 821件		3,773,156	事務費	事務所費	4,665,314
うち認知症初期集中支援事業業務		4,611		その他分	2,269,779
うち食のアセスメント業務		16,200	ケアプラン作成再委託費		1,922,919
介護報酬（介護予防支援分）931件		4,357,041	うち介護予防ケアマネジメント 183件		770,019
			うち介護予防支援 273件		1,152,900
その他の収入		306,000	その他の支出		0
事業収入		30,457,008	事業支出		29,624,437
受託法人からの繰入金		0	受託法人への繰出金		832,571
計		30,457,008	計		30,457,008

【とみず】

取 区	分金	入 額	支 区	分金	出 額
市委託料 運營業務費		21,000,000	人件費	専門職等分	18,449,415
市委託料 付帯業務費		4,501,020		その他分	3,034,109
うち介護予防ケアマネジメント事業業務 1,000件		4,490,220	事務費	事務所費	410,514
うち認知症初期集中支援事業業務		0		その他分	3,698,582
うち食のアセスメント業務		10,800	ケアプラン作成再委託費		1,812,175
介護報酬（介護予防支援分）897件		4,225,947	うち介護予防ケアマネジメント 235件		984,310
			うち介護予防支援 187件		827,865
その他の収入		300,000	その他の支出		0
事業収入		30,026,967	事業支出		27,404,795
受託法人からの繰入金		0	受託法人への繰出金		2,622,172
計		30,026,967	計		30,026,967

【さくらい】

収 入		支 出	
区	分金 額	区	分金 額
市委託料 運営業務費	21,900,000	人件費	17,092,145
市委託料 付帯業務費	2,731,695	専門職等分	
うち介護予防ケアマネジメント事業業務 590件	2,726,295	その他分	1,567,733
うち認知症初期集中支援事業業務	0	事務費	1,971,000
うち食のアセスメント業務	5,400	事務所費	
		その他分	2,078,399
介護報酬（介護予防支援分）842件	3,927,402	ケアプラン作成再委託費	2,087,685
		うち介護予防ケアマネジメント 161件	679,545
		うち介護予防支援 338件	1,408,140
その他の収入	298,000	その他の支出	0
事業収入	28,857,097	事業支出	24,796,962
受託法人からの繰入金	0	受託法人への繰出金	4,060,135
計	28,857,097	計	28,857,097

【さかわ こやわた・ふじみ】

収 入		支 出	
区	分金 額	区	分金 額
市委託料 運営業務費	22,000,000	人件費	20,808,005
市委託料 付帯業務費	4,376,022	専門職等分	
うち介護予防ケアマネジメント事業業務 922件	4,373,322	その他分	2,453,655
うち認知症初期集中支援事業業務	0	事務費	1,649,203
うち食のアセスメント業務	2,700	事務所費	
		その他分	3,616,060
介護報酬（介護予防支援分）1,349件	6,329,379	ケアプラン作成再委託費	2,881,620
		うち介護予防ケアマネジメント 206件	880,695
		うち介護予防支援 476件	2,000,925
その他の収入	10,000	その他の支出	0
事業収入	32,715,401	事業支出	31,408,543
受託法人からの繰入金	0	受託法人への繰出金	1,306,858
計	32,715,401	計	32,715,401

【しもふなか】

収 入		支 出	
区	分金 額	区	分金 額
市委託料 運営業務費	20,400,000	人件費	20,736,886
市委託料 付帯業務費	3,559,748	専門職等分	
うち介護予防ケアマネジメント事業業務 758件	3,557,048	その他分	0
うち認知症初期集中支援事業業務	0	事務費	2,194,770
うち食のアセスメント業務	2,700	事務所費	
		その他分	2,279,962
介護報酬（介護予防支援分）913件	4,293,303	ケアプラン作成再委託費	3,041,433
		うち介護予防ケアマネジメント 298件	1,247,958
		うち介護予防支援 426件	1,793,475
その他の収入	0	その他の支出	0
事業収入	28,253,051	事業支出	28,253,051
受託法人からの繰入金	0	受託法人への繰出金	0
計	28,253,051	計	28,253,051

【とよかわ・かみふなか】

収 入		支 出	
区	分金 額	区	分金 額
市委託料 運營業務費	22,000,000	人件費	専門職等分 19,500,021
市委託料 付帯業務費	3,310,866		その他分 2,167,202
うち介護予防ケアマネジメント事業業務 726件	3,300,066	事務費	事務所費 1,036,368
うち認知症初期集中支援事業業務	0		その他分 3,224,160
うち食のアセスメント業務	10,800	ケアプラン作成再委託費	1,341,603
介護報酬（介護予防支援分）751件	3,559,161	うち介護予防ケアマネジメント 129件	543,888
		うち介護予防支援 186件	797,715
その他の収入	26,000	その他の支出	0
事業収入	28,896,027	事業支出	27,269,354
受託法人からの繰入金	0	受託法人への繰出金	1,626,673
計	28,896,027	計	28,896,027

【そが・しもそが・こうづ】

収 入		支 出	
区	分金 額	区	分金 額
市委託料 運營業務費	21,000,000	人件費	専門職等分 22,912,833
市委託料 付帯業務費	2,942,663		その他分 1,800,000
うち介護予防ケアマネジメント事業業務 633件	2,942,663	事務費	事務所費 0
うち認知症初期集中支援事業業務	0		その他分 3,732,907
うち食のアセスメント業務	0	ケアプラン作成再委託費	2,245,041
介護報酬（介護予防支援分）1,031件	4,840,611	うち介護予防ケアマネジメント 188件	814,680
		うち介護予防支援 335件	1,430,361
その他の収入	17,150,289	その他の支出	15,242,782
事業収入	45,933,563	事業支出	45,933,563
受託法人からの繰入金	0	受託法人への繰出金	0
計	45,933,563	計	45,933,563

【たちばな】

収 入		支 出	
区	分金 額	区	分金 額
市委託料 運營業務費	21,000,000	人件費	専門職等分 21,403,441
市委託料 付帯業務費	3,217,890		その他分 0
うち介護予防ケアマネジメント事業業務 685件	3,215,190	事務費	事務所費 2,218,179
うち認知症初期集中支援事業業務	0		その他分 1,715,079
うち食のアセスメント業務	2,700	ケアプラン作成再委託費	2,976,309
介護報酬（介護予防支援分）738件	3,447,858	うち介護予防ケアマネジメント 293件	1,227,213
		うち介護予防支援 416件	1,749,096
その他の収入	0	その他の支出	0
事業収入	27,665,748	事業支出	28,313,008
受託法人からの繰入金	647,260	受託法人への繰出金	0
計	28,313,008	計	28,313,008

## 令和2年度 介護報酬(支援分)及び再委託費 内訳明細

### <しろやま>

#### 介護報酬(支援分)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防支援	4,611	1,284	5,920,524
介護予防支援+初回加算	7,821	31	242,451
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,821	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	11,031	0	0
計		1,315	6,162,975

#### 再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防支援	4,149	662	2,746,638
介護予防支援+初回加算	7,038	18	126,684
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,038	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	9,927	0	0
計		680	2,873,322

### <はくおう>

#### 介護報酬(支援分)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防支援	4,611	1,039	4,790,829
介護予防支援+初回加算	7,821	39	305,019
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,821	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	11,031	0	0
計		1,078	5,095,848

#### 再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防支援	4,149	546	2,265,354
介護予防支援+初回加算	7,038	17	119,646
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,038	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	9,927	0	0
計		563	2,385,000

### <じょうなん>

#### 介護報酬(支援分)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防支援	4,611	864	3,983,904
介護予防支援+初回加算	7,821	19	148,599
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,821	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	11,031	0	0
計		883	4,132,503

#### 再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防支援	4,149	415	1,721,835
介護予防支援+初回加算	7,038	12	84,456
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,038	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	9,927	0	0
計		427	1,806,291

### <はくさん>

#### 介護報酬(支援分)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防支援	4,611	945	4,357,395
介護予防支援+初回加算	7,821	23	179,883
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,821	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	11,031	0	0
計		968	4,537,278

#### 再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防支援	4,149	617	2,559,933
介護予防支援+初回加算	7,038	7	49,266
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,038	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	9,927	0	0
計		624	2,609,199

### <ひがしとみず>

#### 介護報酬(支援分)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防支援	4,611	911	4,200,621
介護予防支援+初回加算	7,821	20	156,420
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,821	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	11,031	0	0
計		931	4,357,041

#### 再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防支援	4,149	266	1,103,634
介護予防支援+初回加算	7,038	7	49,266
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,038	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	9,927	0	0
計		273	1,152,900

<とみず>

介護報酬(支援分)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防支援	4,611	869	4,006,959
介護予防支援+初回加算	7,821	28	218,988
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,821	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	11,031	0	0
計		897	4,225,947

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防支援	4,149	169	701,181
介護予防支援+初回加算	7,038	18	126,684
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,038	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	9,927	0	0
計		187	827,865

<さくらい>

介護報酬(支援分)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防支援	4,611	828	3,817,908
介護予防支援+初回加算	7,821	14	109,494
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,821	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	11,031	0	0
計		842	3,927,402

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防支援	4,149	336	1,394,064
介護予防支援+初回加算	7,038	2	14,076
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,038	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	9,927	0	0
計		338	1,408,140

<さかわ こやわた・ふじみ>

介護報酬(支援分)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防支援	4,611	1,315	6,063,465
介護予防支援+初回加算	7,821	34	265,914
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,821	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	11,031	0	0
計		1,349	6,329,379

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防支援	4,149	467	1,937,583
介護予防支援+初回加算	7,038	9	63,342
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,038	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	9,927	0	0
計		476	2,000,925

<しもふなか>

介護報酬(支援分)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防支援	4,611	887	4,089,957
介護予防支援+初回加算	7,821	26	203,346
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,821	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	11,031	0	0
計		913	4,293,303

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防支援	4,149	417	1,730,133
介護予防支援+初回加算	7,038	9	63,342
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,038	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	9,927	0	0
計		426	1,793,475

<とよかわ・かみふなか>

介護報酬(支援分)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防支援	4,611	721	3,324,531
介護予防支援+初回加算	7,821	30	234,630
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,821	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	11,031	0	0
計		751	3,559,161

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防支援	4,149	177	734,373
介護予防支援+初回加算	7,038	9	63,342
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,038	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	9,927	0	0
計		186	797,715



<そが・しもそが・こうづ>

介護報酬(支援分)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防支援	4,611	1,004	4,629,444
介護予防支援+初回加算	7,821	27	211,167
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,821	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	11,031	0	0
計		1,031	4,840,611

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防支援	4,149	321	1,331,829
介護予防支援+初回加算	7,038	14	98,532
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,038	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	9,927	0	0
計		335	1,430,361

<たちばな>

介護報酬(支援分)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防支援	4,611	724	3,338,364
介護予防支援+初回加算	7,821	14	109,494
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,821	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	11,031	0	0
計		738	3,447,858

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防支援	4,149	408	1,692,792
介護予防支援+初回加算	7,038	8	56,304
介護予防支援+小規模多機能連携加算	7,038	0	0
介護予防支援+初回加算+小規模多機能連携加算	9,927	0	0
計		416	1,749,096

令和2年度 付帯業務費 介護予防ケアマネジメント業務(総合事業分)及び再委託費 内訳明細

<しろやま>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防ケアマネジメントA	4,611	1,072	4,942,992
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,821	31	242,451
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,821	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	11,031	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,466	15	51,990
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,676	5	33,380
介護予防ケアマネジメントC	2,000	0	0
小計		1,123	5,270,813

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防ケアマネジメントA	4,149	551	2,286,099
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,038	12	84,456
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,038	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	9,927	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,119	0	0
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,008	0	0
介護予防ケアマネジメントC	1,800	0	0
小計		563	2,370,555

<はくおう>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防ケアマネジメントA	4,611	996	4,592,556
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,821	26	203,346
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,821	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	11,031	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,466	109	377,794
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,676	1	6,676
介護予防ケアマネジメントC	2,000	0	0
小計		1,132	5,180,372

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防ケアマネジメントA	4,149	493	2,045,457
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,038	11	77,418
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,038	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	9,927	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,119	0	0
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,008	0	0
介護予防ケアマネジメントC	1,800	0	0
小計		504	2,122,875

<じょうなん>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防ケアマネジメントA	4,611	1,014	4,675,554
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,821	23	179,883
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,821	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	11,031	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,466	0	0
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,676	0	0
介護予防ケアマネジメントC	2,000	0	0
小計		1,037	4,855,437

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防ケアマネジメントA	4,149	387	1,605,663
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,038	5	35,190
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,038	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	9,927	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,119	0	0
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,008	0	0
介護予防ケアマネジメントC	1,800	0	0
小計		392	1,640,853

<はくさん>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防ケアマネジメントA	4,611	888	4,094,568
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,821	26	203,346
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,821	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	11,031	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,466	57	197,562
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,676	1	6,676
介護予防ケアマネジメントC	2,000	0	0
小計		972	4,502,152

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防ケアマネジメントA	4,149	493	2,045,457
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,038	10	70,380
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,038	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	9,927	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,119	7	21,833
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,008	0	0
介護予防ケアマネジメントC	1,800	0	0
小計		510	2,137,670

<ひがしとみず>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防ケアマネジメントA	4,611	701	3,232,311
介護予防ケアマネジメントA+初回加算	7,821	25	195,525
介護予防ケアマネジメントA+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携	7,821	0	0
介護予防ケアマネジメントA+初回加算+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	11,031	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,466	90	311,940
介護予防ケアマネジメントB+初回加算	6,676	5	33,380
介護予防ケアマネジメントC	2,000	0	0
小計		821	3,773,156

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防ケアマネジメントA	4,149	163	676,287
介護予防ケアマネジメントA+初回加算	7,038	8	56,304
介護予防ケアマネジメントA+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携	7,038	0	0
介護予防ケアマネジメントA+初回加算+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	9,927	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,119	12	37,428
介護予防ケアマネジメントB+初回加算	6,008	0	0
介護予防ケアマネジメントC	1,800	0	0
小計		183	770,019

<とみず>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防ケアマネジメントA	4,611	778	3,587,358
介護予防ケアマネジメントA+初回加算	7,821	24	187,704
介護予防ケアマネジメントA+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携	7,821	0	0
介護予防ケアマネジメントA+初回加算+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	11,031	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,466	189	655,074
介護予防ケアマネジメントB+初回加算	6,676	9	60,084
介護予防ケアマネジメントC	2,000	0	0
小計		1,000	4,490,220

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防ケアマネジメントA	4,149	225	933,525
介護予防ケアマネジメントA+初回加算	7,038	5	35,190
介護予防ケアマネジメントA+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携	7,038	0	0
介護予防ケアマネジメントA+初回加算+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	9,927	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,119	5	15,595
介護予防ケアマネジメントB+初回加算	6,008	0	0
介護予防ケアマネジメントC	1,800	0	0
小計		235	984,310

<さくらい>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防ケアマネジメントA	4,611	522	2,406,942
介護予防ケアマネジメントA+初回加算	7,821	17	132,957
介護予防ケアマネジメントA+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携	7,821	0	0
介護予防ケアマネジメントA+初回加算+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	11,031	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,466	48	166,368
介護予防ケアマネジメントB+初回加算	6,676	3	20,028
介護予防ケアマネジメントC	2,000	0	0
小計		590	2,726,295

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防ケアマネジメントA	4,149	157	651,393
介護予防ケアマネジメントA+初回加算	7,038	4	28,152
介護予防ケアマネジメントA+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携	7,038	0	0
介護予防ケアマネジメントA+初回加算+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	9,927	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,119	0	0
介護予防ケアマネジメントB+初回加算	6,008	0	0
介護予防ケアマネジメントC	1,800	0	0
小計		161	679,545

<さかわこやわた・ふじみ>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防ケアマネジメントA	4,611	884	4,076,124
介護予防ケアマネジメントA+初回加算	7,821	38	297,198
介護予防ケアマネジメントA+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携	7,821	0	0
介護予防ケアマネジメントA+初回加算+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	11,031	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,466	0	0
介護予防ケアマネジメントB+初回加算	6,676	0	0
介護予防ケアマネジメントC	2,000	0	0
小計		922	4,373,322

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防ケアマネジメントA	4,149	197	817,353
介護予防ケアマネジメントA+初回加算	7,038	9	63,342
介護予防ケアマネジメントA+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携	7,038	0	0
介護予防ケアマネジメントA+初回加算+介護予防小規模多機能型居宅介護事業所連携加算	9,927	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,119	0	0
介護予防ケアマネジメントB+初回加算	6,008	0	0
介護予防ケアマネジメントC	1,800	0	0
小計		206	880,695

<しもふなか>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防ケアマネジメントA	4,611	737	3,398,307
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,821	19	148,599
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,821	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	11,031	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,466	1	3,466
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,676	1	6,676
介護予防ケアマネジメントC	2,000	0	0
小計		758	3,557,048

<とよかわ・かみふなか>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防ケアマネジメントA	4,611	583	2,688,213
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,821	23	179,883
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,821	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	11,031	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,466	115	398,590
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,676	5	33,380
介護予防ケアマネジメントC	2,000	0	0
小計		726	3,300,066

<そが・しもそが・こうづ>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防ケアマネジメントA	4,611	578	2,665,158
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,821	17	132,957
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,821	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	11,031	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,466	34	117,844
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,676	4	26,704
介護予防ケアマネジメントC	2,000	0	0
小計		633	2,942,663

<たちばな>

介護報酬(介護予防ケアマネジメント)内訳

区 分	単価	件数	報酬額
介護予防ケアマネジメントA	4,611	652	3,006,372
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,821	18	140,778
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,821	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	11,031	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,466	10	34,660
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,676	5	33,380
介護予防ケアマネジメントC	2,000	0	0
小計		685	3,215,190

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防ケアマネジメントA	4,149	294	1,219,806
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,038	4	28,152
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,038	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	9,927	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,119	0	0
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,008	0	0
介護予防ケアマネジメントC	1,800	0	0
小計		298	1,247,958

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防ケアマネジメントA	4,149	126	522,774
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,038	3	21,114
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,038	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	9,927	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,119	0	0
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,008	0	0
介護予防ケアマネジメントC	1,800	0	0
小計		129	543,888

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防ケアマネジメントA	4,149	176	730,224
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,038	12	84,456
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,038	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	9,927	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,119	0	0
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,008	0	0
介護予防ケアマネジメントC	1,800	0	0
小計		188	814,680

再委託費

区 分	単価	件数	委託料
介護予防ケアマネジメントA	4,149	289	1,199,061
介護予防ケアマネジメント A+初回加算	7,038	4	28,152
介護予防ケアマネジメント A+介護予防小規模多機 能型居宅介護事業所連携	7,038	0	0
介護予防ケアマネジメント A+初回加算+介護予防 小規模多機能型居宅介護 事業所連携加算	9,927	0	0
介護予防ケアマネジメントB	3,119	0	0
介護予防ケアマネジメント B+初回加算	6,008	0	0
介護予防ケアマネジメントC	1,800	0	0
小計		293	1,227,213

地域包括支援センター事業に係る経理状況  
令和3年度収支予算の概要

【しろやま】

収		入	支		出
区	分金	額	区	分金	額
市委託料	運營業務費	22,000,000	人件費	専門職等分	22,440,000
	付帯業務費	5,327,333		その他分	1,700,000
	その他業務	0	事務費	事務所費	1,330,000
		その他分		2,873,083	
介護報酬（介護予防支援分）		6,165,000	ケアプラン作成再委託費		5,159,250
その他の収入		10,000	その他の支出		0
事業収入		33,502,333	事業支出		33,502,333
受託法人からの繰入金		0	受託法人への繰出金		0
計		33,502,333	計		33,502,333

【はくおう】

収		入	支		出
区	分金	額	区	分金	額
市委託料	運營業務費	22,000,000	人件費	専門職等分	20,400,000
	付帯業務費	5,200,000		その他分	2,500,000
	その他業務	0	事務費	事務所費	1,340,000
		その他分		3,500,000	
介護報酬（介護予防支援分）		5,100,000	ケアプラン作成再委託費		4,566,000
その他の収入		6,000	その他の支出		0
事業収入		32,306,000	事業支出		32,306,000
受託法人からの繰入金		0	受託法人への繰出金		0
計		32,306,000	計		32,306,000

【じょうなん】

収		入	支		出
区	分金	額	区	分金	額
市委託料	運營業務費	21,000,000	人件費	専門職等分	25,147,000
	付帯業務費	4,400,000		その他分	130,000
	その他業務	0	事務費	事務所費	0
		その他分		1,523,000	
介護報酬（介護予防支援分）		5,000,000	ケアプラン作成再委託費		3,060,000
その他の収入		0	その他の支出		540,000
事業収入		30,400,000	事業支出		30,400,000
受託法人からの繰入金		0	受託法人への繰出金		0
計		30,400,000	計		30,400,000

【はくさん】

収		入	支		出
区	分金	額	区	分金	額
市委託料	運營業務費	22,000,000	人件費	専門職等分	19,500,000
	付帯業務費	4,605,400		その他分	2,400,000
	その他業務	0	事務費	事務所費	2,300,000
		その他分		3,300,000	
介護報酬（介護予防支援分）		4,600,000	ケアプラン作成再委託費		3,719,400
その他の収入		14,000	その他の支出		0
事業収入		31,219,400	事業支出		31,219,400
受託法人からの繰入金		0	受託法人への繰出金		0
計		31,219,400	計		31,219,400

【ひがしとみず】

収		入	支		出
区	分金	額	区	分金	額
市委託料	運營業務費	22,000,000	人件費	専門職等分	22,540,000
	付帯業務費	4,438,000		その他分	1,800,000
	その他業務	0	事務費	事務所費	4,650,000
		その他分		2,454,000	
介護報酬（介護予防支援分）		4,100,000	ケアプラン作成再委託費		2,040,000
その他の収入		0	その他の支出		0
事業収入		30,538,000	事業支出		33,484,000
受託法人からの繰入金		2,946,000	受託法人への繰出金		0
計		33,484,000	計		33,484,000

【とみず】

収		入	支		出
区	分金	額	区	分金	額
市委託料	運營業務費	21,000,000	人件費	専門職等分	20,760,000
	付帯業務費	4,100,000		その他分	3,000,000
	その他業務	0	事務費	事務所費	400,000
		その他分		3,960,000	
介護報酬（介護予防支援分）		4,000,000	ケアプラン作成再委託費		2,100,000
その他の収入		0	その他の支出		0
事業収入		29,100,000	事業支出		30,220,000
受託法人からの繰入金		1,120,000	受託法人への繰出金		0
計		30,220,000	計		30,220,000

【さくらい】

収		入	支		出
区	分金	額	区	分金	額
市委託料	運營業務費	22,000,000	人件費	専門職等分	21,200,000
	付帯業務費	3,668,000		その他分	1,600,000
	その他業務	0	事務費	事務所費	1,960,000
		その他分		2,900,000	
介護報酬（介護予防支援分）		3,850,000	ケアプラン作成再委託費		1,920,000
その他の収入		0	その他の支出		0
事業収入		29,518,000	事業支出		29,580,000
受託法人からの繰入金		62,000	受託法人への繰出金		0
計		29,580,000	計		29,580,000

【さかわ こやわた・ふじみ】

収		入	支		出
区	分金	額	区	分金	額
市委託料	運營業務費	22,000,000	人件費	専門職等分	20,800,000
	付帯業務費	4,402,700		その他分	2,500,000
	その他業務	0	事務費	事務所費	1,650,000
		その他分		3,700,000	
介護報酬（介護予防支援分）		6,400,000	ケアプラン作成再委託費		4,162,700
その他の収入		10,000	その他の支出		0
事業収入		32,812,700	事業支出		32,812,700
受託法人からの繰入金		0	受託法人への繰出金		0
計		32,812,700	計		32,812,700

【しもふなか】

収		入	支		出
区	分金	額	区	分金	額
市委託料	運營業務費	21,000,000	人件費	専門職等分	21,000,000
	付帯業務費	3,300,000		その他分	0
	その他業務	0	事務費	事務所費	1,567,000
		その他分		1,600,000	
介護報酬（介護予防支援分）		4,200,000	ケアプラン作成再委託費		2,700,000
その他の収入		0	その他の支出		1,633,000
事業収入		28,500,000	事業支出		28,500,000
受託法人からの繰入金		0	受託法人への繰出金		0
計		28,500,000	計		28,500,000

【とよかわ・かみふなか】

収		入	支		出
区	分金	額	区	分金	額
市委託料	運營業務費	22,000,000	人件費	専門職等分	19,600,000
	付帯業務費	3,410,800		その他分	2,200,000
	その他業務	0	事務費	事務所費	1,040,000
		その他分		3,300,000	
介護報酬（介護予防支援分）		3,600,000	ケアプラン作成再委託費		2,896,800
その他の収入		26,000	その他の支出		0
事業収入		29,036,800	事業支出		29,036,800
受託法人からの繰入金		0	受託法人への繰出金		0
計		29,036,800	計		29,036,800

【そが・しもそが・こうづ】

収		入	支		出
区	分金	額	区	分金	額
市委託料	運營業務費	21,000,000	人件費	専門職等分	22,448,432
	付帯業務費	4,188,420		その他分	1,800,000
	その他業務	0	事務費	事務所費	0
		その他分		3,047,559	
介護報酬（介護予防支援分）		4,673,040	ケアプラン作成再委託費		2,489,400
その他の収入		15,242,782	その他の支出		15,318,851
事業収入		45,104,242	事業支出		45,104,242
受託法人からの繰入金		0	受託法人への繰出金		0
計		45,104,242	計		45,104,242

【たちばな】

収		入	支		出
区	分金	額	区	分金	額
市委託料	運營業務費	21,000,000	人件費	専門職等分	21,444,000
	付帯業務費	2,746,800		その他分	0
	その他業務	0	事務費	事務所費	1,932,000
		その他分		1,506,000	
介護報酬（介護予防支援分）		3,793,200	ケアプラン作成再委託費		2,700,000
その他の収入		0	その他の支出		0
事業収入		27,540,000	事業支出		27,582,000
受託法人からの繰入金		42,000	受託法人への繰出金		0
計		27,582,000	計		27,582,000

地域包括支援センター運営事業  
令和 2 年度運営評価と  
令和 3 年度活動計画の概要



地域包括支援センター運営事業 令和2年度運営評価と令和3年度活動計画の概要

※ [左欄]令和2年度運営状況評価表(別冊 6-1)におけるチェック数 / [右欄]令和3年度活動計画(別冊 6-2)に掲げた取組内容

評価項目 センター名	地域包括支援センターの 運営体制 【21項目】 平均 19.9(達成率 94.8%)	総合相談支援業務 【9項目】 平均 9.0(達成率 100%)	権利擁護業務 【9項目】 平均 7.5(達成率 83.3%)	包括的・継続的ケアマネジメント 業務 【15項目】 平均 10.8(達成率 72.2%)	認知症総合支援事業 【5項目】 平均 3.4(達成率 68.3%)	介護予防ケアマネジメント 業務 【6項目】 平均 5.7(達成率 94.4%)	その他 (評価項目外の活動)
① し ろ や ま	20 / 21 ○WEB 会議システムを利用した情報共有によるチームアプローチの強化	9 / 9 ○新型コロナウイルス感染症予防の研修会開催による地域の状況把握	6 / 9 —	11 / 15 ○新型コロナウイルス感染予防に留意した地域住民とのつながり強化 ○地域ケア会議開催による、地域全体の課題解決策の検討	4 / 5 —	5 / 6 —	—
② は く お う	21 / 21 ○業務進捗状況の確認と情報共有等 ○同一法人4包括センターでの勉強会等による職員のスキルアップ ○自然災害発生時等の業務継続計画策定	9 / 9 ○自治会等の定例会での情報収集 ○サロンにおける参加者の実態把握 ○訪問による実態把握	9 / 9 —	12 / 15 ○「おたすけ帳」の定期更新、包括だよりの配布を通じた民生委員等との連携 ○「茶々と会」の開催によるケアマネジャーとの連携 ○サロンにおける講話 ○自治会・民生委員等との連携による講話の機会の開拓	2 / 5 —	6 / 6 —	—
③ じ ょ う な ん	20 / 21 ○自然災害発生時等の業務継続計画策定	9 / 9 ○集合住宅の見守り体制構築	9 / 9 ○消費者被害の防止や成年後見制度についての普及啓発	11 / 15 ○他圏域の包括センターと連携した支援の展開	4 / 5 ○民生委員への認知症の普及啓発	6 / 6 —	—
④ は く さ ん	21 / 21 ○定期的な情報共有と業務分担・連携体制 ○同一法人4包括センターでの勉強会等による職員のスキルアップ	9 / 9 ○医療機関・介護保険事業所・地域団体とのネットワークの構築 ○民生委員との「お茶会」の継続を通じた相談対応・地域ニーズの把握	7 / 9 —	14 / 15 ○「おたすけ帳」の定期更新を通じた民生委員等との連携 ○「茶々と会」の開催によるケアマネジャーとの連携	4 / 5 ○認知症サポーター養成講座や個別ケア会議開催による普及啓発 ○認知症関係の介護サービス事業所との情報共有	6 / 6 —	—
⑤ ひ が し と み ず	21 / 21 ○カンファレンス実施による職員のスキルアップ	9 / 9 ○毎月の民児協出席による情報収集 ○多様な相談受理のための職員のスキルアップ	7 / 9 ○地域のケアマネジャー向けの権利擁護の講習会開催	6 / 15 ○地域ケア会議開催による対象者の課題解決 ○同一法人3包括センターでの地域のケアマネジャーとの勉強会の開催	3 / 5 —	6 / 6 —	○「かりがわだより」発行による情報発信
⑥ と み ず	16 / 21 —	9 / 9 ○定期的な所内会議の開催や「かりがわだより」発行による的確な情報発信と連携支援の展開	5 / 9 —	5 / 15 ○ケアマネジャーとの交流会や「かりがわ道場」開催による地域共生社会の実現のための連携強化	2 / 5 —	5 / 6 —	—

評価項目 センター名	地域包括支援センターの 運営体制 【21項目】 平均 19.9(達成率 94.8%)	総合相談支援業務 【9項目】 平均 9.0(達成率 100%)	権利擁護業務 【9項目】 平均 7.5(達成率 83.3%)	包括的・継続的ケアマネジメント 業務 【15項目】 平均 10.8(達成率 72.2%)	認知症総合支援事業 【5項目】 平均 3.4(達成率 68.3%)	介護予防ケアマネジメント 業務 【6項目】 平均 5.7(達成率 94.4%)	その他 (評価項目外の活動)
⑦ さくらい	20 / 21	9 / 9	6 / 9	9 / 15	2 / 5	6 / 6	—
⑧ さかわ こや わた・ふじみ	20 / 21	9 / 9	9 / 9	11 / 15	2 / 5	5 / 6	—
⑨ しもふなか	19 / 21	9 / 9	8 / 9	12 / 15	4 / 5	6 / 6	—
⑩ とよかわ・ かみふなか	19 / 21	9 / 9	8 / 9	11 / 15	4 / 5	5 / 6	—
⑪ そが・しも そが・こうづ	21 / 21	9 / 9	7 / 9	13 / 15	5 / 5	6 / 6	○権利擁護や認知症 総合支援事業、社 会資源等の情報発 信のため広報誌を 定期発行
⑫ たちばな	21 / 21	9 / 9	9 / 9	15 / 15	5 / 5	6 / 6	○フレイル予防を目的 とした「公園 de ラジ オ体操」の実施 ○「認知症及び高齢 者行方不明時の連 絡体制検討会」

地域包括支援センター運営評価  
(令和2年度)

小田原市福祉健康部高齢介護課

# 地域包括支援センター運営事業の評価表 [令和2年度実績]

## 1 地域包括支援センターの運営体制

○経験年数の浅い職員への支援体制の整備や管理者業務の円滑化のための取組を進めるとともに、包括センター間の更なる連携強化を図る。															
項目	評価の目安	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	達成数	
人員体制の確保	1 職員の配置基準を満たしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	11	
	数字を入力													(平均)	
	ア 保健師・看護師	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	人	1
	イ 社会福祉士	2	1	1	1	1	1	2	1	1	2	1	2	人	1.4
	ウ 主任介護支援専門員	1	1	2	1	1	1	1	1	2	1	1	1	人	1.2
	エ 介護支援専門員	0	1	0	1	1	1	0	1	0	0	1	0	人	0.5
	オ その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	人	0.1
ア～ウの三職種の平均在職年数(12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入)	4.8	2.8	11.8	2.8	4	2	3.1	1	2.3	0	4	3	年	3.5	
24時間体制の確保	2 緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター(以下「包括センター」という。)の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
職員の資質向上	3 市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	4 運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	5 研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	6 研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5
	数字を入力 研修参加回数	18	30	15	17	39	12	24	18	23	22	20	26	回	(平均) 22
個人情報の保護	7 個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	8 個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	9 職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	10 関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化	11 包括センターで3職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	12 包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	13 ケースごとに主担当を決め、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	14 各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10	
運営状況の評価と業務改善への取組	15 実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	11	
	16 日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	11	
	17 日常の業務における課題や反省点を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	18 利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じて包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	19 包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	11	
	20 利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	21 センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	11	

2 総合相談支援業務

○高齢者の実態把握・支援体制を維持するとともに、個別ケア会議等による相談内容や地域課題の体系的整理のための環境整備を進める。														
項目	評価の目安	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	達成数
高齢者の実態把握及び支援	22 個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	23 相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	24 定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	25 適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	26 相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	27 専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	数字を入力 新規相談件数 相談延べ件数		483	304	228	270	303	208	189	335	266	206	300	246
支援を要する高齢者の早期発見に関する取組	28 関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	29 関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	30 パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12

3 権利擁護業務

○成年後見制度に関わる相談やニーズを踏まえ、法律専門職との連携により地域や関係機関に対する情報発信を更に深めることが必要。														
項目	評価の目安	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	達成数
権利擁護全体	31 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	11
	32 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	6
	数字を入力 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数 法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数		0	2	4	0	1	0	0	1	0	2	0	1
成年後見制度の利用支援と普及	33 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	34 本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	35 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	7
数字を入力 成年後見にかかわる相談件数 成年後見にかかわる講座等の実施回数		13	3	6	36	8	4	3	6	8	5	3	6	件 8.5 0.2
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応	36 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	37 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	数字を入力 高齢者虐待にかかわる相談件数		17	14	10	14	5	5	3	10	6	11	4	17
消費者被害の防止に関する対応	38 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	9
	39 消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	9
	数字を入力 消費者被害にかかわる相談件数 消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数		4	0	0	2	0	1	2	3	5	2	0	3

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

○介護支援専門員の相談事例の体系化・経年的把握、社会資源の積極的把握を推進。また、地域ケア会議の開催の円滑化のための環境を整備。															
項目	評価の目安	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	達成数	
生活環境変化等への対応	40 サービス担当者会議の開催を支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	9	
	41 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	数字を入力 サービス担当者会議開催支援件数	3	34	1	3	0	0	0	3	1	1	5	0	件	(平均) 4.3
	医療機関とのカンファレンスの件数	3	19	7	8	4	0	2	1	6	2	10	4	件	5.5
介護支援専門員の支援	42 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	6	
	43 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	
	44 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	45 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	9	
	数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数	1	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	回	(平均) 0.5
研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数	7	0	11	0	10	0	10	0	0	0	0	0	人	3.2	
関係機関相互の連携体制の構築	46 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	47 関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	11	
	数字を入力 運営推進会議への出席回数	12	5	16	6	6	10	10	0	13	8	21	8	回	(平均) 9.6
社会資源の把握・活用・開発	48 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	11	
	49 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	7	
	50 新たな社会資源の開発に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	7	
地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用	51 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	52 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10	
	53 圏域ケア会議を計画的に開催している。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	2	
	数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数	1	2	2	3	3	3	2	2	0	1	1	1	件	(平均) 1.8
	個別ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数	1	7	8	4	6	2	1	4	2	6	1	2	回	3.7
圏域ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数	0	1	2	1	2	0	0	0	0	1	2	1	回	1	
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	回	0.2	
0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	回	0.2	
介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発	54 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	9	
	数字を入力 情報発信・講座等の実施回数	1	3	2	2	2	0	0	3	1	7	1	26	回	(平均) 4

【凡例】 ①しろやま ②はくおう ③じょうなん ④はくさん ⑤ひがしとみず ⑥とみず ⑦さくらい ⑧さかわこやわたふじみ ⑨しもふなか ⑩とよかわかみふなか ⑪そがしもそがこうづ ⑫たちばな

5 認知症総合支援事業

○認知症初期集中支援事業の積極的な活用のための取組を検証し、高齢者及び家族に対する組織的かつ専門的な支援の円滑化を進める。															
項目	評価の目安	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	達成数	
認知症の正しい知識の普及と啓発	55 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	6	
	56 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	8	
	数字を入力 認知症サポーター養成講座開催回数	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	1	0	回	(平均) 0.5
	認知症普及啓発に係る講座等開催回数(認知症サポーター養成講座を除く)	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	0	2	回	0.5
認知症の人とその家族に対する支援	57 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12	
	58 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10	
	59 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5
	数字を入力 認知症初期集中支援事業 提出事例件数	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	件

6 介護予防ケアマネジメント業務

○介護予防支援・介護予防ケアマネジメントの居宅支援事業所への再委託の促進に向け、環境整備・体制強化を引き続き実施。														
項目	評価の目安	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	達成数
介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明	60 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	61 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10
適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成	62 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	63 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	12
	64 総合事業(通所型サービス)の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	10
	65 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
数字を入力 介護予防サービス計画件数	156	194	134	183	116	101	144	146	156	75	136	50	件	(平均) 132.6
うち再委託件数	63	74	57	89	11	15	36	41	61	20	39	17	件	43.6
介護予防ケアマネジメント件数	108	124	127	92	96	104	64	124	122	33	76	74	件	95.4
うち再委託件数	40	64	35	40	10	1	12	23	41	14	19	8	件	25.6

# 地域包括支援センター運営事業の評価表

地域包括支援センター名：しろやま

記入者名：府川 祐子

## 1 地域包括支援センターの運営体制

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等			
人員体制の確保	1	職員の配置基準を満たしている。 数字を入力 ア 保健師・看護師 1 人 イ 社会福祉士 2 人 ウ 主任介護支援専門員 1 人 エ 介護支援専門員 1 人 オ その他 1 人 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） 4.8 年	<input checked="" type="checkbox"/>	◇令和元年10月からの職員増員以降も退職者なく、職員の定着化が行えている。  ◆法人より事務員の雇用を継続する事で、請求業務、事務処理、窓口、電話対応等の負担軽減に繋げる事ができているので、今後も継続していく。		
	24時間体制の確保	2	緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	
	職員の資質向上	3	市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。		<input checked="" type="checkbox"/>	◇(3) コロナウイルス感染予防による研修の中止もあり、対面での研修への参加は控えている為、前年度より対面研修への参加は減っている。 (4) 4月9日法人職員会議内の「新型コロナウイルス感染予防の具体的な対策について」出席。（感染予防の為出席者1名 その後4名には伝達研修を行った） 10月29日法人内でのガウンテクニック研修5名出席。 6月よりリモートで開催される研修については、参加を心掛けている。 ◆リモートでの研修参加については、コロナ感染予防対策以外でも、利用価値はある為、内容によってはリモートでの参加を行ってゆく。
		4	運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。		<input checked="" type="checkbox"/>	
		5	研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	
		6	研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。		<input type="checkbox"/>	
数字を入力 研修参加回数		18 回				
個人情報の保護	7	個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇法人のマニュアルに基づき、個人情報については鍵付きのキャビネットに保管し、退勤時には施錠している。個人情報を持ち出し簿へ記入し管理者が確認を行っている。緊急事態宣言中には4名の職員を2班に分け、在宅での勤務を行ったが、個人情報持ち出し簿の管理についても書式へ記入し確認を行っている。  ◆		
	8	個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。	<input checked="" type="checkbox"/>			
	9	職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>			
	10	関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>			
チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化	11	包括センターで3職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇1回/Wのカンファレンスを開催する中で、情報共有を行い、ケース担当を決めた上で、必要であれば専門職の同行を行うようにしている。コロナ感染予防対策の為の2班に分けての出勤時においても、グループ電話による朝、夕2回のミーティング開催や、Zoomを利用したカンファレンス開催を行い、情報共有を行っていた。  ◆		
	12	包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。	<input checked="" type="checkbox"/>			
	13	ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>			
	14	各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>			



運営状況の評価と業務改善への取組	15	実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇報告書等の期日までの提出は概ね行っている。日常の業務内容については予定表に記入し、行動を把握している。常に相談ができるオープンな環境作りを心掛けている。新型コロナウイルス感染予防の為、4/24～5/29・1/7から緊急事態宣言解除時まで、2班に分かれての在宅勤務を行ったが、グループ電話による朝、夕のミーティングや、Zoomによる1回/Wのカンファレンスの開催も継続していた。
	16	日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	17	日常の業務における課題や反省点を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	18	利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	19	包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	20	利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	21	センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	

## 2 総合相談支援業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
高齢者の実態把握及び支援	22	個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。	◇新型コロナウイルス感染予防の為、地域での会合や民生委員等の活動も休止状況ではあるが、電話連絡での相談など、感染予防に努めながら継続的な連携を維持している。連携機関との情報共有については、電話やFAXのやり取りを中心にし、継続的に行っている。  ◆ケース会議を迅速に開催する事を優先し、会議への参加依頼や調整を行う。また、新型コロナウイルス感染予防の為、個別ケア会議への開催に繋がっていないケースが多くあったので、感染予防に十分に注意しながら、リモートでの開催等についても検討していく。
	23	相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。	
	24	定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。	
	25	適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。	
	26	相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。	
	27	専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。	
		数字を入力 新規相談件数 相談延べ件数	
支援を要する高齢者の早期発見に関する取組	28	関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。	◇新型コロナウイルス感染予防の為、関係機関との連携についても対面での対応は休止している。会議等の開催も行われず、電話連絡等での対応を行っている。  ◆
	29	関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。	
	30	パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。	

### 3 権利擁護業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
権利擁護全体	31 弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇個別ケース対応の件で増井弁護士や安藤行政書士らと連携し、任意後見、法定後見、代理人契約等に対応をしている。  ◆個別・圏域ケア会議に多職種の方の参加を促すなかで、法律系専門職種の方に声を掛けられる関係性の構築を目指していく。	
	32 個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。	<input type="checkbox"/>		
	数字を入力			
	法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数	0		回
法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数	0	回		
成年後見制度の利用支援と普及	33 高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇毎週のケースカンファレンスの際権利擁護が含まれるケースについては社会福祉士が助言や状況により同行するなど対応ケースに漏れがないよう心がけている。 二人体制で対応することで、より多角的なものの見方が実践できている。  ◆（コロナ禍終息後は）ミニ講話、サロンなどは地域の方たちと協議しながら新しい日常に沿った内容を検討し開催を目指していく	
	34 本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	35 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。	<input type="checkbox"/>		
	数字を入力			
成年後見にかかわる相談件数	13	件		
成年後見にかかわる講座等の実施回数	0	回		
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応	36 関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇市、警察、消防、医療機関、居宅介護支援事業所などからの相談に対し即行動をとれている。民生委員などの地域の方からの相談の際は個別ケース対応をもとに連携し顔の見える関係作りに努めている。  ◆	
	37 県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力			
高齢者虐待にかかわる相談件数	17	件		
消費者被害の防止に関する対応	38 地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。	<input type="checkbox"/>	◇地域に向けた発信は今年度休止状態である、（2/17消費者詐欺にかかる講座を声子地区で開催予定であったが中止に） 個別ケース対応については案件の内容により相当の機関につなぐような助言を行っている。 消費生活センターに定期的に訪問し新しいチラシやパンフレットなどの啓発ツールを確認し、センターに掲示している。	
	39 消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力			
消費者被害にかかわる相談件数	4	件		
消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数	0	回		

#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
生活環境変化等への対応	40	サービス担当者会議の開催を支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	41	利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力 サービス担当者会議開催支援件数 <input type="text" value="3"/> 件 医療機関とのカンファレンスの件数 <input type="text" value="3"/> 件		◆
介護支援専門員の支援	42	介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	43	上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。	<input type="checkbox"/>
	44	困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	45	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 <input type="text" value="1"/> 回 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 <input type="text" value="7"/> 人		◇コロナウイルス感染予防の為、年間2回を予定していたケアマネとの交流会については前期の一回は中止をした。12/16「新型コロナウイルスの正しい知識を再確認しよう！」健康づくり課の保健師に講義を依頼し、ケアマネとの交流会を開催した。困難ケースの対応等、ケアマネからの相談には同行訪問等迅速に対応している。  ◆年間2回の交流会の開催については次年度も継続できるように、リモートでの開催についても考慮していく。
関係機関相互の連携体制の構築	46	民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	47	関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力 運営推進会議への出席回数 <input type="text" value="12"/> 回		◇前期はコロナウイルス感染予防の為、民生委員等との情報交換や、関係機関との研修や会合も中止されたため、参加できていなかったが、運営推進会議についても書面で開催している事業所もあり、随時対応している。  ◆リモートでの研修開催も企画されている為、新しい生活様式に沿って連携強化を行っていく。
社会資源の把握・活用・開発	48	地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	49	把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。	<input type="checkbox"/>
	50	新たな社会資源の開発に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>
地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用	51	自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	52	個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。	<input type="checkbox"/>
	53	圏域ケア会議を計画的に開催している。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 <input type="text" value="1"/> 件 個別ケア会議 実施回数 <input type="text" value="1"/> 回 うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 <input type="text" value="0"/> 回 圏域ケア会議 実施回数 <input type="text" value="0"/> 回 うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 <input type="text" value="0"/> 回		◇自立支援ケア会議についてもコロナウイルス感染予防の為、最低2名の職員はZoomでの会議参加を行った。個別ケア会議の開催についてはコロナウイルス感染予防の為、1回のみで開催となった。  ◆個別ケア会議の対象であるケースではあるが、緊急介入を必要とするケースもあり、会議開催に至らないことも多くなってしまった。次年度は、個別ケア会議の開催を多く持つことで、地域課題の抽出が行えるように対応して行く。
	54	高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
数字を入力 情報発信・講座等の実施回数 <input type="text" value="1"/> 回		◇幸地区民生委員を対象に、コロナ禍での訪問活動、サロン活動について、健康づくり課保健師より講義を受け、質疑応答を行う勉強会を行った。幸地区住民へ「小田原小唄体操」の紹介を行ったリーフレットの配布や、自宅で行える事をまとめたプリントの配布を行った。 ◆コロナウイルス感染予防を行いながら、開催方法を検討する。	

## 5 認知症総合支援事業

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
認知症の正しい知識の普及と啓発	55	認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。	◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 ◇コロナウイルス感染予防のため、認知症サポーター養成講座の開催は中止となり、依頼はなかった。認知症ケアパスのリーフレットは、認知症の相談があった時には必ず使用し、説明を行っている。
	56	認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。	
	数字を入力 認知症サポーター養成講座開催回数		
		認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く）	0 回
認知症の人とその家族に対する支援	57	認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。	◇認知症初期集中支援事業に相談する前に病院受診に繋がるケースが殆どであったが、かかりつけ医と専門医との連携確認の為、事例の提出を行った。
	58	認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。	
	59	認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。	
	数字を入力 認知症初期集中支援事業 提出事例件数		

## 6 介護予防ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明	60	職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。	◇地域住民に集まってもらい、話をする機会が持てなかったため、周知・説明できる機会が持てなかった。
	61	総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。	
適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成	62	本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。	◇本人、家族との相談を感染予防に努めながら対面で行い、課題を見極められるようにしている。通所サービスCについては通える範囲に施設が無い為、調整できていない。
	63	高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。	
	64	総合事業（通所型サービスC）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。	
	65	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。	
	数字を入力 介護予防サービス計画件数		
		うち再委託件数	63 件
		介護予防ケアマネジメント件数	108 件
		うち再委託件数	40 件

# 地域包括支援センター運営事業の評価表

地域包括支援センター名：はくおう

記入者名：関根 健志

## 1 地域包括支援センターの運営体制

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等											
人員体制の確保	1	職員の配置基準を満たしている。	◇											
		数字を入力 ア 保健師・看護師 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td><td>人</td></tr></table> イ 社会福祉士 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td><td>人</td></tr></table> ウ 主任介護支援専門員 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td><td>人</td></tr></table> エ 介護支援専門員 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>1</td><td>人</td></tr></table> オ その他 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>0</td><td>人</td></tr></table> ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>2.8</td><td>年</td></tr></table>	1	人	1	人	1	人	1	人	0	人	2.8	年
1	人													
1	人													
1	人													
1	人													
0	人													
2.8	年													
24時間体制の確保	2	緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。												
職員の資質向上	3	市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。	◇法人主催の研修・勉強会はZOOMで開催している。 (3) 4/11包括職員初任者研修（1名） 7/29認知症初期集中支援チーム員伝達研修（1名） 8/21認知機能評価研修（1名） 10/15地域包括支援センター管理者研修（1名） 10/23疾患別ケアマネジメント研修会（1名） 11/4地域包括支援センター職員等養成研修【初任者】（1名） 11/6地域包括支援センター職員等養成研修【初任者】（1名） 11/21特定事業所合同研修会（2名） 11/26疾患別ケアマネジメント研修会（2名） 12/8オクツ薬局情報交換会（1名） 12/11認知症疾患医療センター研修会（1名） 1/29地域包括支援センター職員研修（全体研修）（4名） 2/22地域包括支援センター職員等養成研修（4名） 3/4多職種共同研修（1名） 3/11福祉関係者が知っておきたい成年後見制度（3名） 3/24OHMY研修会（2名） 3/29認知症を考える会（1名）											
	4	運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。												
	5	研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。												
	6	研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。												



## 2 総合相談支援業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
高齢者の実態把握及び支援	22	個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	23	相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	24	定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	25	適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	26	相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	27	専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 新規相談件数		304 件	◇ (22) コロナウィルス感染拡大の影響で中止になっている地域活動が多く、地域活動を通しての実態把握は前年度に比べて行えていない。 (24) 総合相談の対象者で介護サービスにつながっていない人については月間ミーティングで必要性を検討し、定期モニタリングなどの対応を実施している。 (25) 要介護認定を受けて包括の担当を離れた人、施設入所した人について、後追いの実態把握を行っている。 (26) 総合相談について毎日の朝礼の中で医療、権利擁護、介護サービスへのつなぎ、ケアマネ支援などの見立てを行い、センター内で共有している。 (27) 個別ケア会議7件開催。 ◆ (22) 地域活動中断中のため住民の情報を拾い上げにくくなっている。コロナ禍での情報収集の方法を検討する必要がある。 (27) 個別ケア会議の資料作成が会議に追いつかず、参加者との情報共有が不足する場合がある。
相談延べ件数		796 件		
支援を要する高齢者の早期発見に関する取組	28	関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	29	関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	30	パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
			◇ (28) (30) ケアマネ交流会(茶つと会)、個別ケア会議、圏域ケア会議などを通して他職種との連携の場を持つようになっているが、今年度はコロナ禍のためケアマネ交流会は未実施。包括だよりを作成し包括の取り組みなどの情報提供をしている(3回発行)。 圏域内の病院、薬局、事業所、自治会、民生委員などへセンターのパンフレットや包括だよりを配布している。 ◆ (28) (30) パンフレットを配架してもらえる協力機関を増やし、包括センターの周知を強化する。	

## 3 権利擁護業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
権利擁護全体	31	弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	32	個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数		2 回
法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数		0 回	

成年後見制度の利用支援と普及	33	高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇(34) 市長申し立ての必要性がある場合は、高齢介護課担当ケースワーカーと適宜連携をとっている。 (35) 包括だよりを活用し成年後見制度についての講座の依頼を呼び掛けている。 ◆(35) 成年後見制度についての講座依頼件数を増やす。
	34	本人や親族が申し立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	35	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力				
		成年後見にかかわる相談件数		3 件	
		成年後見にかかわる講座等の実施回数		0 回	
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応	36	関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇(36) ケアマネジャー、医療機関等、虐待に理解のある関係機関からの虐待通報を受けることが多く、早期発見早期対応ができています。 ◆(37) 終結に至らないケースが多く、対応継続中のケースが増えている。
	37	県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力				
		高齢者虐待にかかわる相談件数		14 件	
消費者被害の防止に関する対応	38	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇(38) 包括だよりを活用し消費者被害防止の啓発活動を行っている。 ◆(38) 地域に講座開催をアピールして消費者被害に関わる講座の開催件数を増やしていく。
	39	消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力				
		消費者被害にかかわる相談件数		0 件	
		消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数		0 回	

#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

項目	評価の目安			今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
生活環境変化等への対応	40	サービス担当者会議の開催を支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇(40) 書面での会議や参加人数を減らして開催するなど、コロナ禍に配慮した会議を行っている。 ◆	
	41	利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力				
	サービス担当者会議開催支援件数				34 件
		医療機関とのカンファレンスの件数		19 件	
介護支援専門員の支援	42	介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。	<input type="checkbox"/>	◇(42) 毎年継続して市内同法人包括合同での介護支援専門員を対象とした交流会(茶っと会)を開催しているが、今年は新型コロナウイルスの影響により未実施。 (43) 年度当初に開催回数は決めるが、ケアマネジャーのニーズを反映した内容等を含む計画は示せていない。 ◆委託ケース、要介護プランの個別ケア会議ケースを増やし、ケアマネとの関係性を強化していく。	
	43	上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。	<input type="checkbox"/>		
	44	困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	45	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力				
		介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数		0 回	
		研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数		0 人	



関係機関相互の連携体制の構築	46	民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ (46) 山王地区民生委員と2か月ごとの情報交換の場を設けている。「包括だより」を作成(年2回)し新人包括職員の紹介、専門職の役割の紹介、出前講座依頼の募集などを掲載し地域へのアピールを行った。  ◆
	47	関係機関(三師会等)が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力				
社会資源の把握・活用・開発	48	地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ (48)(49) 地域活動に参加し活動状況を把握して「おたすけ帳」の更新を行っているが、新型コロナウイルスの影響で地域の活動が休止しているため、活動状況の把握が行えていない。  ◆ (48)(49) 地域活動の再開状況を把握しておたすけ帳の更新を行う。
	49	把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	50	新たな社会資源の開発に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用	51	自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ (53) 圏域ケア会議を年3回予定していたが、新型コロナウイルスの影響で今年度は未実施。  ◆
	52	個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	53	圏域ケア会議を計画的に開催している。	<input type="checkbox"/>		
	数字を入力				
自立支援ケア会議 事例提出件数				7	回
個別ケア会議 実施回数				1	回
うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数				0	回
圏域ケア会議 実施回数				0	回
うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数				0	回
介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発	54	高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ (54) 足柄いきいき健康教室(10/21、12/9)、よってこ新玉(11/2)での体操教室を実施。包括だよりを活用し講話依頼の募集を行った。  ◆ (54) 新たな講話の場を増やせるように、包括だよりを活用して地域へアピールしていく。
	数字を入力				
情報発信・講座等の実施回数				3	回

## 5 認知症総合支援事業

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
認知症の正しい知識の普及と啓発	55	認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。	◇ (55) 新型コロナウイルスの影響により出前講座は行えていない。 ◆ (55) 出前講座の依頼が来るように、包括だよりを活用して地域へアピールしていく。	
	56	認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。		
	数字を入力			0 回
	認知症サポーター養成講座開催回数 認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く）			0 回
認知症の人とその家族に対する支援	57	認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。	◇ (59) 地域の医療機関との連携体制が構築できており早期に受診につなげることができているため、認知症初期集中支援事業に該当するケースがない。	
	58	認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。		
	59	認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。		
	数字を入力 認知症初期集中支援事業 提出事例件数			0 件

## 6 介護予防ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明	60	職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。	◇ ◆
	61	総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。	
適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成	62	本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。	◇ ◆
	63	高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。	
	64	総合事業（通所型サービスC）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。	
	65	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。	
	数字を入力		
介護予防サービス計画件数		74 件	
うち再委託件数		124 件	
介護予防ケアマネジメント件数		64 件	
うち再委託件数			

# 地域包括支援センター運営事業の評価表

地域包括支援センター名：じょうなん

記入者名：加藤 大

## 1 地域包括支援センターの運営体制

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
人員体制の確保	1	職員の配置基準を満たしている。 数字を入力 ア 保健師・看護師 イ 社会福祉士 ウ 主任介護支援専門員 エ 介護支援専門員 オ その他 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入）	<input checked="" type="checkbox"/> 1人 1人 2人 0人 0人 11.8年	◇(1) 職員の交代はなく、配置基準を満たしている。 ◆
	24時間体制の確保	2	緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/> 時間外の対応については、相談の電話は、まず施設の当直者が受付し、包括管理者に連絡する。その後の対応は管理者が責任をもって行う。
職員の資質向上	3	市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇(3) 事業所のインターネット環境を整備し、主にWeb上での研修に参加している。10月15日包括管理者研修、10月23日ケアプラン点検研修、11月26日介護従事者医療連携研修、11月30日地域共生社会づくり研修、12月4日在宅医療トレーニング研修、12月11日認知症疾患医療センター研修、1月7日かながわ認定取得支援セミナー、1月29日包括職員研修、2月4日認知症・精神疾患研修、3月11日任意後見セミナー、3月15日ケアプラン点検説明会。(4) 6月9日・7月28日、包括内研修、11月27日・2月24日法人内研修（メンタルヘルス、職場の環境改善） ◆インターネット環境を充実させ、各職員がさらにWeb研修や会議に参加しやすくしていく。
	4	運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	5	研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	6	研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。	<input type="checkbox"/>	
	数字を入力 研修参加回数	15	回	
個人情報の保護	7	個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇(7・8・9) 個人情報の保護については、マニュアルを遵守し、鍵付きキャビネットに保管している。持ち出しの際は、記録簿に記入している。(10) 個人情報の使用に関しては、使用同意書を作成し、同意を得ている。 ◆引き続き個人情報の取り扱いに注意を払っていく。
	8	個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	9	職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	10	関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化	11	包括センターで3職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇(11・12・13) 毎朝ミーティングを行い、情報共有に努めている。困難ケース等については、必要時に話し合いを行い、主担当のみが負担を負わないように配慮している。月1回センター内会議を行い、各部署の活動状況や包括全体の活動状況、困難ケースの進捗状況などを共有している。 ◆メンター制度の開始に伴い、要請があった時はメンターを担当し、包括職員の定着とスキルアップに貢献していく。
	12	包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	13	ケースごとに主担当を決め、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	14	各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	

運営状況の評価と業務改善への取組	15	実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>◇(15・16・17)市への提出書類は、全て期日までに提出している。日常の業務内容については管理者が把握し、必要に応じて話し合いをしている。(18・19)6月末から7月にかけて、電話により民生委員に困りごとや要望の聞き取りを行った。7月15日・10月27日居宅ケアマネジャーとの交流会を開いた際に要望の聞き取りを行った。(20)苦情に関する記録簿を作成し、必要時は市へ報告する体制をとっている。</p> <p>◆運営状況を客観的に把握するために、利用者や関係団体の意見などを聴取する機会を増やすように努める。</p>
	16	日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスをを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	17	日常の業務における課題や反省点を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	18	利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	19	包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	20	利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	21	センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	

## 2 総合相談支援業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
高齢者の実態把握及び支援	22	個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>◇(22)個別相談や実態把握のための訪問は、コロナウイルスの別なく必要時に行っている。9月23日はやか輪サロンおちゃのま、9月25日十字地区ふれあいサロン、11月18日風祭いきいきクラブに参加し実態把握に努めた。(26)相談内容や支援経過は市のシステムに記録し、センター内ならびに市職員とも情報共有をしている。(27)専門的・継続的な関与が必要なケースについては、個別ケア会議を積極的に行っている。</p> <p>◆コロナウイルスの状況に注意しながら地域活動などへ参加し、高齢者などの実態把握に努めていく。</p>
	23	相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	24	定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	25	適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	26	相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	27	専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
		数字を入力 新規相談件数	228 件	
	相談延べ件数	1244 件		
支援を要する高齢者の早期発見に関する取組	28	関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>◇(28)6月末から7月にかけて、園城の民生委員に対して電話による聞き取り調査を行い、支援を要する高齢者の実態把握をした。(29)9月23日はやか輪サロンおちゃのま、9月25日十字地区ふれあいサロン、11月18日風祭いきいきクラブに参加し情報収集に努めた。11月20日・12月10日早川まちづくり委員会に出席し、各団体の活動状況の報告と今後の活動についての意見交換を行った。</p> <p>◆コロナウイルスの状況に注意しながら、参加可能な関係機関の会合に出席していく。</p>
	29	関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	30	パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	

### 3 権利擁護業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
権利擁護全体	31	弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	32	個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力			
	法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数		4 回	
法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数		0 回	◇(31・32) 個別ケースを通して、法律専門職との連携を行っている。個別ケア会議において、成年後見制度等が必要なケースについては法律専門職が参加している。 ◆コロナウイルスに注意しながら圏域ケア会議が開催できるように準備し、必要に応じて法律専門職の参加を要請していく。	
成年後見制度の利用支援と普及	33	高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	34	本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	35	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力			
成年後見にかかわる相談件数		6 件	◇(33・34) 法律専門職と連携して、任意後見や法定後見が必要なケースの支援を行っている。(35) 3月23日早川のマンション住人に対して成年後見制度の講話を実施。 ◆コロナウイルスの状況に注意しながら、成年後見制度の講座などの啓発活動を行うように取り組んでいく。	
成年後見にかかわる講座等の実施回数		1 回		
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応	36	関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>
	37	県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。		<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力			
高齢者虐待にかかわる相談件数		10 件	◇(36・37) 市と協力して、介護負担が想定されるケース(要介護認定を受けていて、最近1年間サービス未利用の方)を抽出し実態把握の調査を行った。(20名を調査し、うち2名に介護負担ありと判断) ◆市と協力して、虐待防止につながる取り組みを行っていく。	
消費者被害の防止に関する対応	38	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	39	消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力			
	消費者被害にかかわる相談件数		0 件	◇(38) 9月23日はやか輪サロンおちゃのみ、9月25日十字地区ふれあいサロン、11月18日風祭いきいきクラブにおいて消費者被害防止に関する講座を行った。 ◆サロンなどに参加して、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っていく。各家庭の訪問時に、消費者被害の注意喚起を行い、被害を未然に防ぐように努める。
消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数		3 回		

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
生活環境変化等への対応	40	サービス担当者会議の開催を支援している。	◇(40) 利用者の意向にケアマネジャーが振り回されたケースについて、サービス担当者会議開催支援を行った。(41) 入退院時に病院やケアマネジャーとの連携を図る支援は、必要に応じて行っている。 ◆各医療機関との連携がスムーズに行えるように、日常的にMSWなどとの関係強化に努める。
	41	利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。	
	数字を入力		
	サービス担当者会議開催支援件数	1 件	
医療機関とのカンファレンスの件数		7 件	
介護支援専門員の支援	42	介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。	◇(42) 7月15日・10月27日圏域内居宅介護支援事業所のケアマネジャーと情報交換の場を設けた。(44・45) 普段の業務に於いて、ケアマネジャーからの相談に対して、助言や同行訪問等の支援を行っている。ケアマネジャーからの相談事例については相談日や項目を分類して記録している。 ◆ケアマネジャーとの情報交換や研修については、コロナウイルスの状況に注意しながら、開催計画を示したうえで実施できるように準備していく。
	43	上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。	
	44	困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。	
	45	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。	
	数字を入力		
介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数	2 回		
研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数		11 人	
関係機関相互の連携体制の構築	46	民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。	◇(46) 6月末から7月にかけて圏域の民生委員に電話による聞き取り調査を行い、民生委員の活動状況などを把握した。後期に研修を検討したがコロナウイルスにより断念した。関係機関の運営推進会議については全て書面での開催となっている。 ◆民生委員等と研修の場を持てるように準備していく。運営推進会議には必ず参加して、連携強化を図るようにしていく。
	47	関係機関(三師会等)が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。	
	数字を入力		
運営推進会議への出席回数		16 回	
社会資源の把握・活用・開発	48	地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。	◇(48) 9月23日はやか輪サロンおちゃのみ、9月25日十字地区ふれあいサロン、11月18日風祭いきいきクラブに参加し社会資源の情報を把握した。 ◆地域の社会資源を把握し、情報をまとめ、関係機関等に提供できるように努める。
	49	把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。	
	50	新たな社会資源の開発に努めている。	
地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用	51	自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。	◇(51・52) 自立支援ケア会議に事例を提出し、アドバイスを今後の支援に生かすように努めている。困難事例など、個別ケア会議が必要なケースについては、積極的に会議を行うように努めている。(53) コロナウイルスの影響で、圏域ケア会議は開催できていない。 ◆個別ケア会議については、必要なケースについて随時開催していくようにする。圏域ケア会議については、コロナウイルスの状況に注意しながら、圏域の各地区で開催できるように準備していく。
	52	個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。	
	53	圏域ケア会議を計画的に開催している。	
	数字を入力		
自立支援ケア会議 事例提出件数	2 件		
個別ケア会議 実施回数	8 回		
うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数	2 回		
圏域ケア会議 実施回数	0 回		
うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数	0 回		
介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発	54	高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	◇(54) 9月25日十字地区ふれあいサロンに参加し、介護保険制度の概念や自立支援、健康維持の大切さなどについての講話を行った。11月18日風祭いきいきクラブに参加し、セルフプランのワークショップを行った。 ◆サロンなどに参加した際に、介護予防や自立支援に向けた啓発が行えるように講座の内容を増やしていく。
	数字を入力		
情報発信・講座等の実施回数		2 回	

## 5 認知症総合支援事業

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
認知症の正しい知識の普及と啓発	55	認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。	◇(55・56) コロナウイルスの影響で、サポーター養成講座や啓発活動は行っていない。相談業務時に認知症ケアパスを活用している。 ◆サポーター養成講座については、要請があれば開催できるように準備しておく。
	56	認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。	
	数字を入力		
	認知症サポーター養成講座開催回数	0 回	
認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く）		0 回	
認知症の人とその家族に対する支援	57	認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。	◇(57・58) 認知症の相談に対して、早期受診につながるよう医療機関の紹介や小田原家族会の周知などの支援を行っている。(59) 認知症初期集中支援事業に事例を提出し、円滑な支援につながるよう努めている。 ◆認知症の相談に対して、早期受診の支援を行うとともに、必要時は認知症初期集中支援事業を活用するよう努める。
	58	認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。	
	59	認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。	
	数字を入力		
認知症初期集中支援事業 提出事例件数		2 件	

## 6 介護予防ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明	60	職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。	◇(60) 総合事業についての理解を深め業務を行っている。 ◆総合事業については、地域や住民同士による支えあいが広がるよう取り組んでいく。
	61	総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。	
適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成	62	本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。	◇(62・63) 自立支援につながるようなアセスメントを行ったうえで計画作成を行っている。(65) 支援開始時点で、出来るだけケアマネジャーに聞かせてもらい、介護予防プランの委託につながるよう努めている。その際は、公正中立の立場を守っている。 ◆丁寧なアセスメントによるケアプランのもとで、介護保険サービスやインフォーマルサービスを組み合わせたマネジメントが行えるよう努めるとともに、居宅介護支援事業所への再委託を促進していく。
	63	高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。	
	64	総合事業（通所型サービスC）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。	
	65	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。	
	数字を入力		
介護予防サービス計画件数	134 件		
うち再委託件数	57 件		
介護予防ケアマネジメント件数	127 件		
うち再委託件数	35 件		

# 地域包括支援センター運営事業の評価表

地域包括支援センター名：はくさん

記入者名：青木 薫子

## 1 地域包括支援センターの運営体制

項目	評価の目安		評価	◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
人員体制の確保	1	職員の配置基準を満たしている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◆4月から介護支援専門員が1名入社し、プランナーとして積極的に包括で要支援認定者のプランを作成することができた。
	数字を入力 ア 保健師・看護師 <input type="text" value="1"/> 人 イ 社会福祉士 <input type="text" value="1"/> 人 ウ 主任介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 エ 介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 オ その他 <input type="text" value="0"/> 人 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） <input type="text" value="2.8"/> 年			
24時間体制の確保	2	緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
職員の資質向上	3	市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇法人主催の研修・勉強会はZOOMで開催した。 (3) 4/7新人研修（1名） 7/29初期集中説明会（1名） 10/18管理者研修（1名） 11/7-8認知症初期支援チーム員研修（1名） 11/12R2相談支援事業について（1名） 11/17ピアサアサポーターと考える地域づくり（1名） 11/18ケアプラン点検（1名） 11/20地域共生社会づくり研修会（1名） 1/29対人援助技術（4名） 2/27地域包括支援センター職員等養成研修（1名） 3/17ひきこもりを考える（2名） 3/18ギャンブル依存症について（3名） (4) 6/11医療知識研修会（1名） 7/10プライバシー保護の取り組み（2名） 7/16包括社会福祉士勉強会（1名） 8/3市内同法人包括合同研修会（4名） 9/25ケアマネジメント記録勉強会（1名） 12/18ケアマネジメント記録勉強会（1名） 1/15認知症及び認知症ケア（1名） 3/18包括社会福祉士勉強会（1名） ◆来年度もZOOMを活用して参加をする。
	4	運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	5	研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	6	研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力			
	研修参加回数		17 回	
個人情報の保護	7	個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (9) 個人情報持ち出し管理簿は使用していないが、スケジュール管理表で把握している。 ◆
	8	個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	9	職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	10	関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	



チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化	11	包括センターで3職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。	✓	◇(11)～(13) ケースによっては2名で初回訪問を行い、アセスメントや支援方針を共有できる体制をとっている。 朝礼や包括MTG以外に、緊急性のあるケースは全員で検討する時間を設けている。 ◆
	12	包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。	✓	
	13	ケースごとに主担当を決め、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。	✓	
	14	各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。	✓	
運営状況の評価と業務改善への取組	15	実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。	✓	◇ (15) 適宜、期日までに必要な書類の提出および報告を行っている。 (20) 「苦情」については社内マニュアルにそって対応をする。 (21) センター職員全員で協議作成したのち、法人スーパーバイザーが確認する体制となっている。 ◆
	16	日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。	✓	
	17	日常の業務における課題や反省点を把握している。	✓	
	18	利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。	✓	
	19	包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。	✓	
	20	利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。	✓	
	21	センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。	✓	

## 2 総合相談支援業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
高齢者の実態把握及び支援	22	個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。	✓	◇民生委員、住民、病院等からの情報提供に対し、状況に応じた連携や支援を積極的に行う。 個別相談や実態把握において電話対応だけでなく自宅に訪問することで生活全体を視野にいれたアセスメントを行い、状況に応じた連携や支援を行う。 ◆新型コロナウイルスのため、積極的に地域活動参加が今年度はできなかったため、次年度は状況を鑑みながら参加の検討をしていく。
	23	相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。	✓	
	24	定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。	✓	
	25	適切な機関に引き継いだ後の状況確認までを行っている。	✓	
	26	相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。	✓	
	27	専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。	✓	
	数字を入力 新規相談件数		270 件	
相談延べ件数		2206 件		
支援を要する高齢者の早期発見に関する取組	28	関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。	✓	◇ (28) 民生委員との定期的な懇談会(お茶会)の実施。 (30) 各関係機関へ包括だよりを配布しセンター周知を促進している。 ◆
	29	関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。	✓	
	30	パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。	✓	

### 3 権利擁護業務

項目	評価の目安			◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
権利擁護全体	31	弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (31) ケースに応じて法律専門職に随時相談ができる体制になっている。 ◆	
	32	個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。	<input type="checkbox"/>		
	数字を入力				
	法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数		0		回
法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数		0	回		
成年後見制度の利用支援と普及	33	高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (33) (34) 成年後見制度の相談における本人、関係者の支援。専門職との連携を行い、「市長申し立て」のケースについては、市役所および関係者と連携し支援している。 ◆	
	34	本人や親族が申し立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申し込みにつなげられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	35	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力				
成年後見にかかわる相談件数		36	件		
成年後見にかかわる講座等の実施回数		0	回		
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応	36	関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (37) 虐待ケースについては「高齢者虐待マニュアル」に沿って関係者で連携を図り迅速に対応している。 ◆	
	37	県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力				
高齢者虐待にかかわる相談件数		14	件		
消費者被害の防止に関する対応	38	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇民生委員との定期的な懇談会(お茶会)で情報提供を行った。 ◆	
	39	消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。	<input type="checkbox"/>		
	数字を入力				
消費者被害にかかわる相談件数		2	件		
消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数		0	回		

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
生活環境変化等への対応	40 サービス担当者会議の開催を支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (40) (41) 利用者の健康状態や環境変化、入退院時等の状況で必要時には担当ケアマネジャーが開催するサービス担当者会議に参加するようにしている。 ◆
	41 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 サービス担当者会議開催支援件数 <input type="text" value="3"/> 件 医療機関とのカンファレンスの件数 <input type="text" value="8"/> 件		
介護支援専門員の支援	42 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (42) 毎年継続して市内同法人包括合同での、介護支援専門員を対象とした交流会「茶つと会」を開催しているが、今年は新型コロナウイルスの影響でまだ実施できていない(年2回予定)。 (43) 年度当初に開催回数は決めるが、ケアマネジャーのニーズを反映した内容等を含む計画は示せていない。 ◆ ◆新型コロナウイルスのため、今年度はできなかったため、次年度は状況を鑑みながら開催を検討する。
	43 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。	<input type="checkbox"/>	
	44 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	45 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 <input type="text" value="0"/> 回 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 <input type="text" value="0"/> 人		
関係機関相互の連携体制の構築	46 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (46) 毎月継続して民生委員との交流会「お茶会」を行い双方の情報を共有している。今年度は民生委員を対象に「勉強会」を開催した。(10/20, 11/16) ◆
	47 関係機関(三師会等)が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 運営推進会議への出席回数 <input type="text" value="6"/> 回		
社会資源の把握・活用・開発	48 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (49) 社会資源情報、社会資源マップを掲載した各圏域の「おたすけ帳」を毎年更新し全民生委員へ配布した。(年1回) ◆
	49 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	50 新たな社会資源の開発に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用	51 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (51) 自立支援ケア会議を通じて「自立支援」の視点にたったケアマネジメントを常に意識するように心がけている。 新型コロナウイルスのため、年度後半に予定をしていた圏域会議は開催できなかった。個別ケア会議はZOOMを使うなどして実施できた。 ◆
	52 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	53 圏域ケア会議を計画的に開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 <input type="text" value="3"/> 件 個別ケア会議 実施回数 <input type="text" value="4"/> 回 うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 <input type="text" value="1"/> 回 圏域ケア会議 実施回数 <input type="text" value="1"/> 回 うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 <input type="text" value="1"/> 回		
	介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発	54 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	
数字を入力 情報発信・講座等の実施回数 <input type="text" value="2"/> 回			

### 5 認知症総合支援事業

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
認知症の正しい知識の普及と啓発	55	認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。	◇ (55) 新型コロナウイルスの影響で積極的な啓発活動ができなかった。認知症ケアパスは、相談業務時などに活用している。  ◆地域での認知症サポーター養成講座を来年度は開催方法を検討したい。
	56	認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。	
	数字を入力		
	認知症サポーター養成講座開催回数	0 回	
認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く）		0 回	
認知症の人とその家族に対する支援	57	認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。	
	58	認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。	
	59	認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。	
	数字を入力		
認知症初期集中支援事業 提出事例件数		0 件	

### 6 介護予防ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明	60	職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。	◇ (60) (61) 包括内で制度理解に努め、対象者や支援者に周知・説明を行えるようにしている。 ◆
	61	総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。	
適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成	62	本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。	◇ (62)～(65) 相談者の相談内容に対して多面からのアセスメントを行い、必要に応じた介護保険やインフォーマルサービスの利用を提案。 再委託に関しては、本人や支援者の希望およびケースの内容によって公平・中立な視点に基づいて委託を行っている。  ◆
	63	高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。	
	64	総合事業（通所型サービスC）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。	
	65	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な視点に基づき適正に実施している。	
数字を入力			
介護予防サービス計画件数		183 件	
うち再委託件数		89 件	
介護予防ケアマネジメント件数		92 件	
うち再委託件数		40 件	

# 地域包括支援センター運営事業の評価表

地域包括支援センター名：ひがしとみず

記入者名：奥津 美恵

## 1 地域包括支援センターの運営体制

項目	評価の目安		◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
人員体制の確保	1	職員の配置基準を満たしている。	<input checked="" type="checkbox"/>
		数字を入力	
		ア 保健師・看護師	1 人
		イ 社会福祉士	1 人
		ウ 主任介護支援専門員	1 人
		エ 介護支援専門員	1 人
	オ その他		
	ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入）		4 年
	◆令和3年4月末で看護師一名の退職が決まっている。退職するまでに引き継ぎを実施したいと考えている。		
24時間体制の確保	2	緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	各自法人貸与の携帯電話を所持している為緊急時の連絡体制は整っている。		
職員の資質向上	3	市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	4	運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。	<input checked="" type="checkbox"/>
	5	研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	6	研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。	<input checked="" type="checkbox"/>
		数字を入力	
		研修参加回数	39 回
	◆（3）コソナ禍により参加型の研修は中止が相次ぎ例年の通りに参加はできなかったが、市開催の初任者研修及び認知症初期集中支援研修については参加できた。また、法人内で各種研修をYouTubeにアップしてあり、適宜各自で視聴した。法人内の事例検討会も7月から月1回オンラインにて実施している。その他オンライン参加での研修には積極的に参加している。		
	◆（3）次年度以降新型コロナの感染状況によっては、集合研修の開催は困難となることが予測されるが、各自インターネット接続可能なパソコンが貸与されていること、法人貸与の携帯にもZOOMアプリをダウンロードしてあるためオンラインでの研修には積極的に参加を考えている。		
個人情報の保護	7	個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	8	個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	9	職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	10	関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	◆（8・9）施錠ができるキャビネット等に利用者情報を保管し、持ち出す際には、個人情報持出管理表に記入し最小限の情報の持ち出しに努めた。		
	◆（8・9）今年度実施したことを次年度も継続する。		
チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化	11	包括センターで3職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	12	包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	13	ケースごとに主担当を決めたくうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	14	各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	◆（11～13）朝のミーティング時に各職員から申し送りがあり、センター内でケースの共有を行っている為担当職員が不在でも対応できる体制を整えている。1/7から緊急事態宣言が発出された為4名を2グループに分け出勤と在宅ワークと交互にしたが、毎日の電話での報連相と週1回のZOOMでの打ち合わせを実施しケースの共有を図った。		
	◆（11～13）R3.2月に新しいシステムを導入したため、各自が担当しているケースの支援経過等についてもタイムリーで他職員が閲覧可能となった。導入したばかりで入力がおいついていないが、次年度は円滑に運用できると考えている。		

運営状況の評価と業務改善への取組	15	実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。	✓	◇(18) コロナ禍で関係機関と十分な連携はとれていない為特に要望及び意見は今年度はなかったが、あった場合には運営業務に反映していきたい。 (20) 苦情対応については、以前より法人内での報告体制は整っている。今後対象の事案が発生した際には速やかに報告を行う。 (21) 活動計画及び評価については、全職員参加し聞き取りを行いながら作成している。  ◆市へ提出する書類については、提出期限を守るように努力しているが、書類不備により再提出もあるため、提出時に確認を行うようにする。
	16	日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。	✓	
	17	日常の業務における課題や反省点を把握している。	✓	
	18	利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。	✓	
	19	包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。	✓	
	20	利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。	✓	
	21	センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。	✓	

## 2 総合相談支援業務

項目	評価の目安		◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
高齢者の実態把握及び支援	22	個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。	◇(22) コロナ禍で地域活動はほぼ活動中止であったが、毎月の民児協の会合に参加し情報収集を行い高齢者等の実態把握に努めた。 (23~25) 要支援から要介護になり引き継いだケースについての事後の確認はケアマネジャーへの配慮から最小限に留めている。その他、他機関に引き継いだケースにては、必要時に確認を行うなどしているが、先方からの報告が少ないと感じることも多々ある。 困難ケースの引継ぎに関しては、引き継いだ後も定期的にケアマネに状況確認を行い、必要時には支援を行う体制をとっている。 (27) 今年度は個別ケア会議は積極的に開催できたことと捉えている。 ◆(26) 相談内容の分類については今年度も実施できなかった。次年度はどのような方法で分類を行ったら経年的なデータとして残すことができるのか事業所内で話し合っ実施したいと考えている。
	23	相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。	
	24	定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。	
	25	適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。	
	26	相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。	
	27	専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。	
	数字を入力 新規相談件数 <span style="float:right">303 件</span> 相談延べ件数 <span style="float:right">1565 件</span>		
支援を要する高齢者の早期発見に関する取組	28	関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。	◇(30) 月1回の民児協の定例会に参加し高齢者の情報収集を行っている。また、パンフレットについては、圏域内の医療機関や薬局に名刺サイズの物を置き、包括の周知を行っている。2月には”かりがわだより”を発行し自治会に回覧してもらった。  ◆来年度は”かりがわだより”を定期的に発行し地域の高齢者等への情報提供を行っていきたくと考えている。
	29	関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。	
	30	パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。	

### 3 権利擁護業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
権利擁護全体	31	弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	32	個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力		
	法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数	1	回
法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数	0	回	
成年後見制度の利用支援と普及	33	高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	34	本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	35	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力		
成年後見にかかわる相談件数	8	件	
成年後見にかかわる講座等の実施回数	0	回	
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応	36	関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	37	県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力		
高齢者虐待にかかわる相談件数	5	件	
消費者被害の防止に関する対応	38	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。	<input type="checkbox"/>
	39	消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力		
消費者被害にかかわる相談件数	0	件	
消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数	0	回	

#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
生活環境変化等への対応	40	サービス担当者会議の開催を支援している。	<input type="checkbox"/>
	41	利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力 サービス担当者会議開催支援件数		0 件
	医療機関とのカンファレンスの件数		4 件
介護支援専門員の支援	42	介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。	<input type="checkbox"/>
	43	上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。	<input type="checkbox"/>
	44	困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	45	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数		1 回
研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数		10 人	
関係機関相互の連携体制の構築	46	民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	47	関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力 運営推進会議への出席回数		6 回
社会資源の把握・活用・開発	48	地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。	<input type="checkbox"/>
	49	把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。	<input type="checkbox"/>
	50	新たな社会資源の開発に努めている。	<input type="checkbox"/>
地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用	51	自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	52	個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	53	圏域ケア会議を計画的に開催している。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数		3 件
個別ケア会議 実施回数		6 回	
うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数		2 回	
圏域ケア会議 実施回数		0 回	
うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数		0 回	
介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発	54	高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力 情報発信・講座等の実施回数		2 回
			◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
			◇(41) コロナ禍で医療との連携特に病院との連携は面会禁止等で実施できない部分が多々あったが、電話や書面にて入退院時の調整を行った。  ◆病院からの退院相談については、ケースの応じて介護支援専門員や小規模多機能、施設等と連携し利用者が退院後の生活にスムーズに移行できるよう支援していく。
			◇(42) 前期に予定はしていたが、コロナの問題で開催することはできなかったが、今年度末にオンラインでの事例検討会を予定している。 (44) ケアマネからの相談に対して個別ケア会議の開催や同行訪問などケアマネ支援を行った。
			◆(43) 来年度は年度当初に居宅事業所向けに年間の研修計画を提示できるようにする。
			◇(46・47) 民生委員の定期的の会合には毎月参加し情報交換を行っている。医師会等の研修については、オンラインでの研修が開催されたが参加できなかった。しかし、医療関係機関とはケースを通じて連携を図ることはできている。 ◆(48) 今年度は民生委員向けの研修を1月に予定していたが、緊急事態宣言の発出により中止となった。その内容については次年度に持ち越し早期に実施できるようにする。
			◇コロナ禍で開催されていない為参加できていない。
			◆地域の関係機関の会合が開催されなかった為活動への参加はできなかったが、次年度は開催されなかった場合も考慮しどのようなアプローチをするか事業所内で検討する。
			◇(51) 今年度は2事例のケースを自立支援ケア会議に提出した。 (52) 個別ケア会議が必要なケースについては、関係者に参加してもらい意見交換及び支援の方向性を確認できたことで、問題の解決につなげることができた。 (53) 圏域ケア会議については、コロナ禍での開催方法を検討していたが再度緊急事態宣言が出た事で開催中止となった。
			◆(53) 圏域ケア会議については、2年連続で開催ができなかった為今年度の個別ケア会議のケースから導き出された地域の課題を中心とした圏域ケア会議を次年度は早期に開催を予定したい。
			◇コロナ禍でサロン等での普及啓発活動は実施できなかったが、“かりがわだより”の発行により情報発信は実施できた。  ◆次年度は、方法を検討しつつ積極的にアウトリーチを実施していく。



## 5 認知症総合支援事業

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
認知症の正しい知識の普及と啓発	55	認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。	◇ (55) コロナ禍で予定していた認知症サポーター養成講座が中止になったが、他包括が開催したオンラインでの講座の受講を経験した。  ◆ (55) 次年度は、コロナ禍でも開催できる方法としてオンラインも選択肢の一つとして準備をする。
	56	認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。	
	数字を入力 認知症サポーター養成講座開催回数 <input type="text" value="0"/> 回 認知症普及啓発に係る講座等開催回数 (認知症サポーター養成講座を除く) <input type="text" value="0"/> 回		
認知症の人とその家族に対する支援	57	認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。	◇ (57~59) 認知症の相談については、医療機関の紹介や家族会の紹介等を行っている。実際におだわら家族会に参加した介護者もいる。認知症初期集中支援事業については、下半期に1事例提出した。支援の終結に向けて今後も市・担当ケアマネと連携していく。  ◆ (59) コロナ禍で介護者が相談できる場が減少したり、引きこもりによる認知症状の悪化などが危惧される現状を考え、積極的に認知症初期集中支援事業の利用を検討していく。
	58	認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。	
	59	認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。	
数字を入力 認知症初期集中支援事業 提出事例件数 <input type="text" value="1"/> 件			

## 6 介護予防ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明	60	職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。	◇ (61) 包括として、可能な限りの周知及び説明は行っているが、地域住民の理解という点ではまだ十分とは言えない。  ◆
	61	総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。	
適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成	62	本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。	◇ (62・65) 本人や家族の意向を確認し専門的立場から課題を分析し必要なサービスにつなげている。地域のインフォーマルサービスを組み込んだプラン作成を行っている。再委託については、公平・中立な立場を保ちケースのよって本人・家族の意向を考慮し選択している。  ◆ (65) 次年度は再委託率UPを目指し、公平・中立な観点で居宅支援事業所へ委託依頼を行う。
	63	高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。	
	64	総合事業（通所型サービスC）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。	
	65	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。	
	数字を入力 介護予防サービス計画件数 <input type="text" value="116"/> 件 うち再委託件数 <input type="text" value="11"/> 件 介護予防ケアマネジメント件数 <input type="text" value="96"/> 件 うち再委託件数 <input type="text" value="10"/> 件		

7. その他

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
—	(活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) ・今まで、年数回高齢者が参加するイベントを企画したが、地域に密着した形ではなかった。今年度は、既存施設の「ふれあい処ひとやすみ」を活用し高齢者や子供が気軽に参加できる食堂を定期的に開催し、地域住民が集う居場所づくりに取り組む。	<input type="checkbox"/>	◇コロナ禍で足湯自体の営業もできていない状況であるが、10月より足湯を活用した地域住民に向けた活動についての話し合いが始まったが、再度の緊急事態宣言で話し合いも中断している状態である。  ◆次年度は感染予防を考慮した形での小規模な活動を模索していく。

# 地域包括支援センター運営事業の評価表

地域包括支援センター名：とみず

記入者名：若松 麗葉

## 1 地域包括支援センターの運営体制

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
人員体制の確保	1	職員の配置基準を満たしている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力		
	ア	保健師・看護師	1 人
	イ	社会福祉士	1 人
	ウ	主任介護支援専門員	1 人
	エ	介護支援専門員	1 人
オ	その他		人
ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入）		2	年
◆介護予防支援業務が増大傾向にある。 ◆人材発掘（後継者）が急務。			
24時間体制の確保	2	緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>
職員の資質向上	3	市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	4	運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。	<input checked="" type="checkbox"/>
	5	研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	6	研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力 研修参加回数		12
◆法人内の事例検討会に参加している。（11回） ◆オンライン研修に参加した。			
◆必要な研修を集中して受講できるようにするために環境整備する必要がある。			
個人情報の保護	7	個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	8	個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	9	職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	10	関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>
◆（7～10）管理手順は定期的な確認が必要。（風化防止）			
チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化	11	包括センターで3職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	12	包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	13	ケースごとに主担当を決め、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	14	各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。	<input type="checkbox"/>
◆（11～13）対応困難事例を中心にメインサブ担当制を取った。 ◆（12）終礼を可能な限り実施し、包括が対応しているケースの実情を共有している。 ◆令和3年2月に業務支援ソフト導入。			

運営状況の評価と業務改善への取組	15	実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。	<input type="checkbox"/>	◇事業計画作成は包括内ミーティングを行った上で確定している。 ◇苦情の受付体制は、法人の規定及び介護予防支援事業所の運営規定に則って行っている。
	16	日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。	<input type="checkbox"/>	
	17	日常の業務における課題や反省点を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	18	利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	19	包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。	<input type="checkbox"/>	
	20	利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	21	センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	

## 2 総合相談支援業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
高齢者の実態把握及び支援	22	個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇新型コロナ感染症拡大予防のため地域活動が休止中であるため、民児協等から吸い上げられた高齢者に対する個別訪問を行っている。 ◇地域に働きかける機会が激減している。 ◇相談内容の共有は図っているものの相談内容の分類が長年の課題のまま残っている。  ◆相談の集計や分類を踏まえた分析が必要。
	23	相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	24	定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	25	適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	26	相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	27	専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
		数字を入力 新規相談件数 相談延べ件数	208 件 2016 件	
支援を要する高齢者の早期発見に関する取組	28	関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇まちづくり委員会健康福祉分科会の参加を柱に地域活動団体との連携を持っている。 ◇「かりがわだより」を発行しセンターの周知を図った。(自治会回覧も依頼した。) ◆感染症対策下、民児協の活動も限定的であるため、掘り起しの仕組みを検討する必要がある。
	29	関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	30	パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	

### 3 権利擁護業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
権利擁護全体	31	弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇個別事例の支援過程で法律専門職に相談をしたり、協働したりすることはあった。  ◆
	32	個別ケア会議や圏域ケア会議に必要に応じて法律専門職が参加している。	<input type="checkbox"/>	
	数字を入力			
	法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数		0 回	
		法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数	0 回	
成年後見制度の利用支援と普及	33	高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇所内ではどの職種が対応しても必要な対応ができるようバックアップ体制を敷いている。  ◆
	34	本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	35	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。	<input type="checkbox"/>	
	数字を入力			
		成年後見にかかわる相談件数	4 件	
		成年後見にかかわる講座等の実施回数	0 回	
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応	36	関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇これまでに培った関係機関との連携を基礎に気軽に相談できる体制がある。 ◇市役所の担当者とも日常的に連絡連携を取っている。  ◆
	37	県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力			
		高齢者虐待にかかわる相談件数	5 件	
消費者被害の防止に関する対応	38	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。	<input type="checkbox"/>	◇「かりがわだより」に情報提供を行ったが、啓発活動とまでは言えなかった。 ◇新型コロナウイルス感染症拡大予防のため地域活動も休止状態にあり、地域住民に働きかける機会がない。  ◆ウィズコロナの時世にあった普及啓発の方法の模索。
	39	消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。	<input type="checkbox"/>	
	数字を入力			
		消費者被害にかかわる相談件数	1 件	
		消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数	0 回	

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
生活環境変化等への対応	40	サービス担当者会議の開催を支援している。	<input type="checkbox"/>
	41	利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力 サービス担当者会議開催支援件数 <input type="text" value="0"/> 件 医療機関とのカンファレンスの件数 <input type="text" value="0"/> 件		
介護支援専門員の支援	42	介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。	<input type="checkbox"/>
	43	上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。	<input type="checkbox"/>
	44	困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	45	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 <input type="text" value="0"/> 回 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数 <input type="text" value="0"/> 人		
関係機関相互の連携体制の構築	46	民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	47	関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力 運営推進会議への出席回数 <input type="text" value="10"/> 回		
社会資源の把握・活用・開発	48	地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	49	把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。	<input type="checkbox"/>
	50	新たな社会資源の開発に努めている。	<input type="checkbox"/>
地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用	51	自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	52	個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。	<input type="checkbox"/>
	53	圏域ケア会議を計画的に開催している。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 <input type="text" value="3"/> 件 個別ケア会議 実施回数 <input type="text" value="2"/> 回 うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 <input type="text" value="0"/> 回 圏域ケア会議 実施回数 <input type="text" value="0"/> 回 うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数 <input type="text" value="0"/> 回		
介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発	54	高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力 情報発信・講座等の実施回数 <input type="text" value="0"/> 回		
			◇担当者会議の開催支援を行う事例はなかった。  ◇「とみずケアマネ交流会」の実施方法を検討。  ◆「とみずケアマネ交流会」のオンライン（＋ハイブリット）開催を企画。  ◇必要に応じて民児協に出席し、情報提供や関係強化を図っている。  ◇会合への参加はもれなく行っている。  ◆関係団体や活動内容についての情報が不十分で地域の実情が十分に理解できていない。  ◇  ◆（51.52）個別ケア会議に適切かどうかを逡巡するより、ケア会議を開催するように機動力を上げたい。 ◆（51.52）現に関りのある関係者だけでなく、将来的に関りが必要と思われる地域の機関や人物にも気軽に参加してもらえ設定にしてゆきたい。  ◇サロン活動の場等を通じての普及啓発は行えない状況が続く見込み。 ◇個別支援の場面で一人ひとりに伝えている。  ◆

## 5 認知症総合支援事業

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
認知症の正しい知識の普及と啓発	55	認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。	◇地域住民向けの普及啓発イベントを企画していたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため開催は保留。 ◇小田原市主催（12月2日開催）認知症サポーター養成講座実施。 ◇民児協からの依頼で12月9日の定例会にてミニ講座を実施（認知症の人への対応方法） ◆	
	56	認知症ケアバスを活用して、啓発活動を行っている。		
	数字を入力 認知症サポーター養成講座開催回数			1 回
	認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く）			1 回
認知症の人とその家族に対する支援	57	認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。	◇総合相談の一環で適正に対応している。 ◇介護者支援について、把握している情報が不足している。情報提供も不十分ある。 ◆認知症初期集中支援事業について、包括職員として最低限度の理解と情報を持つ必要がある。	
	58	認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。		
	59	認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。		
	数字を入力 認知症初期集中支援事業 提出事例件数			0 件

## 6 介護予防ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明	60	職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。	◇介護予防支援業務のうち総合事業利用者がその大半を占めている。 ◆サービス導入時の妥当性についてチェックする仕組みが必要。 ◆基準緩和型又は住民主体型の事業所の拡充が必要。事業所との意見交換も大事ではないか。
	61	総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。	
適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成	62	本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。	◇再委託の依頼を通じて、介護予防・自立支援の視点を居宅介護支援事業所のケアマネジャーと共有しようとした。（新規再委託件数は3件。うち市外在住者1名） ◇地域住民への働きかけはできなかった。 ◆No.54とセットで考えるべきか。（いずれにしてもひとつの包括で解決できる課題ではないのではないか。）
	63	高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。	
	64	総合事業（通所型サービスC）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。	
	65	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。	
	数字を入力 介護予防サービス計画件数		
うち再委託件数		15 件	
介護予防ケアマネジメント件数		104 件	
うち再委託件数		1 件	

# 地域包括支援センター運営事業の評価表

地域包括支援センター名：さくらい

記入者名：栗原 千恵

## 1 地域包括支援センターの運営体制

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
人員体制の確保	1	職員の配置基準を満たしている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力		
	ア	保健師・看護師	1 人
	イ	社会福祉士	2 人
	ウ	主任介護支援専門員	1 人
	エ	介護支援専門員	0 人
	オ	その他	0 人
	ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入）		3.1 年
24時間体制の確保	2	緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>
職員の資質向上	3	市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	4	運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。	<input checked="" type="checkbox"/>
	5	研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	6	研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力		
	研修参加回数		24 回
個人情報の保護	7	個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	8	個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	9	職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	10	関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>
チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化	11	包括センターで3職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	12	包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	13	ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	14	各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>



運営状況の評価と業務改善への取組	15	実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (20) 市からの示された書式を周知した。  ◆
	16	日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	17	日常の業務における課題や反省点を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	18	利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	19	包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	20	利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	21	センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	

## 2 総合相談支援業務

項目	評価の目安		◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
高齢者の実態把握及び支援	22	個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (22) 新型コロナウイルスの影響でサロン等の地域活動が未開催となっているため、個別訪問が主となっている。コロナ禍で実施地域は縮小したが、昨年引き続き、地域の方（民生委員や自治会、ボランティア等）と共に見守り活動を実施した。  ◆交流スペースを開放しており、地域で活動している団体等の利用は得られている。今後は地域の方たちにとっても気楽に集まれる場となるよう、仕掛けづくりをしていく。
	23	相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	24	定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	25	適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	26	相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	27	専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 新規相談件数 相談延べ件数		189 件 802 件	
支援を要する高齢者の早期発見に関する取組	28	関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (28) (29) 地区社協役員会や民生委員の集まりなど、地域活動をしている方々が集まれる場所として包括センターの交流スペースを開放。必要時には参加し、連携がとりやすい関係づくりに努めている。 (30) 新型コロナウイルス感染症に関する情報提供等も載せたさくらい便りの配布を行った。見守り活動を通し包括の周知、パンフレットの配布も行った。 ◆
	29	関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	30	パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	

### 3 権利擁護業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
権利擁護全体	31	弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。	◇(31) 令和2年度は特別な取り組みを行ってはいないが、ケース対応で法律専門職へ相談したケースは3件あり、必要時には相談できる関係が築けている。 ◆
	32	個別ケア会議や圏域ケア会議に必要に応じて法律専門職が参加している。	
	数字を入力		
	法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数	0 回	
法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数	0 回		
成年後見制度の利用支援と普及	33	高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。	◇成年後見制度に関する相談に対して、専門職の紹介をする等対応している。 ◆社会福祉士部会で成年後見制度の普及を目的とした講話資料を作成したが、新型コロナウイルス感染症の影響でサロン等の開催がなかったため、発表の機会がなかった。来年度も同じことが予測されるため、市民向け、関係機関向けに講話が行えるよう、集まらないでもできる方法を模索する。
	34	本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。	
	35	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。	
	数字を入力		
成年後見にかかわる相談件数	3 件		
成年後見にかかわる講座等の実施回数	0 回		
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応	36	関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。	◇
	37	県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。	◆
	数字を入力		
高齢者虐待にかかわる相談件数	3 件		
消費者被害の防止に関する対応	38	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。	◇(38) 見守り活動時に消費者センターと連携し、普及啓発物品を配布した。
	39	消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。	◆
	数字を入力		
消費者被害にかかわる相談件数	2 件		
消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数	0 回		

#### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
生活環境変化等への対応	40	サービス担当者会議の開催を支援している。	<input type="checkbox"/>
	41	利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力 サービス担当者会議開催支援件数		0 件
	医療機関とのカンファレンスの件数		2 件
介護支援専門員の支援	42	介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	43	上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。	<input type="checkbox"/>
	44	困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	45	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数		1 回 10 人
関係機関相互の連携体制の構築	46	民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	47	関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力 運営推進会議への出席回数		10 回
社会資源の把握・活用・開発	48	地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	49	把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	50	新たな社会資源の開発に努めている。	<input type="checkbox"/>

◇(40) 開催を支援することはないが、必要時には訪問に同行する、担当者会議に出席するなど対応している。

◇包括事務所のインターネット環境が整ったため、ZOOMによる事例検討会を主催した。

◆新型コロナウイルス感染症により集まっていた研修などが取れない状況が続いている。オンラインの活用は事業所によって環境がまちまちであったため、主催者として支援体制が取れないと開催が難しい現状があった。事務所の環境が整ったため、来年度は計画的に行っていく。

◇(46) 地区社協役員会、民児協の集りに交流スペースを開放。会議への参加もし、情報交換を行っている。

◇新型コロナウイルス感染症の影響でまちづくり委員会などの地域活動が縮小している。地区社協役員会は開催されているが、活動としては縮小している。

◆(50) 様々な地域活動が新型コロナウイルス感染症の影響で未実施となっており、開発にまで至ることができない。現存の社会資源を新たな様式を取り入れながら再実施できるよう検討していく。

地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用	51	自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◆新型コロナウイルス感染症の影響で圏域ケア会議未開催、個別ケア会議1回の開催と例年より少ない開催となっている。事務所にインターネット環境も整ったため、様々な開催様式を模索していく。
	52	個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	53	圏域ケア会議を計画的に開催している。	<input type="checkbox"/>		
	数字を入力				
自立支援ケア会議 事例提出件数			2	件	
個別ケア会議 実施回数			1	回	
うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数			0	回	
圏域ケア会議 実施回数			0	回	
うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数			0	回	
介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発	54	高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	<input type="checkbox"/>		◆新型コロナウイルス感染症の影響でサロン活動などが休止しており、情報発信の場がなかった。集まらなくてもできる様式を検討していく。
	数字を入力				
情報発信・講座等の実施回数			0	回	

## 5 認知症総合支援事業

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等		
認知症の正しい知識の普及と啓発	55	認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ (55) ZOOMを使い認知症サポーター養成講座を開催した  ◆
	56	認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。	<input type="checkbox"/>		
	数字を入力				
認知症サポーター養成講座開催回数			2	回	
認知症普及啓発に係る講座等開催回数 (認知症サポーター養成講座を除く)			0	回	
認知症の人とその家族に対する支援	57	認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ (57) 医療機関の紹介や、必要時には医療機関、介護保険事業所との調整等を行った。  ◆ (58) (59) 対象となる相談者がいなかったが、認知症相談は一定数寄せられるため、必要時には適切に支援につなげていく。
	58	認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。	<input type="checkbox"/>		
	59	認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。	<input type="checkbox"/>		
数字を入力					
認知症初期集中支援事業 提出事例件数			0	件	

## 6 介護予防ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
介護予防・日常生活支援 総合事業に関する適切な 説明	60 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。	✓	◇ (61) ケース対応をする際に、丁寧に説明をしている。  ◆	
	61 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。	✓		
適切なサービスにつなげるためのアセスメントと ケアプラン作成	62 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。	✓	◇ (65) ご利用者の要望を聞きながら事業所を選定しているが、再委託に関しては受けてくれる事業所も減少傾向にあり、包括センターで選べる現状ではない。  ◆	
	63 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。	✓		
	64 総合事業（通所型サービス）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。	✓		
	65 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。	✓		
	数字を入力			
	介護予防サービス計画件数 うち再委託件数 介護予防ケアマネジメント件数 うち再委託件数	144 36 64 12		件 件 件 件

# 地域包括支援センター運営事業の評価表

地域包括支援センター名：さかわこやわた・ふじみ

記入者名： 石原 辰治

## 1 地域包括支援センターの運営体制

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
人員体制の確保	1	職員の配置基準を満たしている。	◇	
	数字を入力 ア 保健師・看護師 <input type="text" value="1"/> 人 イ 社会福祉士 <input type="text" value="1"/> 人 ウ 主任介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 エ 介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 オ その他 <input type="text" value="1"/> 人 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） <input type="text" value="1"/> 年		◆	
24時間体制の確保	2	緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。		
職員の資質向上	3	市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。	◇（3）	
	4	運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。	4/7小田原市包括職員新人研修（1名） 7/29認知症初期集中支援チーム会議研修（1名） 10/15小田原市包括管理者研修（1名） 11/30地域共生社会づくり研修（1名）	
	5	研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。	1/29対人援助技術研修（4名） （4）	
	6	研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。	6/11医療知識研修会（2名） 6/25包括看護職勉強会（1名） 7/10プライバシー保護の取り組み（1名） 7/16包括社会福祉士勉強会（1名） 8/3市内同法人包括研修会（4名） 8/28コミュニケーションスキル勉強会（3名） 10/13模擬地域ケア会議（3名） 10/22包括看護職勉強会（包括だより、災害時について） 11/13上手な包括、居宅の巻き込み方 11/26社内社会福祉士勉強会（消費者被害について） 2/19模擬地域ケア会議（1名） 2/25包括看護職勉強会（1名） 3/12社内コミュニケーションスキル勉強会	
	数字を入力		<input type="text" value="18"/> 回	
	研修参加回数			
個人情報の保護	7	個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。	◇	
	8	個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。	◇	
	9	職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。	◆	
	10	関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。	◇（9）個人情報持ち出し管理簿は使用していないが、スケジュール管理表で把握している。	

チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化	11	包括センターで3職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。	✓	◇ (11) 3職種の専門性を活かせるようケース検討を行い、チームアプローチができるようにしている。 (11)～(13)月1回包括ミーティングを開催し、チームアプローチが行える体制を取っている。又毎日朝礼を実施し情報共有を行っている。
	12	包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。	✓	
	13	ケースごとに担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。	✓	
	14	各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。	✓	
運営状況の評価と業務改善への取組	15	実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。	✓	◇ (16) (17) 朝礼やミーティングにて課題の確認、支援の方向性を確認しアドバイスしている。 (20) 苦情は社内マニュアルに沿って対応する体制が整っている。 (21) センター職員全員で協議作成したのち、法人スーパーバイザーが確認する体制となっている。
	16	日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。	✓	
	17	日常の業務における課題や反省点を把握している。	✓	
	18	利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。	✓	
	19	包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。	✓	
	20	利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。	✓	
	21	センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。	✓	

## 2 総合相談支援業務

項目	評価の目安	評価	◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
高齢者の実態把握及び支援	22	個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。	✓	◇ (22) コロナ禍の中で高齢者の集まる地域活動が自粛されていた。住民や民生委員、市役所からの情報提供をもとに個別訪問し実態把握に努めた。 (24、25) 継続的な支援が必要なケースについては、定期的な状況確認を行っている。 (27) 年度後半に3ケースの個別ケア会議を開催。コロナ禍で会場や公衆衛生面に配慮して実施した。
	23	相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。	✓	
	24	定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。	✓	
	25	適切な機関に引き継いだ後の状況確認までを行っている。	✓	
	26	相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。	✓	
	27	専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。	✓	
	数字を入力 新規相談件数 相談延べ件数	335 件 1457 件		
支援を要する高齢者の早期発見に関する取組	28	関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。	✓	◇ (28) 8/4ふじみ地区民生委員と10/6さかわこやわた地区の民生委員とのお茶会実施。 (30) コンビニや圏域内施設、市役所、民生委員に包括だよりを配布している。又地域の回覧板や掲示板に掲示している。
	29	関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。	✓	
	30	パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。	✓	

### 3 権利擁護業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
権利擁護全体	31	弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。	◇(31) リーガルサポートへ相談→司法書士紹介→相談連携→申し立て支援を行う。  ◆(32) コロナ過ではあるが開催方法を考えて積極的にケア会議に法律家を呼ぶようにする。	
	32	個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。		
	数字を入力			1 回
	法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数			0 回
成年後見制度の利用支援と普及	33	高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。	◇(35) 9/19地域の自主グループで成年後見に関する啓発活動を行った。  ◆(33~35) 社会福祉士部会の今年度の作成物を活用していく。	
	34	本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。		
	35	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。		
	数字を入力			6 件
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応	36	関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。	◇(36) 県からの注意喚起チラシの配布 (37) 帳票の利用、相談報告をしている。  ◆	
	37	県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。		
	数字を入力			10 件
	高齢者虐待にかかわる相談件数			1 回
消費者被害の防止に関する対応	38	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。	◇(38) 9/19地域の自主グループで消費者被害防止に関する啓発活動を行った。又包括だより(3号)にて消費者被害の防止について団地、市営住宅に掲示している。  ◆	
	39	消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。		
	数字を入力			3 件
	消費者被害にかかわる相談件数			1 回
		消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数		



4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

項目	評価の目安	評価	今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
生活環境変化等への対応	40 サービス担当者会議の開催を支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ ◆
	41 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 サービス担当者会議開催支援件数 医療機関とのカンファレンスの件数	3 件 1 件	
介護支援専門員の支援	42 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。	<input type="checkbox"/>	◇ (42) 毎年継続して市内同法人包括合同での、介護支援専門員を対象とした交流会「茶っと会」を開催しているが、今年は新型コロナウイルスの影響で実施できていない(年2回予定)。 (43) 年度当初に開催回数は決めるが、ケアマネジャーのニーズを反映した内容等を含む計画は示していない。 (44) 困難ケースに対し同行訪問したり、個別ケア会議を開催しネットワーク作り、支援の方向性の確認などを行った。 ◆ (43) 年度当初に研修の概要や計画を伝えていけるようにする。
	43 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。	<input type="checkbox"/>	
	44 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	45 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数	0 回 0 人	
関係機関相互の連携体制の構築	46 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	47 関係機関(三師会等)が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 運営推進会議への出席回数	0 回	
社会資源の把握・活用・開発	48 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	49 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	50 新たな社会資源の開発に努めている。	<input type="checkbox"/>	
地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用	51 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (52) 11/19、12/2、12/3、3/24個別ケア会議実施。 ◆コロナ過での感染症対策をした会議開催を検討。
	52 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	53 圏域ケア会議を計画的に開催している。	<input type="checkbox"/>	
	数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 個別ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 圏域ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数	2 件 4 回 0 回 0 回 0 回	
	54 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発	数字を入力 情報発信・講座等の実施回数	3 回	◆

## 5 認知症総合支援事業

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
認知症の正しい知識の普及と啓発	55	認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。	◇ ◆ (55) 認知症サポーター養成講座や市民などへの啓発活動は予定していたが新型コロナウイルスの影響で開催できていない。 (56) 新規相談で認知症のケースにはケアパスを活用して病院紹介やケースへの関わり方などを伝えている。
	56	認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。	
	数字を入力		
	認知症サポーター養成講座開催回数	0 回	
認知症普及啓発に係る講座等開催回数(認知症サポーター養成講座を除く)		0 回	
認知症の人とその家族に対する支援	57	認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。	
	58	認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。	
	59	認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。	
	数字を入力		
認知症初期集中支援事業 提出事例件数		0 件	

## 6 介護予防ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明	60	職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。	◇ ◆
	61	総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。	
適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成	62	本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。	◇ ◆
	63	高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。	
	64	総合事業(通所型サービスC)の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。	
	65	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。	
	数字を入力		
介護予防サービス計画件数	146 件		
うち再委託件数	41 件		
介護予防ケアマネジメント件数	124 件		
うち再委託件数	23 件		

# 地域包括支援センター運営事業の評価表

地域包括支援センター名：しもふなか

記入者名：室田 美幸

## 1 地域包括支援センターの運営体制

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
人員体制の確保	1	職員の配置基準を満たしている。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力 ア 保健師・看護師 イ 社会福祉士 ウ 主任介護支援専門員 エ 介護支援専門員 オ その他 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入）		
24時間体制の確保	2	緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>
職員の資質向上	3	市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	4	運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。	<input checked="" type="checkbox"/>
	5	研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	6	研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。	<input type="checkbox"/>
数字を入力 研修参加回数		23	回
個人情報の保護	7	個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	8	個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	9	職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	10	関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>
チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化	11	包括センターで3職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	12	包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	13	ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	14	各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
◇(9) 個別ケア会議やコアメンバー会議等で個人のファイルを外部に持ち出す機会がある場合は管理表にて管理をしている。 ◆次年度も継続して管理を徹底する。			◇R3.1より1名の欠員となったが、3/10からは4人体制となった。 ◆定着化が大きな課題である。新型コロナウイルスによる業務形態の多様化に対応できるようにしていく。
◇(3) 新型コロナウイルスの感染予防のため研修自体が少なくなっているが、有効な内容に関してはZoomで参加している。今後もその予定である。 (4) 今年度初めての試みであるが、テレワーク中に研修講師としての資料を作成した社会福祉士が成年見制度の内部研修を行った。(8/12) ◆オンライン研修が日常化してきているので、新しい研修形式に対応できるようにしていく。			◇(11) (12) (13) 担当以外でも対応できるように朝の会や日報を用いて情報を共有しバックアップ体制は整っている。新型コロナウイルスによる感染リスク軽減のため分散業務を強いられているが、日報を有効活用し、情報の共有は必要時行っている。 ◆今後も状況に合わせた対応をとっていく。

運営状況の評価と業務改善への取組	15	実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇(16)(17)管理者としては業務内容について把握をしようとしてアドバイスをしている。運営上の課題や反省点も提示しながら包括としての統一した対応ができるようにしている。 (19)地域とのつながりを大事にしている。また必要な情報は市担当者に報告相談をしている。 (20)苦情があった場合に記録ができるように帳票を作っている。 (21)評価や活動計画は自己覚知のためにも各人が内容を確認し、その後全員で作成している。 ◆利用者に対し担当制としているが、状況の変化により専門性を活かすことができるよう柔軟な対応をとっていく。
	16	日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	17	日常の業務における課題や反省点を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	18	利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	19	包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	20	利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	21	センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。	<input type="checkbox"/>	

## 2 総合相談支援業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
高齢者の実態把握及び支援	22	個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇(22)ふらっとマロニエには参加し参加者の状況等を確認している。 (23)(24)要支援認定の出力方全員に介護予防の視点からの訪問をしている。 (27)相談内容によっては関係機関に協力を求め適宜会合（個別ケア会議等）を持つようにしている。 ◆今後も実態把握は電話などで終わることなく、引き続き訪問をしてご本人の状況を見聞きしていく。
	23	相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	24	定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	25	適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	26	相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	27	専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
		数字を入力		
	新規相談件数	266 件		
	相談延べ件数	473 件		
支援を要する高齢者の早期発見に関する取組	28	関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇(28)(29)(30)しもふなかコンパスを開催し、地域と専門職とのネットワークを深めている。地域包括支援センターの周知にも力を入れ、訪問時はパンフレットやしもふなかコンパスの冊子を持参している。 「昼のおはなし会」のチラシ裏面は包括の情報を入れている。 下府中地区社協だよりに包括支援センターの役割についての記事を掲載した。(3/1発行) ◆「しもふなかコンパス」の運営についてもっと具体的な内容を検討していく。
	29	関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	30	パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	

### 3 権利擁護業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
権利擁護全体	31	弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	32	個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力		
	法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数		0 回
法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数		0 回	
成年後見制度の利用支援と普及	33	高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	34	本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	35	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力		
成年後見にかかわる相談件数		8 件	
成年後見にかかわる講座等の実施回数		0 回	
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応	36	関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	37	県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力		
高齢者虐待にかかわる相談件数		6 件	
消費者被害の防止に関する対応	38	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	39	消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力		
消費者被害にかかわる相談件数		5 件	
消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数		0 回	

◇(32)個別ケア会議に弁護士の参加依頼をしたが、参加は叶わなかったが、その後の相談では事例に関し家庭訪問をする等、協力体制が整った。  
 ◆法律専門職との連携や交流のあり方を検討していく必要がある。

◇(35)包括内で成年後見制度の研修を行った。  
 下府中地区社協だよりに成年後見制度についての記事を掲載した。(3/1発行)  
 ◆(35)地域に向けての講座は、行う機会を探すという事から始めないといけない。

◇(36)(37)虐待疑い等のケースについては、迅速に関係機関との連携ができています。  
 ◆(37)包括の全ての職員がマニュアルに沿った対応ができるようにしていく必要がある。

◇(38)(39)消費者被害防止に対し実績がない。相談があれば関係機関と迅速に連絡を取り合い連携をとっている。  
 下府中地区社協だよりに消費者被害についての記事を掲載した。(3/1発行)  
 ◆(39)消費生活センター等の関係機関と消費者被害防止に向けての連携が図れるように、包括との関係作りから行っていく必要がある。

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		評価	評価	◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
生活環境変化等への対応	40	サービス担当者会議の開催を支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ (41) 在宅サマリーは可能な限り提出している。一方で退院時の病院からの看護サマリーは在宅サマリーを出さない場合や看護サマリーを要求しないともえないケースがあった。 ◆ (41) 在宅生活を継続し支えていく上での病院や施設等との情報交換は大切なので調整を深めたい。
	41	利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力				
	サービス担当者会議開催支援件数		1	件	
医療機関とのカンファレンスの件数		6	件		
介護支援専門員の支援	42	介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。	<input type="checkbox"/>		◇ (42) (43) 例年、定期開催をしている「むらカフェ」の開催ができずにいる。 ◆ (42) 新型コロナの感染予防の影響で、ケアマネ支援としての「むらカフェ」が行われずにいるので、開催方法などもっと具体的に検討し実施をしていく。
	43	上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。	<input type="checkbox"/>		
	44	困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	45	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力				
介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数		0	回		
研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数		0	人		
関係機関相互の連携体制の構築	46	民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ (46) しもふなこコンパスを開催する事で地域課題を基にできる活動を検討している。 ◆オンライン研修などに参加し、以前同様の連携を図るようにする。
	47	関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力				
運営推進会議への出席回数		13	回		
社会資源の把握・活用・開発	48	地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ (48) 「コンパス隊」を地域資源の一つと考え活動を模索をした。 (49) 下府中地区社協だよりにしもふなこコンパスの活動を紹介した。(3/1発行) ◆地域における課題を深く掘り下げ、しもふなこコンパスとしての活動をしていく。R3.6には「しもふなこコンパス」VOL3を出す予定で。
	49	把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	50	新たな社会資源の開発に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用	51	自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ (51) (52) 自立支援に向けた様々な視点を基に、関係機関との関係性を深め必要な会議開催をしている。 (53) 圏域ケア会議については、包括としては準備は可能であるが新型コロナウイルスの影響で開催できずにいる。 ◆ (52) 個別ケア会議の運営について、包括職員は個別ケア会議を行うかどうかの判断や準備に消極的である。運営は実績を積むことにより個人のスキルが上がると思われる。
	52	個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	53	圏域ケア会議を計画的に開催している。	<input type="checkbox"/>		
	数字を入力				
自立支援ケア会議 事例提出件数		0	件		
個別ケア会議 実施回数		2	回		
うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数		1	回		
圏域ケア会議 実施回数		0	回		
うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数		0	回		
介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発	54	高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ (54) 新型コロナウイルスの感染予防のため、サロンが開催されず参加回数は1回と少ないが、認知症予防の認知サイズなどを行った。 ◆地域の高齢者が自立した生活が送れるよう、啓発活動は地域の事情を鑑み行うようにする。
	数字を入力				
情報発信・講座等の実施回数		1	回		

## 5 認知症総合支援事業

項目	評価の目安	評価	今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
認知症の正しい知識の普及と啓発	55 認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等 ◇ (55) 新型コロナウイルスの感染予防のため予定の1回は中止となったが、イトーヨーカドーの講座2回分は開催できた。 (56) 「昼のおはなし会」は認知症の家族の支援のために開催した。 ◆R3年度の「昼のおはなし会」は「歯科と認知症の話」を予定している。認知症サポーター養成講座の開催は積極的に行いたい。
	56 認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 認知症サポーター養成講座開催回数	2 回	
	認知症普及啓発に係る講座等開催回数 (認知症サポーター養成講座を除く)	1 回	
認知症の人とその家族に対する支援	57 認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>	(57) (58) 認知症を疑われる人には専門医への受診勧奨を行っている。認知症の家族に対しては昨年同様に「昼のおはなし会」のイベントを企画し、認知症への理解と介護者への応援をした。 (59) 認知症初期集中支援事業に事例を提出するまでに至らないが常に事例提出を意識している。
	58 認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	59 認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。	<input type="checkbox"/>	
	数字を入力 認知症初期集中支援事業 提出事例件数	0 件	

## 6 介護予防ケアマネジメント業務

項目	評価の目安	評価	今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明	60 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (60) 新人職員に説明をし理解してもらっている。 (61) 個別訪問時、総合事業の説明をしている。 下府中地区社協だよりに介護予防についての記事を掲載した。(3/1発行) ◆総合事業の住民主体型サービス等について考え、地域の支え合いを意識していく。
	61 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成	62 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (62) (63) 包括内で各ケースの情報を共有しながら、本人や家族の意向に添うケアマネジメントをするようにしている。 (64) 短期集中通所型サービスは新型コロナウイルスの緊急事態宣言により開催されていない。 (65) 再委託について包括と居宅の関係性の中で、公平・中立な観点に基づき順調に依頼ができています。 ◆ (63) 地域にはゴミ捨て等のボランティアの活動がないので、検討していきたい。
	63 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	64 総合事業（通所型サービスC）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	65 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 介護予防サービス計画件数	156 件	
うち再委託件数	61 件		
介護予防ケアマネジメント件数	122 件		
うち再委託件数	41 件		

# 地域包括支援センター運営事業の評価表

地域包括支援センター名：とよかわ・かみふなか

記入者名：横山 慶明

## 1 地域包括支援センターの運営体制

項目	評価の目安		◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
人員体制の確保	1	職員の配置基準を満たしている。	<input checked="" type="checkbox"/> 4月から事業所が立ち上がり各自の専門性を活かし包括業務を行うよう努めている。 ◆	
	数字を入力 ア 保健師・看護師 <input type="text" value="1"/> 人 イ 社会福祉士 <input type="text" value="2"/> 人 ウ 主任介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 エ 介護支援専門員 <input type="text" value=""/> 人 オ その他 <input type="text" value=""/> 人 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） <input type="text" value="0"/> 年			
24時間体制の確保	2	緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
職員の資質向上	3	市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。	<input checked="" type="checkbox"/> (3) 4/20初任者研修（2名） 7/29認知症初期集中支援チーム員伝達研修（1名） 9/15認知症初期集中チーム員会議（1名） 11/4、6地域包括支援センター職員等養成研修（1名） 1/25法テラス神奈川地方協議会（2名） 2/4認知症疾患医療センター研修会（2名） <input checked="" type="checkbox"/> (4) 法人主催研修 6/11医療知識研修（2名） 6/25包括看護職勉強会（1名） 7/10プライバシー保護の取り組み研修会（1名） 7/14・7/16包括社会福祉士勉強会（各1名ずつ） 8/28コミュニケーションスキル（1名） 10/13模擬地域ケア会議（2名） 10/22包括看護職勉強会（1名） 10/30倫理及び法令順守研修会（1名） 11/24・26包括社会福祉士勉強会（各1名ずつ） 12/18ケアマネジメント、記録勉強会（1名） 1/15認知症及び認知症ケア研修会（1名） 2/19模擬地域ケア会議（2名） 2/25包括看護職勉強会（1名） <input checked="" type="checkbox"/> (5) 毎月の包括ミーティングや朝礼で研修の報告をし、情報共有を行なっている。 ◆ <input checked="" type="checkbox"/> (6) 今後、法人内の研修などで情報を共有した方が良い内容だった時は、従事者連絡会を通じて積極的に報告する。	
	4	運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。		<input checked="" type="checkbox"/>
	5	研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。		<input checked="" type="checkbox"/>
	6	研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。		<input type="checkbox"/>
	数字を入力 研修参加回数 <input type="text" value="22"/> 回			



個人情報の保護	7	個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (9) 個人情報持ち出し管理簿は使用していないが、スケジュール管理表で把握している。 ◆
	8	個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	9	職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	10	関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化	11	包括センターで3職種専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (11)～(13) 毎朝の朝礼時に新規相談の報告を行いセンター内で情報を共有し、ケースの見立て、主な担当を決定している。週2回センター長と法人スーパーバイザーが朝礼に出席し事例検討を行なっている。月1回包括ミーティングを開催し、チームアプローチが行える体制を取っている。
	12	包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	13	ケースごとに主担当を決めたうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	14	各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。	<input type="checkbox"/>	
運営状況の評価と業務改善への取組	15	実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (15) 適宜、期日までに必要な書類の提出および報告を行っている。 (16) (17) 朝礼やミーティングにて課題の確認、支援の方向性を確認しアドバイスしている。 (20) 苦情は社内マニュアルに沿って対応する体制が整っている。 (21) センター職員全員で協議作成したのち、法人スーパーバイザーが確認する体制となっている。 ◆
	16	日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	17	日常の業務における課題や反省点を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	18	利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	19	包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	20	利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	21	センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	

## 2 総合相談支援業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
高齢者の実態把握及び支援	22	個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	23	相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	24	定期的に状況を確認するなど、状況に応じた継続的な支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	25	適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	26	相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	27	専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 新規相談件数		206 件	◇ (22)～(25) 民生委員、住民、病院等からの情報提供に対し、状況に応じた連携や支援を積極的に行っている。 個別相談や実態把握において電話対応だけでなく自宅に訪問することで生活全体を視野にいれたアセスメントを行い、状況に応じた連携や支援を行っている。 (26)(27) 包括内でケースの相談や情報を共有し、専門職を含めた個別ケア会議の開催を行なった(計6回開催)。 ◆ (22) コロナ禍で地域活動が自粛となり、民生委員や自治会長とのしっかりとした関係づくりが出来ていないため、情報収集の方法を検討していく必要性がある。
相談延べ件数		617 件		
支援を要する高齢者の早期発見に関する取組	28	関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	29	関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	30	パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
			◇ (28)(30) ケアマネ交流会(茶つと会)、個別ケア会議、圏域ケア会議などを通して他職種との連携の場を持つようになっているが、今年度はコロナ禍のためケアマネ交流会は未実施。 今年度から法人変更をしたため、圏域内の病院、薬局、事業所、自治会、民生委員などへ挨拶をし、センターのパンフレットや包括だよりも配布をした。 包括だよりに包括の取り組みなどの情報提供を盛り込み、2回発行した。豊川地区・上府中地区への全戸回覧も行なった(2回)。	

## 3 権利擁護業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
権利擁護全体	31	弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	32	個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力		
	法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数		2 回
法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数		0 回	◇ (31) ケースに応じて法律専門職に随時相談ができる体制になっている。 (32) 11月と3月の個別ケア会議に法律専門職に参加依頼した。 ◆ (31) 次年度も積極的に専門職主催の講演会や研修会に参加し顔の見える関係づくりの強化を行なっていく。また、積極的にケア会議への出席を法律専門職に声を掛けていく。

成年後見制度の利用支援と普及	33	高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>		<p>◇ (34) 市長申し立ての必要性がある場合は、高齢介護課担当ケースワーカーと適宜連携をとっている。今年度は1件実施した。</p> <p>◆ (35) 包括内で成年後見制度の啓発活動の方法を検討していく(講話、回覧等)</p>	
	34	本人や親族が申し立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申し立てにつなげられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>			
	35	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。	<input type="checkbox"/>			
	数字を入力					
		成年後見にかかわる相談件数		5	件	
		成年後見にかかわる講座等の実施回数		0	回	
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応	36	関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>		<p>◇ (36) 民生委員から包括職員へ虐待疑いの相談あり。日頃から駐在所、ケアマネージャーとのコミュニケーションを図り、虐待の早期発見に努めている(警察から1件、ケアマネージャーから2件通報があった)。</p> <p>◆ (36) 次年度も継続して、地域の方や駐在所、ケアマネージャーとの関係を築いていく。</p>	
	37	県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>			
	数字を入力					
		高齢者虐待にかかわる相談件数		11	件	
消費者被害の防止に関する対応	38	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		<p>◇ (38) 9/25いきいきふれあいサロン高田別堀、10/15永塚ゆったりサロンにて詐欺被害防止の講話を実施した。</p> <p>(39) 1/15、利用者から消費者被害と思われる相談があり、小田原市消費生活センターに連絡し、ネット回線の解約について支援した。</p> <p>◆ (38) 次年度も消費者被害防止に向けて、サロンでの寸劇、回覧等を検討していく。</p>	
	39	消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>			
	数字を入力					
			消費者被害にかかわる相談件数			2
		消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数		2	回	

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
生活環境変化等への対応	40	サービス担当者会議の開催を支援している。	◇ (40) 利用者の健康状態や環境変化、入退院時等の状況で必要時には担当ケアマネジャーが開催するサービス担当者会議に参加するようにしている。 (41) コロナ禍で面会が行えないケースが多く、不安を抱く家族が多かった。包括が病院と連携を図り、利用者の状況や、今後の在宅での生活支援方法等の調整を行なった。 ◆	
	41	利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。		
	数字を入力			1 件
	サービス担当者会議開催支援件数			2 件
介護支援専門員の支援	42	介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。	◇ (42) 市内同法人包括合同での、介護支援専門員を対象とした交流会「茶っと会」を開催しているが、今年は新型コロナウイルスの影響でまだ実施できていない(年2回予定)。 (43) 年度当初に開催回数は決めるが、ケアマネジャーのニーズを反映した内容等を含む計画は示せていない。 (45) 困難ケースへの同行訪問(4件)を行ない、訪問後も定期的にケアマネと連絡を取り情報共有を行っている。 ◆ (42) (43) コロナ禍のため次年度は状況を鑑みながら開催を検討する。	
	43	上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。		
	44	困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。		
	45	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。		
	数字を入力			0 回
関係機関相互の連携体制の構築	46	民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。	◇ (46) 包括だより第一号に包括についてや職員の紹介を記載し、民生委員、自治会へ配布。地域へのアピールを行なった。 サロンや運営推進会議、まちづくり委員会、かみふばザー等に参加し地域の方や民生委員と関係性の構築に努めた。 ◆ (46) 次年度も民生委員や地域の方と顔つなぎが行なえるように包括内で方法を検討していく。 (47) 関係機関が開催する勉強会や研修会などに積極的に参加し、顔の見える関係づくりを行なっていく。	
	47	関係機関(三師会等)が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。		
	数字を入力			8 回
	運営推進会議への出席回数			
社会資源の把握・活用・開発	48	地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。	◇ (48) 地域の運営推進会議、まちづくり委員会へ参加し、社会資源の情報を把握している。 (50) 保健師部会で地区診断を行ない、包括内で共有している。 ◆ (49) 地域の社会資源の情報をまとめて関係機関や地域住民へ提供していく。その為のツールとして、お助け帳の作成を検討している。	
	49	把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。		
	50	新たな社会資源の開発に努めている。		

地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用	51	自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (51) 自立支援ケア会議を通じて「自立支援」の視点にたったケアマネジメントを常に意識するように心がけている。 (53) コロナ禍で圏域ケア会議を開催できなかったが、桑原住宅のアンケートを活用した圏域ケア会議の準備をしている。 ◆ (53) 次年度は圏域ケア会議を年2回を目標にする。また、開催方法なども検討していく。
	52	個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	53	圏域ケア会議を計画的に開催している。	<input type="checkbox"/>	
	数字を入力			
自立支援ケア会議 事例提出件数		1	件	
個別ケア会議 実施回数		6	回	
うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数		2	回	
圏域ケア会議 実施回数		0	回	
うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数		0	回	
介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発	54	高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (54) 地域サロンにて包括職員によるコグニサイズを数回実施した。 ◆ (54) 介護予防に繋がるよう、自宅で行なえるようなコグニサイズや口腔体操などを紹介していく（サロンでの実施や包括だよりへの掲載等を検討）。
	数字を入力			
情報発信・講座等の実施回数		7	回	

## 5 認知症総合支援事業

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
認知症の正しい知識の普及と啓発	55	認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	56	認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力		
	認知症サポーター養成講座開催回数		0
認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く）		1	回
認知症の人とその家族に対する支援	57	認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>
	58	認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	59	認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力		
認知症初期集中支援事業 提出事例件数		0	件

## 6 介護予防ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等							
介護予防・日常生活支援 総合事業に関する適切な 説明	60 職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (60) 包括内で制度理解に努めている。 (61) サロンで自立に向けた介護予防方法を紹介した。							
	61 総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◆ (60) 包括内で制度理解に努め、対象者や支援者に周知・説明を行えるようにしていく。 (61) 総合事業実施の背景や地域の支え合い体制の必要性などを説明していく(サロンでの講話等を検討)。							
適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成	62 本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (62) (63) (65) 利用者・家族の意向を確認しながらアセスメントを行っている。サービス紹介時に事業所を複数紹介することで公平・中立の立場で実施している。また、必要に応じてインフォーマルサービスを紹介している。							
	63 高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。	<input checked="" type="checkbox"/>								
	64 総合事業(通所型サービスC)の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。	<input type="checkbox"/>	◆							
	65 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な視点に基づき適正に実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>								
	数字を入力 介護予防サービス計画件数 うち再委託件数 介護予防ケアマネジメント件数 うち再委託件数	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr><td style="width: 30px; text-align: center;">75</td><td style="width: 30px; text-align: center;">件</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">20</td><td style="text-align: center;">件</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">33</td><td style="text-align: center;">件</td></tr> <tr><td style="text-align: center;">14</td><td style="text-align: center;">件</td></tr> </table>	75	件	20	件	33	件	14	件
75	件									
20	件									
33	件									
14	件									

# 地域包括支援センター運営事業の評価表

地域包括支援センター名：そが・しもそが・こうづ

記入者名：相原 正博

## 1 地域包括支援センターの運営体制

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
人員体制の確保	1	職員の配置基準を満たしている。	☑
	数字を入力		
	ア	保健師・看護師	1人
	イ	社会福祉士	1人
	ウ	主任介護支援専門員	1人
	エ	介護支援専門員	1人
オ	その他		
ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入）		4	年
24時間体制の確保	2	緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。	☑
職員の資質向上	3	市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。	☑
	4	運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。	☑
	5	研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。	☑
	6	研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。	☑
	数字を入力 研修参加回数		20
個人情報の保護	7	個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。	☑
	8	個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。	☑
	9	職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。	☑
	10	関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。	☑
チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化	11	包括センターで3職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。	☑
	12	包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。	☑
	13	ケースごとに主担当を決めたくうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。	☑
	14	各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。	☑

運営状況の評価と業務改善への取組	15	実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇(21) 毎月開催している包括内業務ミーティング時に今年度の活動計画の進捗状況報告や次年度の活動計画について協議している。運営事業の評価についても、管理者が作成したものを全職員に回覧し確認した上で提出している。
	16	日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	17	日常の業務における課題や反省点を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	18	利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	19	包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	20	利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	21	センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>	

## 2 総合相談支援業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
高齢者の実態把握及び支援	22	個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇(22) サロンこうづとふらっと下曾我についてはサロン活動の代替えである「お便り」の配布に協力。包括センターの広報誌や介護予防に関する情報提供を行った。各サロンの打合せにも出席し意見交換を実施。ふらっと下曾我で開催された介護予防体操教室に包括職員2名出席。曾我地区市管籠場住宅自治会長からサロン活動の中止に伴い、閉じこもりや困り事の抱え込み防止を目的に「包括センター相談会」開催の提案あり。相談希望者を募り、個別訪問実施。相談支援と実態把握を行った。 (25) 自立支援事業の紹介、引継ぎ、その後の確認を行った。本人だけでなく家族支援にも注意を払い、必要に応じて子の担当（障害）と情報共有を行った。
	23	相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	24	定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	25	適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	26	相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	27	専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 新規相談件数		300 件	
相談延べ件数		433 件		
支援を要する高齢者の早期発見に関する取組	28	関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇(28) (30) 包括センターの周知と同時にネットワーク構築として曾我地区では新たに医療機関と薬局（各1か所）、国府津地区では金融機関（1か所）に挨拶と広報誌配架の申入れを行った。
	29	関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◆(28) (30) 今後もネットワーク構築の為、配架できる事業所を増やす予定。
	30	パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	



### 3 権利擁護業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
権利擁護全体	31	弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	32	個別ケア会議や圏域ケア会議に必要に応じて法律専門職が参加している。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力 法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数		0 回
		法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数	0 回
成年後見制度の利用支援と普及	33	高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	34	本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	35	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力 成年後見にかかわる相談件数		3 件
		成年後見にかかわる講座等の実施回数	0 回
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応	36	関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	37	県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	数字を入力 高齢者虐待にかかわる相談件数		4 件
消費者被害の防止に関する対応	38	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	39	消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。	<input type="checkbox"/>
	数字を入力 消費者被害にかかわる相談件数		0 件
		消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数	0 回

◇

◆今年度は法律専門家の参加はない。今後、必要に応じて参加を呼び掛けていきたい。

◇(33)リーガルサポート神奈川の司法書士紹介依頼を利用し、制度に結び付けている。

◆(33)社会福祉士の包括職員が成年後見制度の研修に積極的に参加しており、今後包括内伝達講習を実施し支援体制の強化を図っていく。

◇

◆(36)過去の虐待対応ケースについて帳票の洗い出しなどを行い、傾向の総括をする。虐待の早期発見・予防に繋げるため、総括した資料を基に民生委員や自治会、圏域内居宅介護支援事業所等、地域向けの啓発を実践したい。

◇(38)R2.12月発行の包括センター広報誌で、宅配業者を装った不在通知の偽SMS(ショートメッセージサービス)の記事を掲載し、注意を呼び掛けた。

◆

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
生活環境変化等への対応	40 サービス担当者会議の開催を支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (41) 在宅医療・介護連携シートを活用し各関係機関と連携を図っている。  ◆	
	41 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携を図れるよう調整を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力			
	サービス担当者会議開催支援件数	5 件		
	医療機関とのカンファレンスの件数	10 件		
介護支援専門員の支援	42 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (42) (43) コロナ禍により研修の場を設けることはできなかったが、圏域内居宅介護支援事業所に対し、包括センターの広報誌（年4回）の配架等、情報提供を行うとともに、個々の関わりの中で情報交換を行った。 (44) 8050問題と思われるケースの検討をCM・包括・社協と協同で行った。  ◆ (42) (43) コロナ禍により研修など積極的な取り組みは行っていない。次年度に向けては新たな方法の検討が課題。	
	43 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。	<input type="checkbox"/>		
	44 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	45 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力			
関係機関相互の連携体制の構築	46 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (46) コロナウイルス感染拡大防止の為、今年度の民生委員との交流会は中止としたが、包括センターと民生委員の情報交換については開催された地区社協等への出席や通常の総合相談を通じて継続的に行っている。 (47) 運営推進会議は書面開催になっており、書面提出や情報交換を行ない連携はとれている。 ◆ (46) 可能であれば民生委員との交流会を再開していきたい。	
	47 関係機関（三師会等）が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力			
社会資源の把握・活用・開発	48 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇ (48) (50) サロンこうづの塗り絵展覧会が国府津の金融機関やJAで開催され、包括も参加しパンフレットや広報誌を配架が可能になった。また、曽我地区の医療機関と薬局に定期的に訪問し、包括のパンフレットや広報誌を配架している。 ◆	
	49 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	50 新たな社会資源の開発に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>		

地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用	51	自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇(53) コロナウイルスの影響により集合での圏域ケア会議の開催はできなかったが、共催している下曽我おせっかい会発信のコロナウイルス感染拡大防止のチラシを包括が仲介する事で、下曽我地区だけではなく当包括の全ての圏域に回覧できた。 ◆(53) 次年度の圏域ケア会議の開催については、新型コロナウイルス感染拡大予防対策として、会議形式以外での開催の可能性など、新たな手段の創出にも取り組みたい。
	52	個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	53	圏域ケア会議を計画的に開催している。	<input type="checkbox"/>	
	数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 個別ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 圏域ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数		1 件 1 回 1 回 0 回 0 回	
介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発	54	高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇(54) コロナ禍でサロン活動が行えない中で各地区のコーディネーターと代替活動について意見交換を行い、「お便りの配布」「目的のあるウォーキング」の実施に協力。介護予防に関する情報発信や具体的な実践に結び付いた。12/8の短期集中型通所サービスに包括職員2名出席し、小田原市の体操教室やサークル活動などを紹介した。 ◆
	数字を入力 情報発信・講座等の実施回数		1 回	

## 5 認知症総合支援事業

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等	
認知症の正しい知識の普及と啓発	55	認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇(55) 9/9梅の里センターにて認知症サポーター養成講座を実施したが、以降の実施はない。 ◆
	56	認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	数字を入力 認知症サポーター養成講座開催回数 認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く）		1 回 0 回	
	認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。		1 件	
認知症の人とその家族に対する支援	57	認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇
	58	認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	59	認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
数字を入力 認知症初期集中支援事業 提出事例件数		1 件		

6 介護予防ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等							
介護予防・日常生活支援 総合事業に関する適切な 説明	60	職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。	◇ ◆							
	61	総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。								
適切なサービスにつなげるためのアセスメントと ケアプラン作成	62	本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。	◇ ◆							
	63	高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。								
	64	総合事業（通所型サービスC）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。								
	65	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な視点に基づき適正に実施している。								
	数字を入力 介護予防サービス計画件数 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>136</td><td>件</td></tr></table> うち再委託件数 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>39</td><td>件</td></tr></table> 介護予防ケアマネジメント件数 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>76</td><td>件</td></tr></table> うち再委託件数 <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"><tr><td>19</td><td>件</td></tr></table>			136	件	39	件	76	件	19
136	件									
39	件									
76	件									
19	件									

7 その他

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
—	—	(活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記) ・広報誌を年4回発行する。「成年後見制度」「消費者被害防止」「おだわら・はこね家族会」「把握した社会資源の情報」など周知・啓発が求められている情報の発信に活用していく。	◇6・9・12月の計3回発行した広報誌「このゆびとまれ」を通じ、「把握した社会資源の情報」「消費者被害防止」「おだわら・はこね家族会」について情報発信を行った。次回は3月発行予定で、地域の活動レポートの他、「成年後見制度」に関する情報提供を行った。 ◆広報誌の発行はコロナ禍においても有益な情報発信手段のひとつと考えるため、次年度も包括の周知・連携ツールとして活用予定。地域の回覧、サロン活動を通じた配布、医療機関や金融機関等、相談支援を必要とする方が集まる事が想定される事業所への配架、圏域内居宅介護支援事業所への送付等を継続する。包括センターの認知度を高めていく為の取り組みをしていく。

# 地域包括支援センター運営事業の評価表

地域包括支援センター名：たちばな

記入者名：柳沢 博美

## 1 地域包括支援センターの運営体制

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
人員体制の確保	1	職員の配置基準を満たしている。	◇ ◆
	数字を入力 ア 保健師・看護師 <input type="text" value="1"/> 人 イ 社会福祉士 <input type="text" value="2"/> 人 ウ 主任介護支援専門員 <input type="text" value="1"/> 人 エ 介護支援専門員 <input type="text" value=""/> 人 オ その他 <input type="text" value=""/> 人 ア～ウの三職種の平均在職年数（12月毎に1年と計算。小数点以下第2位を四捨五入） <input type="text" value="3"/> 年		
24時間体制の確保	2	緊急時の対応等を想定し、地域包括支援センター（以下「包括センター」という。）の職員に対して速やかに連絡が取れる体制が整備されている。	
職員の資質向上	3	市や県が主催する研修や外部の研修に可能な限り参加している。	◇No.4 8月22日 包括センター内で、看護師による社会福祉士に介護技術の研修を行った。  ◆コロナ禍以降のオンライン研修に積極的に参加する。 包括センター内職員研修（緊急時の対応・手順について）。
	4	運営法人、又は包括センター独自で職員の資質向上のための研修がある。	
	5	研修に参加した職員が、必ず他の職員に対して報告や情報共有を図る体制になっている。	
	6	研修で得た有益な情報を従事者連絡会等で他の包括センターへ情報提供している。	
	数字を入力 研修参加回数 <input type="text" value="26"/> 回		
個人情報の保護	7	個人情報の取り扱いについてマニュアル等で定めている。	◇ ◆
	8	個人情報を鍵付きのキャビネット等に保管しており、鍵は適切に管理している。	
	9	職員が個人情報を持ち出す際に管理者が把握している。	
	10	関係機関への個人情報の提供について利用者に説明し、同意を得ている。	
チームアプローチ体制の整備及び包括センター間の連携強化	11	包括センターで3職種の専門性を踏まえ、チームアプローチを念頭に置いて、対応や相談に応じている。	◇No.11 包括支援センター内のコミュニケーションは、毎朝のミーティングのみならず、常時 3職種が相談内容に応じて、意見交換を行っている。従事者会の情報共有は会の翌日に行っている。 No.13 困難ケース、虐待ケース他必要と判断したケースには、主担当と副担当を決めて対応し、職員全員が状況を共有する。  ◆
	12	包括センター内で情報共有の場を設けており、相談内容等を報告し合っている。	
	13	ケースごとに主担当を決めたいうえで、センター全体としてバックアップできる体制を整えている。	
	14	各包括センターが同等のサービスが提供できるよう、従事者連絡会等を通じて、情報交換等を行っている。	

運営状況の評価と業務改善への取組	15	実施状況報告書や設置変更届出書等、必要な書類を期日までに市へ提出している。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇	
	16	日常の業務内容について管理者が把握し、適切なアドバイスを行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	17	日常の業務における課題や反省点を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>		◆
	18	利用者や関係団体等からの要望、意見に対して、必要に応じ包括センターの運営に反映させている。あるいは反映する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	19	包括センターに寄せられた要望、意見について、市へ報告や協議を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	20	利用者からの苦情について、受付体制の整備及び周知、記録の整備・共有、市への報告等の対応に関する体制が整っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	21	センター運営事業に関する評価や活動計画の策定について、センター職員全員で協議の上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>		

## 2 総合相談支援業務

項目	評価の目安			◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
高齢者の実態把握及び支援	22	個別訪問や、高齢者の集まる地域活動等へ参加し、高齢者や家族の実態把握に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇定期的に2つのサロン（共助会、ひまわりの会）に参加し、介護予防体操等の指導と情報交換を行っている。 R2 7月から開催している公園deラジオ体操の場で、高齢者とその家族の情報把握がしやすくなっている。 No22、継続的に支援が必要な方のリストを作り、把握頻度の計画を立て、連絡を取っている。  ◆民生委員が独居高齢者を訪問する際に同行する計画は、コロナ感染の鎮静をみて、次年度、社会福祉士に限らず包括職員全員で実行予定としている。
	23	相談内容に応じ、適切なサービス・機関を紹介できる体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	24	定期的に状況を確認するなど、状態に応じた継続的な支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	25	適切な機関に引き継いだ後の状況確認まで行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	26	相談内容の分類を行い、包括センター内で共有している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
	27	専門的・継続的な関与が必要な時は、ケース会議のほか、必要により個別ケア会議を開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>	
		数字を入力 新規相談件数	246 件	
	相談延べ件数	1632 件		
支援を要する高齢者の早期発見に関する取組	28	関係機関とのネットワークを構築するための取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◇
	29	関係機関が開催する会議等へ参加し、情報収集に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>	◆
	30	パンフレットの配布など、包括センターの周知を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>	

### 3 権利擁護業務

項目	評価の目安		◆今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
権利擁護全体	31	弁護士、司法書士、行政書士等の法律専門職と連携強化に向けた取組を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 圏域内で数人の後見をされている行政書士の方1名、R2 9月より、ばあとなあ神奈川の会員1名と連携がしやすくなっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 法律専門職参加が0回の理由として、橘北圏域ケア会議に出席予定の行政書士1名が当日体調不良で欠席となった。
	32	個別ケア会議や圏域ケア会議に必要なに応じて法律専門職が参加している。	
	数字を入力		
	法律専門職が参加する個別ケア会議 実施回数	1 回	
	法律専門職が参加する圏域ケア会議 実施回数	0 回	
成年後見制度の利用支援と普及	33	高齢者の判断能力や生活状況を把握し、成年後見制度の利用に結び付けられるよう支援体制を整えている。	<input checked="" type="checkbox"/> 後見制度利用に結び付く為の支援…5件（後見開始2件）
	34	本人や親族が申立てを行なえない特段の理由がある場合は、市に報告し、市長申立につなげられるよう支援体制を整えている。	
	35	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、成年後見制度の啓発活動を行っている。	
	数字を入力		
	成年後見にかかわる相談件数	6 件	
	成年後見にかかわる講座等の実施回数	0 回	
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律に基づく対応	36	関係機関とのネットワークを構築し、虐待の早期発見に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>
	37	県のマニュアル等に則り、市と連携して、高齢者の安全確保など、適切な対応を行う体制を整えている。	
	数字を入力		
	高齢者虐待にかかわる相談件数	17 件	
消費者被害の防止に関する対応	38	地域の高齢者及び関係機関に対して、講座の開催や回覧など、消費者被害防止に向けた啓発活動を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/> 市から配布された啓発のためのチラシは民生委員、老人会、各サロン等で配布、説明をしている。
	39	消費生活センター等の関係機関と連携し、消費者被害防止に向け対応する体制を整えている。	
	数字を入力		
	消費者被害にかかわる相談件数	3 件	
	消費者被害防止にかかわる講座等の実施回数	0 回	

4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

項目	評価の目安	評価	評価	今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
生活環境変化等への対応	40 サービス担当者会議の開催を支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ ◆
	41 利用者の状態の変化に応じて、病院への入退院時に病院と介護支援専門員、介護施設等との連携が図れるよう調整を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力 サービス担当者会議開催支援件数 医療機関とのカンファレンスの件数	0 4	件 件	
介護支援専門員の支援	42 介護支援専門員を対象とした情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ケアマネ支援リストを作成し、過去のものを含めてデータ化したことで、内容の整理ができる体制になっている。 ◆
	43 上記の情報交換や研修会について、年度当初に開催計画を示した上で実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	44 困難ケースへの支援や助言、同行訪問や個別ケア会議等を行い、相談しやすい関係性が保たれるよう支援している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	45 介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理分類した上で、経年的に把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力 介護支援専門員を対象とした研修・情報交換の実施回数 研修・情報交換に参加した介護支援専門員の延べ参加者数	0 0	回 人	
関係機関相互の連携体制の構築	46 民生委員など、地域の関係者との情報交換や研修の場を設けている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇圏域のグループホームの運営推進会議は、コロナの為、書面にて内容確認ができた。 (包括たちはなだより) 1-5号を発行し、自治会を介して配布している。 公園deラジオ体操を3つの公園で毎週開催。ラジオ体操1級指導員の方から助言や指導をいただいている。
	47 関係機関(三師会等)が開催する研修会や会合等に参加し、連携強化を図っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力 運営推進会議への出席回数	8	回	
社会資源の把握・活用・開発	48 地域の関係機関が開催する活動等へ参加し、社会資源の情報を把握している。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇前羽地区のまちづくり委員会の委員となった。橋北地区は以前から委員となっている。 R3 11月の橋北圏域ケア会議で抽出された課題(認知症及び高齢者行方不明時の連絡体制)整備のための役員会議が、包括が事務局となり発足された。 ◆前羽地区きずなチームと共に、災害時支援者の把握を行う。
	49 把握した社会資源の情報をまとめ、関係機関や地域住民へ提供している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	50 新たな社会資源の開発に努めている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
地域包括ケア推進体制に向けた地域ケア会議の活用	51 自立支援ケア会議を通じて高齢者の自立に向けた支援を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇橋北圏域ケア会議をR2 11月に行った。 ◆前羽地区圏域ケア会議は地域課題を継続的に関係者で話し合う予定であったがコロナ感染で延期となっている。
	52 個別ケア会議が必要なケースについて、迅速に関係機関を集めて開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	53 圏域ケア会議を計画的に開催している。	<input checked="" type="checkbox"/>		
	数字を入力 自立支援ケア会議 事例提出件数 個別ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する個別ケア会議 実施回数 圏域ケア会議 実施回数 うち医療職が参加する圏域ケア会議 実施回数	1 2 2 1 1	件 回 回 回 回	
	54 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		
数字を入力 情報発信・講座等の実施回数	26	回		
介護予防・自立支援の理念に関する普及啓発	54 高齢者やその家族の介護予防や自立支援・重度化防止に向けた意識の向上のため、サロン活動の場等を通じて普及啓発を行っている。	<input checked="" type="checkbox"/>		◇ ◆



### 5 認知症総合支援事業

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
認知症の正しい知識の普及と啓発	55	認知症サポーター養成講座等、市民や企業等へ啓発活動を行っている。	◇No55, 10月に（ひまわり会）、12月に（たちばなカフェ）で行った。 12圏域内で初めての認知症家族会（ロバのみみ）が、R3 2月よりODAWARAサポートプロジェクトの認知症ケア専門士主催で開催されている。 認知症で介護保険申請をされた方を専門医に繋げている。 ◆次年度、4月に楠北町づくり委員会主催で包括看護師による認知症講話会が予定されている。
	56	認知症ケアパスを活用して、啓発活動を行っている。	
	数字を入力		
	認知症サポーター養成講座開催回数		
認知症普及啓発に係る講座等開催回数（認知症サポーター養成講座を除く）		2 回	
認知症の人とその家族に対する支援	57	認知症の人及び認知症が疑われる人に対し、早期診断・早期治療につながるよう支援している。	
	58	認知症の家族を抱える介護者に対し、おだわら家族会の周知を行っている。	
	59	認知症初期集中支援事業に事例を提出することにより、当該事業を活用して高齢者や家族の支援を行っている。	
	数字を入力		
認知症初期集中支援事業 提出事例件数		0 件	

### 6 介護予防ケアマネジメント業務

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
介護予防・日常生活支援総合事業に関する適切な説明	60	職員が総合事業の実施の背景・目的・概要を理解している。	◇ ◆
	61	総合事業の実施の背景や、介護予防・自立支援の重要性、地域の支え合い体制の必要性を地域住民に周知・説明している。	
適切なサービスにつなげるためのアセスメントとケアプラン作成	62	本人や家族の意向を確認しながら支援ニーズを特定し課題を分析している。	◇10月開始の短期集中型通所サービス事業参加者は6名。
	63	高齢者の生活自立能力を維持・向上させながら介護保険サービスやインフォーマルサービス等を組み合わせたケアマネジメントとなっている。	
	64	総合事業（通所型サービスC）の利用が必要とされる高齢者を把握し、利用につなげている。	
	65	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援の業務の居宅介護支援事業所への再委託について、公平・中立な観点に基づき適正に実施している。	
	数字を入力		
介護予防サービス計画件数		50 件	
うち再委託件数		17 件	
介護予防ケアマネジメント件数		74 件	
うち再委託件数		8 件	

7 その他

項目	評価の目安		◇今年度の活動実績 ◆次年度に向けた課題等
—	<p>(活動計画に「その他」として掲げた取組内容を転記)</p> <p>1. 包括センターたちばなの周知活動・2年ごとに新パンフレットを作成し、自治会連合会の協力で配布している。</p> <p>2-1. コロナ禍のフレイル予防と地域交流で始めた(公園deラジオ体操)。</p> <p>2-2. 12圏域で初めての認知症家族会(ロバのみみ)の開催。</p> <p>2-3. (認知症及び高齢者行方不明時の連絡体制)役員会の発足。</p>	<input checked="" type="checkbox"/>	<p>1. R2 5月に自治会加入者全戸配布…自治会未加入者への配布が行えない為、(みんなの掲示板)を利用している。</p> <p>2-1. 4か所の公園で毎週実施(主催者は老人会等それぞれ、包括センターのバックアップで行っている)。</p> <p>2-2. R3 2月に初回開催された(主催者はODAWARAサポートプロジェクト、包括センターはバックアップを行っている)。</p> <p>2-3. R2 12月に包括センターが事務局となり初回開催、R3 3月に第2回会議、連絡体制フローチャートが出来上がった。4-5月に回覧等で地域に周知予定。</p>

地域包括支援センター活動計画  
(令和 3 年度)

小田原市福祉健康部高齢介護課

## 令和3年度 地域包括支援センターしろやま活動計画

### 1 地域包括支援センターの運営体制

- ・新型コロナウイルス感染予防の為、職員の分散出勤等も取り入れてきたが対面でミーティングの開催ができない場合も、WEB 会議システムを利用したの開催など、状況に応じて職員間の情報共有や連絡を行える体制を構築し、チームアプローチを強化する。

### 2 総合相談支援業務

- ・昨年、地域住民や民生委員からの相談が減少してしまったことから、地域住民の把握が十分に行えない状況がみられた。本年度は、中止していた、民児協の訪問活動の再開に合わせて、訪問活動を行う民生委員の不安が軽減できるように新型コロナウイルス感染予防の研修会の開催等を行い、地域住民の状況の把握を行うために、共同し活動を行っていく。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・新型コロナウイルス感染予防の為に中断してしまった、自治会活動、サロン、スクエアステップ同好会の再開に向けて、感染予防を行っての対面での開催や、地域への配布を行っている「しおざゐ」や WEB 会議システム等を活用し地域住民とのつながりを再構築できるように働きかける。
- ・後見制度の適用に至らないが、身上保護を必要とする人への支援方法等、個別ケア会議を重ねる事により、地域全体の課題として見据えていく。専門職の参加、協力を得ることで、圏域ケア会議を開催し、問題解決にむけて検討を重ねる。

## 令和3年度 地域包括支援センターはくおう活動計画

### 1 地域包括支援センターの運営体制

- ・毎朝朝礼の実施、月1回包括センターミーティングで各自の業務進捗状況を確認し、情報の共有や相談をする。主担当制を取るが、必要に応じ副担当を設けて包括センター内の連携を図り支援を行う。
- ・月間ミーティングの中で事例検討を実施し、困難事例だけでなく終結事例などを見直すことで職員の対応力の向上を図る。
- ・同法人の4包括センターでミーティングや勉強会を実施し職員のスキルアップを目指す。
- ・大規模な自然災害や感染症が発生した際の対応方針の準備を同法人4包括で進める。

### 2 総合相談支援業務

- ・自治会、民児協定例会での情報収集及び訪問による実態把握を行う。
- ・地域のサロン活動を訪問し参加者の実態把握を行う。
- ・独居、サービス未利用者、地域から相談が入ったケースなどについては定期訪問を行い、月間ミーティングで共有。支援方針を検討する。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・地域資源の情報を収集し、「おたすけ帳」の内容を更新し（年度末）、民生委員へ配布する。
- ・季刊広報誌「はくおう包括だより」を民生委員、自治会など関係機関に配布し包括センターの周知と連携を図る。
- ・同法人の4包括センター合同で再委託居宅介護支援事業所との「茶々と会（談話会）」を開催し、ケアマネジャーの悩みを聞き取ると共に情報共有を図る。（年2回予定）
- ・新玉地区自主サロン活動（よってこ新玉）、山王地区自主サロン活動（イーストサロン）、足柄地区自主サロン（フラットことぶき）での介護保険制度、消費者被害、介護予防などの講話を行う。（回数はサロンからの要請に応じて調整）
- ・コロナ禍においても自治会、民生委員等と連携をとり、新たな講話の場を開拓できるようにする。

## 令和3年度 地域包括支援センターじょうなん活動計画

### 1 地域包括支援センターの運営体制

- ・自然災害発生時の業務継続計画を策定し、包括内で共有を図る。

### 2 総合相談支援業務

- ・住人の高齢化に伴い様々な問題を抱えている早川の集合住宅について、住人や理事会役員と包括、関係機関、地域ボランティアなどが連携して見守り体制などを構築できるように取り組んでいく。

### 3 権利擁護業務

- ・地域の自主活動団体などの会合に参加し、消費者被害の防止・成年後見制度の活用についての啓発を行っていく。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・圏域をまたいで多問題を抱えるケースについて、包括しもふなかと共同してケア会議の開催や継続的な支援を行っていき、今後起こりうる同様のケースのモデルとなるように取り組む。

### 5 認知症総合支援事業

- ・民生委員などに対して、認知症の病気の理解と、認知症に関する相談が増えている実態を認識してもらうために講話を行う。

## 令和3年度 地域包括支援センターはくさん活動計画

### 1 地域包括支援センターの運営体制

- ・各ケースについて情報を包括内で共有し、3職種で意見交換を行う。必要に応じて、主担当以外に副担当を設けて支援を行う。
- ・同法人の4包括センターで定期的なミーティングや勉強会、事例検討を実施しスキルアップを図る。

\* 昨年度同様、コロナ禍においてWEB会議システム等を積極的に活用

### 2 総合相談支援業務

- ・民生委員、医療機関、介護保険事業所や地域団体、行政などのネットワークを構築し、支援を必要とする高齢者の早期発見、支援開始に努める。民生委員との交流会「茶っと会」を継続して行い、情報共有に努める。
- ・専門的、継続的な支援が必要な場合は、必要に応じて個別ケア会議を開催し対応について協議をし、個別の支援計画を策定する。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・久野地区、二川地区の社会資源を掲載した「おたすけ帳」の定期更新を行い、民生委員に社会資源の情報を提供する。
- ・同法人4包括センターで居宅介護支援事業所のケアマネジャーとの交流会「茶っと会」を開催し、ケアマネジャーとの交流や情報共有の場を設ける。

### 5 認知症総合支援事業

- ・住み慣れた地域で認知症の高齢者が地域に見守られて生活が継続できるように、必要に応じて「認知症サポーター養成講座」や関係者や専門家の参加による「個別ケア会議」の開催を検討する。
- ・地域の認知症関係の事業所との情報共有（認知症型デイやグループホーム等）

## 令和3年度 地域包括支援センターひがしとみず活動計画

### 1 地域包括支援センターの運営体制

- ・職員の入替わりがあり、包括センター業務歴の浅い職員が大半を占める状況となっていることを考え、所内の報連相を徹底し必要時にはカンファレンスを行うなどして、地域の高齢者支援がスムーズに行えるよう体制を整える。

### 2 総合相談支援業務

- ・昨年度は毎月民児協に参加（緊急事態宣言中は中止）し情報収集及び実態把握に努めた。今年度も継続し実施する。また、多様な相談受理をすることから各種研修（Web 会議システムなどを活用）に参加及び所内等での事例検討を重ねることで個々の職員のスキルアップを図る。

### 3 権利擁護業務

- ・昨年度は虐待及び成年後見制度の相談が多くあった。それを踏まえ、今年度は民生委員や地域のケアマネジャー向けに権利擁護の講習会を実施することで圏域の権利擁護意識の普及向上を目指したい。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・今年度はコロナ禍でも圏域ケア会議が開催できるよう年度当初から計画し実行していきたい。（10月開催）また、個別ケア会議についてもケアマネジャー支援や困難ケースの対応の一つの手法として積極的に開催し、対象者の課題解決に向けて取り組んでいきたい。
- ・地域のケアマネジャー向けの勉強会として年3回、事例検討会及び権利擁護の勉強会を企画・開催する。（包括とみず・包括さくらいと共催）

### 7 その他

- ・コロナ禍で高齢者向けの集合でのイベント開催が困難な状況であるため“かりがわだより”を年4回は発行し高齢者向けにタイムリーな情報発信を行う。



## 令和3年度 地域包括支援センターとみず活動計画

### 2 総合相談支援業務

- ・新型コロナウイルス感染症感染対策のために活動が停滞してしまい、平成29年4月より新生包括支援センターとして積み上げてきた実績に対する信頼や包括支援センターに対する期待感が薄れてしまった可能性がある。原点に立ち返り、「老い」や「衰え」、「死」という高齢期特有の課題に対し、的確な情報提供やつなぐ支援を実践する。(具体策：定期的な所内会議の開催、情報提供「かりがわだより」の発行等)

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・これまでもケース対応を通じて多職種連携を実践してきたが、地域共生社会の実現を意識した行動が必要である。重層的支援を担う支援者同士が立ち止まって、状況を共有できる環境整備を図る。(具体策：とみずケアマネ交流会の実施、「かりがわ道場」の開催等)

## 令和3年度 地域包括支援センターさくらい活動計画

### 2 総合相談支援業務

- ・見守り活動を行い、包括センターの周知と、高齢者の実態把握を行う。
- ・交流スペースを開放しており、地域の関係団体には活用してもらっている。今後は、地域住民への働き掛けも行き、集いの場となることで、相談しやすい関係を作る。

### 3 権利擁護業務

- ・消費者被害の防止に向けて普及啓発に取り組む。
- ・居宅介護支援専門員向けに、権利擁護に関する研修会を開催する。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・事例検討会等を開催し、圏域内の介護支援専門員や民生委員等とのネットワークづくりを強化する。

### 6 介護予防ケアマネジメント業務

- ・法人内外での事例検討会で検討し、実践で課題解決に取り組む。適切なケアマネジメントにつなげる。

## 令和3年度 地域包括支援センターさかわ こやわた・ふじみ活動計画

### 1 地域包括支援センターの運営体制と基盤的業務

- ・同法人の4包括センター合同での定期的な事例検討会や、全社的なテーマ別勉強会に参加し職員の質の向上に取り組む。

### 2 総合相談支援業務

- ・民生委員と包括センターで定期的に少人数での茶話会を年4回実施し、包括センターの機能を普及啓発するとともに、地域での困りごとや包括への要望などを聞き取れる場とし、共働しやすい体制を構築していく。
- ・圏域内の商店や銀行、郵便局、病院等に包括センターのパンフレットや包括便りを置いて頂く他、高齢化が進む団地を中心に掲示板や回覧板を利用させて頂き、包括センターの周知をさらに広げ、支援を要する高齢者の早期発見につなげられるようにする。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・支援者の連携体制の構築を目的とし、さかわ こやわた・ふじみ地区の民生委員やケアマネジャー等を対象とした「もんじゅの知恵」を年1回開催する。
- ・包括センターの周知と包括センターに足を運ぶことが困難な方の支援として、包括から離れた地域での出張相談を実施。
- ・高齢者の集いの場が増やせるようサロンの立ち上げ支援を行なう。又そのサロンの自主化を目指す。
- ・しもふなか、とよかわ・かみふなか、そが・しもそが・こうづの各包括センターとともに、民生委員・ケアマネジャーとの「民生委員・ケアマネジャー交流会」を年1回開催する。
- ・同法人の4包括センター合同で、ケアマネジャー支援「茶っと会」を年2回開催する。

## 令和3年度 地域包括支援センターしもふなか活動計画

### 1 地域包括支援センターの運営体制

- ・職員の専門性を活かして出来ないところをフォローすることで、職員の定着を図る。

### 3 権利擁護業務

- ・虐待や成年後見等の相談を包括センター内のどの職員が受けても適切にできるようにする。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・「しもふなかコンパス」の活動について、「コンパス隊」としてサロンで様々な啓発活動（成年後見制度の周知・介護予防）をしていく。
- ・圏域をまたいで多問題を抱えるケースについて、包括じょうなんと密なる連携を図り双方の課題を解決していく。
- ・新型コロナウイルス感染対策を考慮した「むらカフェ」の再開。

## 令和3年度 地域包括支援センターとよかわ・かみふなか活動計画

### 1 地域包括支援センターの運営体制

- ・毎日の朝礼、月1回包括センターミーティングで各自の業務進捗状況やケースの情報共有や相談を図る。主担当制を取るが必要時に応じ副担当を設け、3職種の連携を図り支援を行う。
- ・同法人の4包括センターや法人内外での研修、勉強会で職員のスキルアップを目指す。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・桑原住宅へのアンケートを踏まえ、「受診・買い物に不便を感じている」をテーマに圏域ケア会議を開催し、情報の共有と支援内容について検討する。
- ・豊川地区、上府中地区の社会資源を掲載した「おたすけ帳」を作成し民生委員に配布する。
- ・同法人の4包括センター合同で居宅介護支援事業所との「茶つと会」を開催し、情報共有を図る。(年2回予定)

### 5 認知症総合支援事業

- ・地域住民に向け認知症の啓発活動を行う。認知症サポーター養成講座を年2回以上行う。
- ・認知症カフェの立ち上げ支援を行なう。
- ・認知症の早期診断・治療につながるように各関係機関と連携を図る。
- ・認知症初期集中支援事業を積極的に活用していく。

## 令和3年度 地域包括支援センターそが・しもそが・こうづ活動計画

### 2 総合相談支援業務

- ・昨年度、籠場自治会と共催した「包括支援センター相談会」を今年度も実施し、地域の実態把握と課題分析を行う。総括した内容に基づき地域支援やケアマネ支援を行なう。

### 3 権利擁護業務

- ・包括圏域が12圏域となった平成29年以降の虐待・虐待疑いケースの洗い出し・分析を行い、総括した資料は民生委員や自治会、圏域内居宅介護支援事業所等に向けた虐待の早期発見・予防の啓発などへの活用を目指す。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・下曽我おせっ会との共催での圏域ケア会議開催にあたり、会議形式以外にも活発な意見交換が可能な方法を検討し実施する。

### 6 介護予防ケアマネジメント業務

- ・包括センター内でのケアプラン点検の実施を通じ、介護予防・自立支援の重要性やインフォーマルサービスの活用を意識したケアプラン作成の視点を養うとともに再委託プランについて適切な評価・マネジメントが行えるよう、包括職員の資質向上を図る。

### 7 その他

- ・年4回広報誌を発行し、「権利擁護」「認知症総合支援事業」「把握した社会資源の情報」などの情報発信・啓発を行う。  
また、広報誌とパンフレットの配架先を拡大し包括センターの周知を強化する。(パンフレットの刷新)

## 令和3年度 地域包括支援センターたちばな活動計画

### 1 地域包括支援センターの運営体制

- ・虐待ケース、困難ケースは主担当者と、共に行う副担当者を定め対応するが、ケースの進捗は包括職員全員で共有し、問題解決に向けて協議を行う。
- ・地域ケア会議での包括職員の役割は司会を含め、全員が平等に行うことで、一人一人の能力向上を図る。

### 2 総合相談支援業務

- ・毎朝のミーティングで、相談支援を行っているすべてのケースを共有し、担当者不在時も滞りなく対応を行う。

### 3 権利擁護業務

- ・利用者の意向の確認と意思決定が行えているか、支援者の思い込みや偏見はないか、情報収集を行いながら包括職員全員の視点をもって支援の在り方を常に省みる。

### 4 包括的・継続的ケアマネジメント業務

- ・高齢介護課から情報を得た対象者を含む、安否確認等が必要な高齢者をリスト化し、計画的継続的に接触を試みる。

### 5 認知症総合支援事業

- ・圏域内で初の認知症カフェ【ロバのみみ】が昨年開催された。継続的支援で認知症の方とそのご家族の居場所づくりの支援を、主催者と共に行う。
- ・認知症の地域周知活動として、小学生を対象に、長谷川和夫先生作の絵本【だいじょうぶだよ、ぼくのおばあちゃん】を学校のお話会で読み聞かせを行う。
- ・【たちばなカフェ】第2回を開催し認知症講話を行う。

### 7 その他

- ・コロナ禍の中で発足した地域で出来るフレイル予防としての【公園 de ラジオ体操】、現時点の4つの公園の維持継続と住民への普及活動を行う。
- ・【橋北地区、認知症及び高齢者行方不明時の連絡体制検討会】の事務局として、三役会議の調整、連絡等を行う。

## 介護保険事業所の新規指定等について

## 1. 居宅介護支援事業所の新規指定

no	法人名	代表者名	事業所名	事業所所在地	サービス種類	指定年月日
1	株式会社 イーエム	一寸木 繁廣	エムズプラン	神奈川県小田原市久野33-2-2F	居宅介護支援	令和3年3月1日

## 2. 地域密着型サービス事業所の新規指定

no	法人名	代表者名	事業所名	事業所所在地	サービス種類	指定年月日
1	株式会社 パーソンライフ	鳥海 忠明	認知症リハビリテーション ぱーそんらいふ 久野	神奈川県小田原市久野857-1	(介護予防) 認知症対応型通所介護	令和3年3月1日
2	有限会社 前田介護相談所	前田 程一	小規模多機能型居宅介護 はまちょう	神奈川県小田原市浜町1-10-42	(介護予防) 小規模多機能型居宅介護	令和3年3月1日
3	湘南乃えん 株式会社	小林 由憲	西湘デイサービス えん	神奈川県小田原市飯泉1070-1	地域密着型通所介護	令和3年6月1日

## 3. 介護予防・日常生活支援総合事業事業所の新規指定

no	法人名	代表者名	事業所名	事業所所在地	サービス種類	指定年月日
1	株式会社 イーエム	一寸木 繁廣	エムズサポート	神奈川県小田原市久野33-2-2F	国基準訪問型サービス 基準緩和訪問型サービス	令和3年5月1日
2	湘南乃えん 株式会社	小林 由憲	西湘デイサービス えん	神奈川県小田原市飯泉1070-1	国基準通所型サービス	令和3年7月1日(予定)